

# 薬物に対する意識等調査報告書

平成13年3月

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課

# 目 次

## 序章 調査概要

薬物に対する意識等調査の概要	1
----------------	---

## 第1章 児童生徒調査結果（単純集計）

1 回答した児童生徒の状況	20
2 集計結果	21

## 第2章 児童生徒調査集計（クロス集計）

1 「質問16 薬物に対する印象」と各設問とのクロス集計	108
(1) 「質問18 薬物を使ったらどうなるか」とのクロス	108
(2) 「質問27 薬物使用に対する考え」とのクロス	112
2 「質問18 薬物を使ったらどうなるか」とのクロス集計	118
(1) 「質問27 薬物使用に対する考え」とのクロス	118
3 「質問20 薬物についての学習」とのクロス集計	124
(1) 「質問18 薬物を使ったらどうなるか」とのクロス	124
(2) 「質問22 薬物を使った場合の影響」とのクロス	128

## 第3章 指導状況調査結果

1 学校の概況	140
(1) 所在地・地域区分	140
(2) 学校規模（学級数総数）	140
(3) 学校規模（児童生徒総数）	140
(4) 学校規模（教員数）	140
(5) 学校規模（学年別学級数）	141
(6) 学校規模（学年別児童生徒数）	141
2 薬物乱用防止に関する指導実施状況	142
(1) 平成11年度における指導実施の有無	142
(2) 教科毎の指導時数	143
(3) 指導中取り上げた薬物名	152
(4) 指導中に使用した教材	161
(5) 指導の協力者	170
3 薬物乱用防止に関する平成11年度の指導状況	179
(1) 平成11年度の薬物乱用防止教室の実施状況	179
(2) 薬物乱用防止教室で依頼している講師の職種	180

(3) 薬物乱用防止教室の実施形態	181
4 薬物乱用防止に関する平成12年度の指導計画	182
(1) 小学校	182
(2) 中学校	185
(3) 高等学校	188

#### 資料編Ⅰ

資料編(1) 児童生徒用調査結果データ表(全国集計)	192
資料編(2) 指導状況調査結果データ表(全国集計)	230

#### 資料編Ⅱ

実施要項	256
実施上の留意点	261
調査票(1) たばこ、お酒、薬物に対する意識調査(小学校用)	
喫煙、飲酒、薬物に対する意識調査(中・高等学校用)	262
調査票(2) 薬物乱用防止に関する指導実施状況調査票	
(小学校用、中学校用、高等学校用)	279

#### 資料編Ⅲ

薬物に対する意識等調査の実施について	290
薬物に対する意識等調査研究協力者会議	291
薬物に対する意識等調査研究協力者会議の開催状況	292

## 序章 調査概要

### I 薬物に対する意識等調査の概要

#### 1 調査目的

近年の青少年の薬物乱用の問題については、中・高校生の覚せい剤事犯検挙者数が高水準で推移しており、依然として予断を許さない状況である。

また、先般、総理府から発表された「薬物に関する世論調査」（15歳以上対象）の結果においても、若い世代ほど自分の周囲に薬物乱用者や薬物への誘惑が多い一方薬物問題への関心度が低いことが明らかになるなど、極めて深刻な問題である。

こうした状況にかんがみ、政府では薬物乱用対策推進本部（本部長：内閣総理大臣，副本部長：文部大臣ほか）において、平成10年5月に「薬物乱用防止五か年戦略」を策定し、関係省庁の緊密な連携の下、薬物乱用対策を強力に推進することとした。

文部科学省では、児童生徒の覚せい剤等の薬物に対する意識等を調査し、今後の施策の参考とする。

#### 2 調査事項

調査は、自記式アンケート調査とし、次の2種類の調査を実施した。

##### (1) 児童生徒の薬物に対する意識調査

- ① 小学校5・6年生用
- ② 中学生用
- ③ 高校生用

##### (2) 薬物乱用防止に関する指導状況調査

- ① 小学校用
- ② 中学校用
- ③ 高等学校用

#### 3 調査対象

##### (1) 調査対象校

調査対象校は次の地域に所在する公立学校から無作為に抽出した。

- ① 都道府県庁所在地及び人口30万人以上の市（政令指定都市を含む）ごとに公立の小・中・高等学校各2校。
- ② 人口3万人から4万人程度の市町村に所在する公立の小・中・高等学校を都道府県ごとに各2校。

(2) 調査対象学校数及び児童生徒数

- ①小学校 276校 第5、6年生 1クラス
  - ②中学校 276校 全学年 1クラス
  - ③高等学校 276校 全学年 1クラス
- (合計 828校)

#### 4 調査実施時期

平成12年11月中

#### 5 回収状況

(1) 児童生徒調査

	対象校	回収数	回収率
小学校	276校	262校	94.9%
中学校	276校	269校	97.5%
高等学校	276校	271校	98.2%
合計	828校	802校	96.9%

(2) 指導状況調査

	対象校	回収数	回収率
小学校	276校	242校	87.7%
中学校	276校	241校	87.3%
高等学校	276校	244校	88.4%
合計	828校	727校	87.8%

## II 児童生徒調査結果の概要

### 性別、学校種学年別集計結果の概要

#### 1. 喫煙についての関心および認識

##### (1) 飲酒に対する関心

飲酒に対する関心については、学年が上がるにつれて「飲みたいと思ったことがある」と回答した比率が高まる傾向にある。「飲みたいと思ったことがある」と回答した比率については、小学6年生までは男子の方が高いが、中学1年生で男女の比率が逆転し、女子の方が高くなっている。

##### (2) 飲酒の健康への影響に関する認識

飲酒の健康への影響に関する認識については、学年が上がるにつれて「多少はあるだろうが大したことはないと思う」と回答した比率が高まる。一方で「大いに害がある」と回答した比率が低くなる傾向にある。

##### (3) 飲酒をする人に対する印象

飲酒をする人に対する印象については、いずれの学校種・学年においても、男女ともに「どちらとも思わない」と回答した比率が最も高い。

##### (4) 飲酒をする家族の有無

飲酒をする家族の有無については、いずれの学校種・学年においても、男女ともに「はい」と回答した比率が最も高く、すべての学校種・学年において90%前後である。

##### (5) 将来の飲酒の可能性

将来の飲酒の可能性については、男女ともに、学年が上がるにつれて「飲むと思う」と回答した比率が高まり、「飲まないと思う」・「わからない」と回答した比率が低くなる傾向にある。

「飲むと思う」については、高校2年生、3年生において男女の比率が逆転している。質問4において「かっこ悪い」が減っているが、それとともに「飲むと思う」が増えている。

男子と比べて女子のほうが学年が上がるにつれて「飲むと思う」と回答した比率の増加が大きい。

#### 2. 喫煙についての関心および認識

##### (1) 喫煙に対する関心

喫煙に対する関心については、「吸いたいと思ったことはある」と回答した比率は、男女とも学年が進むにつれて増加する傾向にある（小5男子 14.6%・小5女子 8.8%、中2男子

23.4%・中2女子 17.2%、高2男子 40.2%・高2女子 25.9%)。

「吸いたいと思ったことはない」と回答した比率は、男女とも学年が進むにつれて減少している(小5男子 64.1%・小5女子 71.6%、中2男子 58.9%・中2女子 68.8%、高2男子 47.1%・高2女子 63.5%)。男子では高校3年生で「吸いたいと思ったことはある」と「吸いたいと思ったことはない」と回答した比率が逆転している。

「たばこを吸いたいと思ったことはある」と回答した比率が「将来お酒を飲みたいと思う」と回答した比率を下回っている。

## (2) 喫煙の健康への影響に関する認識

喫煙の健康への影響に関する認識については、「大いに害がある」と回答した比率は、いずれの学校種・学年でも男女とも最も高い。

また、「多少はあるだろうが大したことはないと思う」と回答した比率は学年が進むとともに減少する傾向にある。

## (3) 喫煙者に対する印象

喫煙者に対する印象については、「かっこいい」と回答した比率は、男女とも小学生では低く、中学生では高まるが、高校生になると減少する。

「かっこわるい」と回答した比率は男女とも概ね学年が上がるにつれて減少する傾向にある。

また、「どちらとも思わない」と回答した比率は学年が進むとともに増加する傾向にある。

## (4) 喫煙をする家族の有無

「あなたの家族でたばこを吸う人がいますか」との設問では、「はい」がいずれの学校種・学年においても男女ともに最も高くなっている。

## (5) 将来の喫煙の可能性

将来の喫煙の可能性については、「吸わないと思う」と回答した比率が、いずれの学校種・学年でも男女とも最も高い。男子では学年が進むにつれて「吸うと思う」と回答した比率が高まり、「吸わないと思う」と回答した比率が減少する。

# 3. 酒・たばこに共通した認識

## (1) 酒・たばこのコマーシャルの印象

酒・たばこのコマーシャルの印象については、「特に何とも思わない」と回答した比率が、いずれの学校種・学年でも男女とも最も高い。

また否定的設問である「かっこわるいと思う」「体に悪いのにこうした宣伝をするのはおかしいと思う」と回答した比率は学年が進むとともに減少しているのに対して、「かっこいいと思う」と回答した比率は学年が進むとともに増加している

## (2) 酒・たばこの自動販売機の印象

酒・たばこの自動販売機の印象については、「未成年が買えないように工夫した方がよい」と回答した比率は小学生では最も高いが、中学生、高校生では減少する傾向にある。

「未成年が買えないようにもっと時間や場所を限定した方がよい」「未成年者が買えないように自動販売機はなくしたほうがよい」「未成年者が買えないように工夫した方がよい」といった自動販売機に対する否定的な選択肢に関しては、学年が進むにつれて減少する傾向がある。

一方で「今のままでよい」との回答は増加する傾向にある。

## (3) 喫煙・飲酒の薬物乱用への影響

喫煙・飲酒の薬物乱用への影響については、いずれの学校種・学年においても「あると思う」と回答した比率が最も高い。しかし「あると思う」と回答した比率は学年が進むにつれて減少し、「ないと思う」と回答した比率が増加する傾向にある。

## 4. 知っている薬物の種類及びその情報源

### (1) 知っている薬物の種類

知っている薬物の種類については、いずれの薬物においても、男女ともに、学年があがるにつれて「知っている」と回答した比率が高まる傾向にある。

このうち「麻薬」についてはいずれの学校種・学年においても比率が高い。また「有機溶剤」「覚せい剤」についても同様に、いずれの学校種・学年においても比率が高い。ただ、小学生では「有機溶剤」「覚せい剤」の順に「知っている」と回答した比率が高くなっているが、中学生になると逆転し、以降高校3年生まで「覚せい剤」「有機溶剤」の順に比率が高くなっている。「大麻」「コカイン」「あへん類」については、小学生では「知っている」と回答した比率が低い、学年が上がるにつれて比率が急激に上昇し、高校3年生で最も高くなっている。また「LSD」は他の薬物に比べるとやや低い比率となっている。「大麻」「コカイン」「LSD」「あへん類」は、いずれの学校種・学年においても、女子よりも男子の方が「知っている」と回答した比率が高い。特に「LSD」は学年が上がるにつれて男女差が大きくなっている。平成9年調査と比較すると、平成12年調査では「大麻」と回答した比率が減少している。

### (2) 薬物に関する情報源

薬物に関する情報源については、小学校、中学校では男女ともに「テレビ」と回答した比率が最も高い。

「学校の授業」と回答した比率は、小学校では低いが学年が上がるにつれて高まり、高校1年生でピークに達し、高校3年生ではやや低くなっている。「家族」と回答した比率は、学年が上がるにつれて低くなっている。「本・雑誌」と回答した比率は、小学生、中学生では女子の方が高いが、高校生では男子の方が高い。平成9年調査と比較すると、平成12年調査では「学校の授業」「ポスター、パンフレット」と回答した比率が増加しているが、「家族」「新聞」「テレビ」と回答した比率が減少している。



## 5. 薬物に対する印象及びその情報源

### (1) 薬物に対する印象

薬物に対する印象については、男女ともに、いずれの学年においても、薬物に対する否定的な印象である選択肢へ回答した比率が高い。特に「1回でも使うと止められなくなる」と回答した比率は学年が上がるにつれて高まる傾向にあり、中学2年生から高校3年生においては、男女とも比率が最も高くなっている。

一方、薬物に対して肯定的な印象の選択肢（「カッコいい」「気持ちよくなれる気がする」「ダイエットに効果がある」「眠気覚ましに効果がある」「1回使うくらいであれば、心や体への害はない」）へ回答した比率は、比率そのものは低いが、男女ともに、学年が上がるにつれてやや高まる傾向にある。「カッコいい」と回答した比率は、いずれの学年においても女子より男子の方が高く、「ダイエットに効果がある」と回答した比率は、男子より女子の方が高い。

平成9年調査と比較すると、平成12年調査では薬物に対して否定的な印象の選択肢である「心や体に害がある」「犯罪に巻き込まれる」「1回でも使うと止められなくなる」へ回答した比率は増加している。一方、薬物に対して肯定的な印象の選択肢である「気持ちよくなれるような気がする」「眠気覚ましに効果がある」へ回答した比率は減少している。

### (2) 薬物に対する印象についての情報源

薬物に対する印象についての情報源については、いずれの学校種・学年においても、男女ともに「テレビ」と回答した比率が高い。

「学校の授業」と回答した比率は、小学生では低いが学年が上がるにつれて高まり、高校1年生でピークに達し、高校2年生、高校3年生ではやや低くなっている。

「家族」と回答した比率は、学年が上がるにつれて低くなっている。

平成9年調査と比較すると、平成12年調査では「学校の授業」と回答した比率がどの学校種・学年においても増加し、「テレビ」、「ポスター、パンフレット」、「新聞」と回答した比率についても概ね増加の傾向がみられる。

## 6. 薬物使用・所持に対する知識及びその情報源

### (1) 薬物使用・所持に対する法律に関する知識

薬物使用・所持に対する法律に関する知識については、いずれの学校種・学年においても、男女とも「使ったり、持っていたりしたらすぐに罰せられる」と回答した比率が最も高い。そして概ね学年が上がるにつれてその比率が高まる傾向にある。

しかし、「1回使うくらいなら、罰せられることはない」、「持っているだけでは罰せられることはない」、「使ったり、持っていたりしても罰せられることはない」、「わからない」と回答した比率も10%から25%程度存在する。

## (2) 薬物使用・所持に対する法律に関する知識の情報源

薬物使用・所持に対する法律に関する知識の情報源については、いずれの学校種・学年でも男女ともに「テレビ」と回答した比率が最も多い。

「学校の授業」と回答した比率は学年が上がるにつれて高まり、高校1年生でピークに達し、高校3年生ではやや低くなっている。

「新聞」と回答した比率は、いずれの学年においても女子より男子の方が高く、学年が上がるにつれて男女差が大きくなる傾向がある。

「家族」と回答した比率は、男女とも学年が上がるにつれて低くなっている。

平成9年調査と比較すると、平成12年調査「学校の授業」「ポスター、パンフレット」と回答した比率がどの学校種・学年においても増加している。

## 7. 薬物に関する学習経験の有無及びその情報源

### (1) 薬物に関する学習経験

薬物に関する学習経験については、男女とも「あった」と回答した比率は学年が上がるにつれて概ね高まっている。また、いずれの学校種・学年においても男子より女子の方が「あった」と回答した比率が高いが、学年が上がるにつれて男女差は小さくなっている。

平成9年調査と比較すると、平成12年調査ではいずれの学校種・学年においても、男女ともに「あった」と回答した比率は高まっている。

### (2) 薬物に関する学習経験の情報源

薬物に関する学習経験の情報源については、男女とも中学1年生までは「テレビ」と回答した比率が最も高いが、中学2年生以上では学年が上がるにつれて「学校の授業」と回答した比率が最も高くなっている。

「新聞」と回答した比率はすべての学年において女子を男子が上回っており、「テレビ」と回答した比率は小学5年生を除くすべての学年において女子よりも男子が高い。

平成9年調査と比較すると、平成12年調査ではいずれの学校種・学年においても、男女ともに「学校の授業」と回答した比率は高まっている。

## 8. 薬物の有害性・危険性に関する認識およびその情報源

### (1) 薬物の有害性・危険性に関する認識

薬物の有害性・危険性に関する認識については、「依存症」と回答した比率が全ての学年の男女において最も高い。

また「依存症」「急性中毒」「禁断症状」「身体に対する慢性中毒」「精神に対する慢性中毒」と回答した比率は、いずれも男女とも学年が上がるにつれて高くなる傾向があり、このうち「依存症」「急性中毒」「禁断症状」「精神に対する慢性中毒」と回答した比率は、全ての学年において男子より女子の方が高い。「知らなかった」と回答した比率は男女ともいずれも男女とも学年

が上がるにつれて低下している。

平成9年度調査と比較すると、平成12年調査では男女ともに全ての学校種・学年で「急性中毒」「依存症」「フラッシュバック」と回答した比率が増加している。

## (2) 薬物の有害性・危険性に関する認識の情報源

薬物の有害性・危険性に関する認識の情報源については、小学生・中学生においては「テレビ」と回答した比率が最も高くなっているが、高校生においては「学校の授業」と回答した比率が最も高くなっている。

「家族」と回答した比率は、学年が上がるにつれて低くなっている。

平成9年調査と比較すると、平成12年調査では「学校の授業」と回答した比率が大きく増加し、「新聞」「テレビ」と回答した比率が減少している。

## 9. 学習への欲求

学習への欲求については、「知りたい」と回答した比率が、小学5年生から中学3年生までは男女とも30%前後となっているが、高校生では男女とも20%台である。

一方「知りたいとは思わない」と回答した比率は、男女とも学年が上がるにつれて低くなっている。また、「どちらでもない」と回答した比率は、男女とも学年が上がるにつれて高くなる傾向にある。

平成9年調査と比較すると、平成12年調査では中学3年生以上は「知りたいとは思わない」と回答した比率が増加している。

## 10. 薬物の有害性・危険性を学習することを希望する場所

薬物の有害性・危険性を学習することを希望する場所については、いずれの学校種・学年においても、「学校」と回答した比率が最も高くなっている。

また、「学校」「家庭」と回答した比率はいずれの学校種・学年においても男子より女子の方が高く、「警察」と回答した比率はいずれの学校種・学年においても女子より男子の方が高くなっている。

平成9年調査と比較すると、平成12年調査では「学校」「家庭」と回答した比率が高くなっている。

## 11. 覚せい剤等薬物乱用が増加している原因

覚せい剤等薬物乱用が増加している原因については、いずれの学校種・学年においても、男女とも「薬物が簡単に入るようになっている」と回答した比率が最も高く、学年が上がるにつれてその比率は高まっている。

ついで、小学5年生を除きいずれの学校種・学年においても「簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことのこわさ（有害性、危険性）についての誤った情報があふれている」と回答した比率が高くなっている。一方、「社会のルールを守る

うとする意識が薄れている」と回答した比率は学年が上がるにつれて低くなっている。

また、「本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている」「友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる」「学校や家庭がおもしろくない」と回答した比率はいずれの学校種・学年においても男子より女子の方が高い。

## 12. 薬物使用に対する考え方

薬物使用に対する考え方については、いずれの学校種・学年においても、男女とも「どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない」と回答した比率が最も高いが、その比率は学年が上がるにつれて低くなる傾向がある。

また、「他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である」と回答した比率は、男女とも学年が上がるにつれて高くなる傾向があり、その傾向は特に男子において顕著である。

平成9年度調査と比較すると、平成12年度調査はいずれの学校種・学年においても、男女とも「どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない」と回答した比率が概ね高まっている。

また、「他人に迷惑をかけていないので使うかどうかは個人の自由である」と回答した比率は高校においては低下している。

## 設問間クロス集計結果の概要

### 1. 薬物に対する印象（問16 薬物に対する印象）と各設問とのクロス

問16の回答結果から、回答者を薬物使用に対して肯定的な印象を持っているグループ（「容認的」）と薬物使用に対して否定的な印象を持っているグループ（「非容認的」）と分け、「問18 薬物を使ったらどうなるか」と「問27 薬物使用に対する考え」との関連をみた。

#### （1）薬物使用・所持に対する知識（「問18 薬物を使ったらどうなるか」との関連

「使ったり、持っていたりしたら全て罰せられる」と回答した比率は、男女ともに全ての学年において、「容認的」よりも「非容認的」の方が高い。また、低学年ほど「容認的」と「非容認的」の比率の差が大きく、学年が上がるにつれてその差が縮まる傾向にある。

#### （2）薬物使用に対する考え（「問27 薬物使用に対する考え」との関連

「どのような理由であれ絶対に使うべきではないし、許されることではない」と回答した比率は、男女ともに全ての学年において、「容認的」よりも「非容認的」の方が高い。

### 2. 薬物使用・所持に対する知識（問18 薬物を使ったらどうなるか）と各設問とのクロス

問18の回答結果から、回答者を薬物使用に対して犯罪認識を持っているグループ（「犯罪認識あり」）と薬物使用に対して犯罪認識を持っていないグループ（「犯罪認識なし」）と分け、「問27 薬物使用に対する考え」との関連をみた。

#### （1）薬物使用・所持に対する考え（「問27 薬物使用に対する考え」との関連

「どのような理由であれ絶対に使うべきではないし、許されることではない」と回答した比率は、男女ともに全ての学年において、「犯罪意識なし」よりも「犯罪意識あり」の方が高かった。

一方、「他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である」と回答した比率は、男女ともに、いずれの学校種・学年においても、「非容認的」よりも「容認的」の方が高く、学年が上がるにつれてその差は大きくなる傾向にある。

### 3. 薬物に関する学習経験の有無（問20 薬物についての学習）と各設問とのクロス

問20の設問に対し「あった」と回答したグループを「学習あり」グループ、「なかった」と回答したグループを「学習なし」グループと分け、「問18 薬物を使ったらどうなるか」との関連をみた。

#### （1）薬物使用・所持に対する知識（「問18 薬物を使ったらどうなるか」との関連

「使ったり、持っていたりしたら全て罰せられる」と回答した比率は、男女ともに全ての学年において、「学習なし」よりも「学習あり」の方が高い。

(2) 薬物の有害性・危険性に関する認識(「問22 薬物を使った場合の影響」との関係)との関連  
すべての学年の男女において、質問22のいずれの選択肢についても「学習なし」グループよりも「学習あり」グループの方が「知っている」と回答した割合が高かった。

一方、「知らなかった」と回答した比率は、男女ともに、すべての学校種・学年においても「学習あり」グループよりも「学習なし」グループのほうが高い。

平成9年調査と比較すると、「学習あり」では「急性中毒」「依存症」「フラッシュバック」と回答した比率が増加している。

## 児童生徒調査結果のまとめと考察

1. 性別・学校種学年別集計結果のまとめと考察
2. 設問間クロス集計結果のまとめと考察

### Ⅲ 指導状況調査の概要

#### 指導状況集計結果の概要

##### 1. 平成11年度における指導実施状況

調査対象校の薬物乱用防止に関する指導の実施状況については、小学校では59.5%（242校中144校）、中学校では90.5%（241校中218校）、高等学校では、90.6%（244校中221校）が実施したと回答している。平成9年調査と比較すると、全ての学校種で実施していると回答した比率が増加している。

##### 2. 指導実施学校における教科毎の指導時数

###### (1) 小学校

学校において指導した主な教科等は、「学級活動」、「体育」であった。

「学級活動」で指導を行った学校については、学年別では第6学年が最も多く、実施学校数の比率は51.4%（144校中74校）であった。また、その指導時数ごとの学校数の比率は、1単位時間未満が24.3%（144校中35校）、1単位時間以上2単位時間未満が20.8%（144校中30校）、2単位時間以上3単位時間未満が4.9%（144校中7校）であった。

「体育」で指導を行った学校についても、学年別では第6学年が最も多く、実施学校数の比率は41.7%（144校中60校）であった。また、その指導時数ごとの学校数の比率は、1単位時間未満が24.3%（144校中35校）、1単位時間以上2単位時間未満が14.6%（144校中21校）、2単位時間以上3単位時間未満が2.1%（144校中3校）であった。

「総合的な学習の時間」で指導を行った学校についても、学年別では第6学年が最も多く、実施学校数の比率は6.9%（144校中10校）であった。また、その指導時数ごとの学校数の比率は、1単位時間未満が3.5%（144校中5校）、1単位時間以上2単位時間未満が0.7%（144校中1校）、3単位時間以上が2.8%（144校中4校）であった。

平成9年調査と比較すると、各学年とも「体育」で指導を行った学校の比率が増加している。

###### (2) 中学校

学校において指導した主な教科等は「保健体育」、「学級活動」、「学校行事」であった。

「保健体育」で指導を行った学校については、学年ごとの学校数の比率は第3学年が最も高く、63.8%（218校中139校）であった。その指導時数ごとの学校数の比率は1単位時間未満が12.8%（218校中28校）、1単位時間以上2単位時間未満が34.4%（218校中75校）、2単位時間以上3単位時間未満が9.6%（218校中21校）、3単位時間以上が6.9%（218校中15校）であった。第1学年と第2学年では、指導時数ごとの学校数の比率はほぼ同率であった。

「学級活動」で指導を行った学校については、指導時数ごとの学校数の比率は各学年とも1単位時間未満が最も高く、第1学年は21.1%（218校中46校）、第2学年は21.1%（218校中46校）、第3学年は18.3%（218校中40校）であった。

「学校行事」で指導を行った学校については、指導時数ごとの学校数の比率は各学年とも1



単位時間未満が最も高く、第1学年は16.1%（218校中35校）、第2学年は16.1%（218校中35校）、第3学年は37.0%（218校中17校）であった。

「総合的な学習の時間」で指導を行った学校については、第1学年で4.1%（218校中9校）、第2学年で3.2%（218校中7校）、第3学年で4.6%（218校中10校）であった。

指導時数ごとの学校数の比率は各学年とも1単位時間未満が最も高く、第1学年は1.8%（218校中35校）、第2学年は16.1%（218校中35校）、第3学年は37.0%（218校中17校）であった。

平成9年調査と比較すると、全ての学年で「体育」「学級活動」「学校行事」で指導を行った学校の比率が増加している。

### （3）高等学校

学校において指導した主な教科等は、「保健体育」、「学校行事」、「ホームルーム活動」であった。

「保健体育」で指導を行った学校については、指導時数ごとの学校数の比率は1単位時間以上2単位時間未満が最も高く44.8%（221校中99校）、1単位時間未満が18.6%（221校中41校）、2単位時間以上3単位時間未満が19.5%（221校中43校）、3単位時間以上が10.0%（221校中22校）であった。

「学校行事」で指導を行った学校については、指導時数ごとの学校数の比率は各学年ともほぼ同じで1単位時間未満が20%前後、1単位時間以上2単位時間が20%前後、2単位時間以上3単位時間未満が2%前後、3単位時間以上が2%前後であった。

「ホームルーム活動」で指導を行った学校については、指導時数ごとの学校数の比率は各学年とも1単位時間未満が最も高く、20%前後であった。

「総合的な学習の時間」で指導を行った学校については、第1学年は1.8%（221校中4校）、第2学年は1.4%（221校中3校）、第3学年は1.4%（221校中3校）であった。

指導時数ごとの学校数の比率は各学年とも1単位時間未満が最も高く、第1学年は0.9%（221校中2校）、第2学年は0.9%（221校中2校）、第3学年は0.9%（221校中2校）であった。

平成9年調査と比較すると、全ての学年で「ホームルーム活動」「学校行事」で指導を行った学校の比率が増加している。教科別では「化学ⅠB」「化学Ⅱ」「生物ⅠA」「生物ⅠA」「生徒会活動」で指導を行った学校の比率が増加している。

## 3. 指導の中で取り上げた薬物

### （1）小学校

教科及び学年全体では、「有機溶剤」（71.5%）、「覚せい剤」（70.1%）と回答した比率が高く、次いで「麻薬」（43.1%）、「大麻」（33.2%）、「LSD」（24.1%）、「その他」（22.3%）、「コカイン」（20.8%）、「アヘン類」（16.8%）であった。

平成9年調査と比較すると、「覚せい剤」「大麻」「コカイン」「アヘン類」「LSD」「その他」を取り上げた学校が増加している。

## (2) 中学校

教科及び学年全体では、「覚せい剤」(83.1%)と回答した比率が最も高く、次いで「有機溶剤」(82.2%)、「麻薬」(51.5%)、「大麻」(50.8%)、「コカイン」(36.8%)、「アヘン類」(36.0%)、「LSD」(33.9%)、「その他」(13.3%)であった。

平成9年調査と比較すると、「覚せい剤」「大麻」「コカイン」「アヘン類」「LSD」「その他」を取り上げた学校が増加している。

## (3) 高等学校

教科及び学年全体では、「覚せい剤」(82.4%)と回答した比率が最も高く、次いで「有機溶剤」(80.9%)、「大麻」・「麻薬」(63.0%)、「コカイン」(55.1%)、「LSD」(50.6%)、「アヘン類」(50.2%)、「その他」(19.5%)であった。

平成9年調査と比較すると、「大麻」「コカイン」「アヘン類」「LSD」「その他」を取り上げた学校が増加している。

# 4. 使用した教材

## (1) 小学校

教科及び学年全体では、「ビデオ」(53.7%)、「パンフレット」(41.6%)、「その他」(25.5%)、「自作プリント」(21.6%)、「教科書」(17.6%)、「OHP」(4.3%)、「インターネット」(2.0%)、「スライド」(1.6%)、「映画」(0.4%)、「特になし」(0.0%)であった。

平成9年調査と比較すると、「教科書」「パンフレット」「ビデオ」「自作プリント」「その他」で指導を実施した学校が増加している。

## (2) 中学校

教科及び学年全体では、「ビデオ」(55.4%)、「パンフレット」(51.1%)、「教科書」(29.1%)、「自作プリント」(25.0%)、「その他」(16.4%)、「スライド」(4.7%)、「映画」(3.9%)、「OHP」(3.6%)、「インターネット」(3.1%)、「特になし」(0.0%)であった。

平成9年調査と比較すると、「パンフレット」「ビデオ」「映画」「自作プリント」「その他」で指導を実施した学校が増加している。

## (3) 高等学校

教科及び学年全体では、「教科書」(38.4%)と回答した比率が最も高く、次いで「パンフレット」(37.4%)、「ビデオ」(36.2%)、「自作プリント」(18.9%)、「その他」(16.1%)、「映画」(6.2%)、「スライド」・「OHP」(3.9%)、「インターネット」(2.2%)であった。

平成9年調査と比較すると、「教科書」「パンフレット」「ビデオ」「スライド」「OHP」「その他」で指導を実施した学校が増加している。

## 5. 指導の協力者

### (1) 小学校

教科及び学年全体では、「ない」(44.5%)と回答した比率が最も高く、次いで「養護教諭」(41.1%)、「薬物乱用防止指導員」(15.5%)、「警察職員」(14.0%)、「学校薬剤師」(9.4%)、「学校医」(5.7%)、「その他」(4.2%)、「他の教科担当者」(3.8%)であった。

平成9年調査と比較すると、「養護教諭」「学校医」「学校薬剤師」「警察職員」「その他」の項目が増加している。

### (2) 中学校

教科及び学年全体では、「ない」(45.5%)と回答した比率が最も高く、次いで「警察職員」(33.8%)、「薬物乱用防止職員」(29.7%)、「養護教諭」(16.8%)、「他の教科担当者」(7.6%)、「その他」(7.2%)、「学校薬剤師」(6.6%)、「学校医」(1.2%)、「学校歯科医」(1.0%)であった。

平成9年調査と比較すると、「養護教諭」「学校薬剤師」「警察職員」「その他」の項目が増加している。

### (3) 高等学校

教科及び学年全体では、「ない」(43.5%)、「警察職員」(32.7%)、「薬物乱用防止指導員」(26.5%)、「他の教科担当者」(11.0%)、「養護教諭」(10.3%)、「学校薬剤師」(8.1%)、「その他」(4.8%)、「麻薬取締官等」(4.0%)、「学校医」(3.6%)、「学校歯科医」(0.3%)であった。

平成9年調査と比較すると、「養護教諭」「学校医」「学校薬剤師」「警察職員」「麻薬取締官等」「ない」の項目が増加している。

## 6. 薬物乱用防止に関する平成11年度の実施状況

### (1) 平成11年度の薬物乱用防止教室の実施状況

学校種別でみると、小学校では「平成11年度も開催せず、予定もない」(55.8% : 242校中135校)と回答した比率が最も高く、次いで「平成11年度は開催していないが、今年度は実施(予定も含む)する」(22.3% : 242校中54校)、「年間計画に位置付けて開催した」(12.4% : 242校中30校)であった。

中学校では、「年間計画に位置付けて開催した」(46.5% : 241校中112校)と回答した比率が最も高く、次いで「年間計画に位置付けられなかったが臨時に開催した」(20.7% : 241校中50校)、「平成11年度も開催せず、予定もない」(16.6% : 241校中40校)、「平成11年度は開催していないが、今年度は実施(予定も含む)する」(15.8% : 241校中38校)であった。

高等学校では、「年間計画に位置付けて開催した」(62.7% : 244校中153校)と回答した比率が最も高く、次いで「平成11年度も開催せず、予定もない」(17.6% : 244校中43校)、「年間計画に位置付けられなかったが臨時に開催した」(12.7% : 244校中31校)であった。

## (2) 薬物乱用防止教室で依頼している講師の職種

学校種別でみると、小学校では、「警察職員」(46.6% : 73 校中 34 校) と回答した比率が最も高く、次いで「学校薬剤師等薬剤師」(27.4% : 73 校中 20 校)、「その他」(16.4% : 73 校中 12 校)であった。

中学校では、「警察職員」(81.7% : 191 校中 156 校) と回答した比率が最も高く、次いで「学校薬剤師等薬剤師」(16.2% : 191 校中 31 校)、「保健所職員」・「薬物乱用防止指導員」(8.9% : 191 校中 17 校)であった。

高等学校では、「警察職員」(81.6% : 201 校中 164 校) と回答した比率が最も高く、次いで「学校薬剤師等薬剤師」(15.4% : 201 校中 31 校)、「薬物乱用防止指導員」(10.0% : 201 校中 20 校)であった。

## (3) 薬物乱用防止教室の実施形態

学校種別でみると、小学校では、「講義形式」(68.9% : 90 校中 62 校) と回答した比率が最も高く、次いで「チームティーチング(教職員と外部講師)により進めている」(22.2% : 90 校中 20 校)、「キャラバンカーの活用を図る」(14.4% : 90 校中 13 校)、「ロールプレイング、討論形式など児童生徒の参加により進めている」(11.1% : 90 校中 10 校)であった。

中学校では、「講義形式」(91.9% : 197 校中 181 校) と回答した比率が最も高く、次いで「キャラバンカーの活用を図る」(14.7% : 197 校中 29 校)、「その他」(8.1% : 197 校中 16 校)であった。

高等学校では、「講義形式」(91.3% : 206 校中 188 校) と回答した比率が最も高く、次いで「キャラバンカーの活用を図る」(10.7% : 206 校中 22 校)、「その他」(7.3% : 206 校中 15 校)であった。

## 7. 薬物乱用防止に関する平成12年度指導計画

### (1) 小学校

調査対象校(問1、問3のどちらか一方でも無回答の9校を除いた233校)のうち、平成12年度に何らかの指導を実施することを予定している学校の比率は70.9%(165校)である。

このうち、平成11年度に薬物乱用防止の指導を実施し、平成12年度は指導をより充実すとした学校の計画は、「授業の充実」(75.0% : 68 校中 51 校)の比率が最も高く、次いで「麻薬取締官OB等活用」(33.8% : 68 校中 23 校)、「教員の研修会への参加促進」(30.9% : 68 校中 21 校)、「教材作成」(26.5% : 68 校中 18 校)であった。

一方、平成11年度に指導を実施しなかったが、平成12年度は指導をすとした学校の計画は、「授業の充実」(65.2% : 23 校中 15 校)の比率が最も高く、次いで「麻薬取締官OB等活用」・「教材作成」・「教員の研修会への参加促進」(21.7% : 23 校中 5 校)であった。

平成9年調査と比較すると、両グループともに「授業の充実」「児童対象の講習会開催」「麻薬取締官OB等活用」「教材作成」が増加している。

## (2) 中学校

調査対象校（問1、問3のどちらか一方でも無回答の10校を除いた231校）のうち、平成12年度に何らかの指導を実施することを予定している学校の比率は95.7%（221校）である。

平成11年度に薬物乱用防止の指導を実施し、平成12年度は指導をより充実とした学校の計画は、「児童対象の講習会開催」（55.0%：109校中60校）の比率が最も高く、次いで「授業の充実」（52.3%：109校中57校）、「教員の研修会への参加促進」（24.8%：109校中27校）、「麻薬取締官OB等活用」（21.1%：109校中23校）であった。

一方、平成11年度に指導を実施しなかったが、平成12年度は指導をするとした学校の計画は、「授業の充実」（83.3%：6校中5校）の比率が最も高く、次いで「教員の研修会への参加促進」（50.0%：6校中3校）、「児童対象の講習会開催」（33.3%：6校中2校）であった。

平成9年調査と比較すると、両グループともに「授業の充実」「児童対象の講習会開催」「麻薬取締官OB等活用」「教材作成」が増加しているが、Dグループについては「教員の講習会への参加促進」も増加している。

## (3) 高等学校

調査対象校（問1、問3のどちらか一方でも無回答の11校を除いた233校）のうち、平成12年度に何らかの指導を実施することを予定している学校の比率は94.9%（221校）である。

平成11年度に薬物乱用防止の指導を実施し、平成12年度は指導をより充実とした学校の計画は、「児童対象の講習会開催」（73.8%：103校中76校）の比率が最も高く、次いで「授業の充実」（50.5%：103校中52校）、「教員の研修会への参加促進」（25.2%：103校中26校）であった。

一方、平成11年度に指導を実施しなかったが、平成12年度は指導をするとした学校の計画は、「授業の充実」・「児童対象の講習会開催」・「キャンペーン等への参加」・「教員の研修会への参加促進」（50.0%：2校中1校）であった。

平成9年調査と比較すると、Dグループでは「児童対象の講習会開催」「教材作成」「キャンペーン等への参加」が増加している。Bグループでは「授業の充実」「キャンペーン等への参加」「教員の研修会への参加促進」が増加している。

## 指導状況調査結果のまとめと考察

## 第1章 児童生徒調査結果（単純集計）

### 1. 回答した児童生徒の状況

学校種・学年別、性別の回答者数を以下に示す。

表1-1-1 学校種・学年別、性別回答者数

学校種・学年			男子	女子	合計	
小学校	5年生	N	4181	3952	8133	
		(%)	11.2	10.9	11.1	
小学校	6年生	N	4243	4108	8351	
		(%)	11.4	11.4	11.4	
中学校	1年生	N	4630	4435	9065	
		(%)	12.4	12.3	12.3	
		N	4625	4322	8947	
中学校	2年生	(%)	12.4	12.0	12.2	
		N	4599	4437	9036	
中学校	3年生	(%)	12.3	12.3	12.3	
		N	5166	5133	10299	
		(%)	13.9	14.2	14.0	
高等学校	2年生	N	5031	4918	9949	
		(%)	13.5	13.6	13.5	
高等学校	3年生	N	4820	4830	9650	
		(%)	12.9	13.4	13.1	
合 計			N	37295	36135	73430

表1-1-2 対象学校数

小学校	中学校	高等学校
262	269	271

## 2. 集計結果

(全員お答えください。)

### 【お酒についての質問】

質問1 未成年の飲酒は禁じられていますが、あなたはお酒を飲みたいと思ったことがありますか。(1つに○)

- 1 飲みたいと思ったことがある
- 2 飲みたいと思ったことはない
- 3 考えたことがない

表1-2-1 お酒を飲みたいと思ったことがあるか

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 飲みたいと思ったことがある (%)	29.1	26.1	35.4	34.5	40.1	43.3	47.8	50.8	57.2	57.8
2. 飲みたいと思ったことはない (%)	46.8	50.5	42.0	44.1	36.2	34.7	31.2	30.6	26.7	25.0
3. 考えたことがない (%)	23.9	23.2	22.5	21.3	23.5	21.8	20.9	18.5	16.0	17.0
無回答 (%)	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 飲みたいと思ったことがある (%)	71.4	70.6	74.8	76.2	76.5	79.9
2. 飲みたいと思ったことはない (%)	17.5	16.9	14.9	13.5	12.9	10.7
3. 考えたことがない (%)	10.9	12.2	10.1	10.1	10.2	9.3
無回答 (%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	0.1
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「あなたはお酒を飲みたいと思ったことがありますか。」との設問では、男女ともに、学年が上がるにつれて「飲みたいと思ったことがある」と回答した比率が高まる傾向にある。「飲みたいと思ったことがある」と回答した比率については、小学6年生までは男子の方が高いが、中学1年生で男女の比率が逆転し、女子の方が高くなっている（小5男子29.1%・小5女子26.1%、中2男子47.8%・中2女子50.8%、高2男子74.8%・高2女子76.2%）。



図1-2-1-1 (1) お酒を飲みたいと思ったことがあるか (男子)

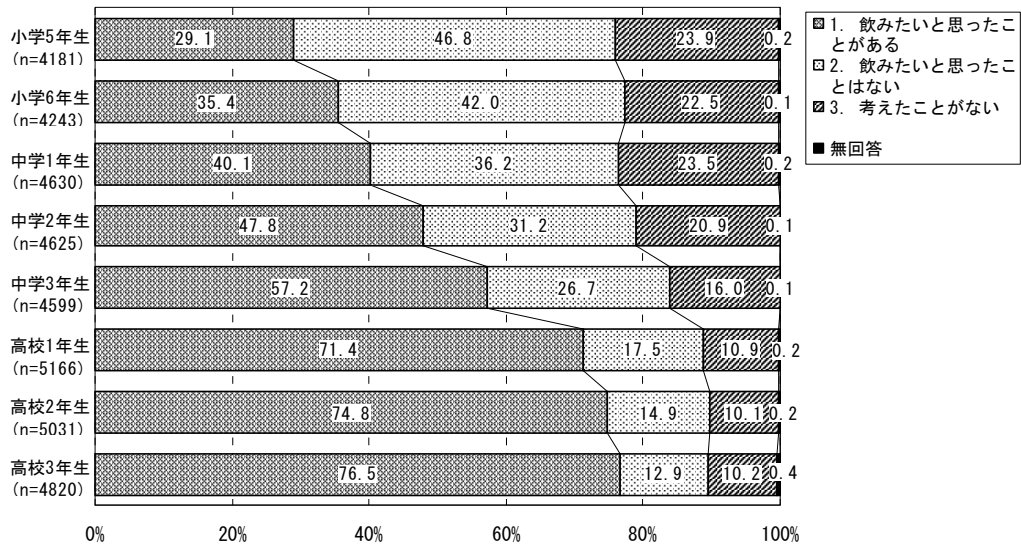
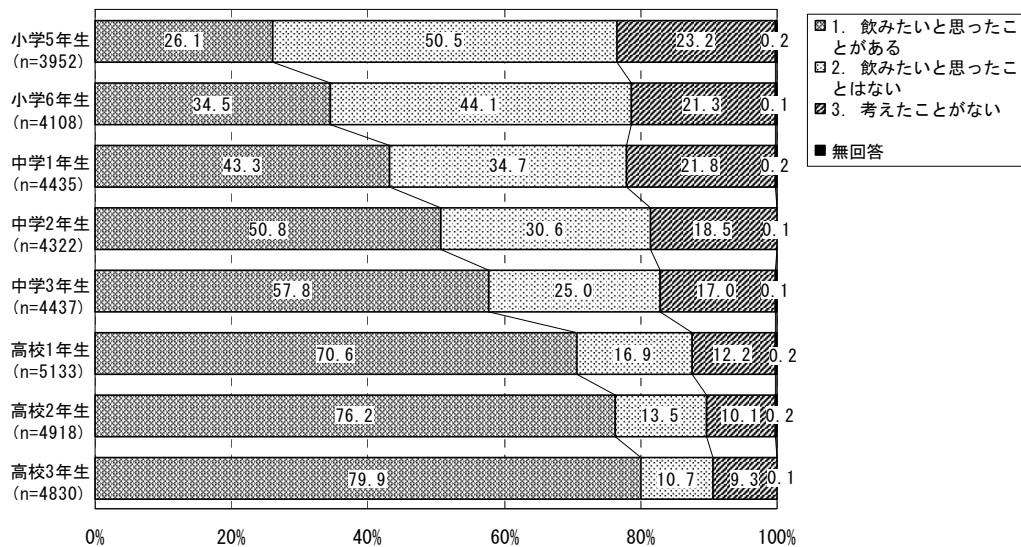


図1-2-1-1 (2) お酒を飲みたいと思ったことがあるか (女子)



(全員お答えください。)

【お酒についての質問】

質問2 お酒を飲むと健康に害があると思いますか。(1つに○)

- 1 害はほとんどない
- 2 多少はあるだろうが大したことはないと思う
- 3 大いに害がある
- 4 わからない

表1-2-2 お酒による健康への影響

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 害はほとんどない (%)	5.1	2.3	5.0	2.0	6.2	3.5	7.7	4.3	11.2	4.4
2. 多少はあるだろうが大したことはないと思う (%)	36.8	33.4	43.0	44.4	46.0	46.8	51.7	52.8	54.9	54.9
3. 大いに害がある (%)	37.6	41.6	37.0	37.3	31.1	33.5	28.8	29.8	24.1	30.0
4. わからない (%)	20.3	22.6	14.8	16.1	16.5	16.1	11.8	12.9	9.7	10.5
無回答 (%)	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 害はほとんどない (%)	11.2	4.9	14.5	6.7	17.5	7.6
2. 多少はあるだろうが大したことはないと思う (%)	62.3	61.6	61.5	65.7	59.0	65.6
3. 大いに害がある (%)	20.2	25.9	17.0	21.0	16.3	20.8
4. わからない (%)	5.9	7.4	6.8	6.2	6.8	5.8
無回答 (%)	0.3	0.2	0.2	0.4	0.4	0.2
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「お酒を飲むと健康に害があると思いますか。」との設問では、男女ともに、学年が上がるにつれて「多少はあるだろうが大したことはないと思う」と回答した比率が高まる（小5男子 36.8%・小5女子 33.4%、中2男子 51.7%・中2女子 52.8%、高2男子 61.5%・高2女子 65.7%）。

一方で「大いに害がある」と回答した比率が低くなる傾向にある（小5男子 37.6%・小5女子 41.6%、中2男子 28.8%・中2女子 29.8%、高2男子 17.0%・高2女子 21.0%）。

図1-2-2-(1) お酒による健康への影響 (男子)

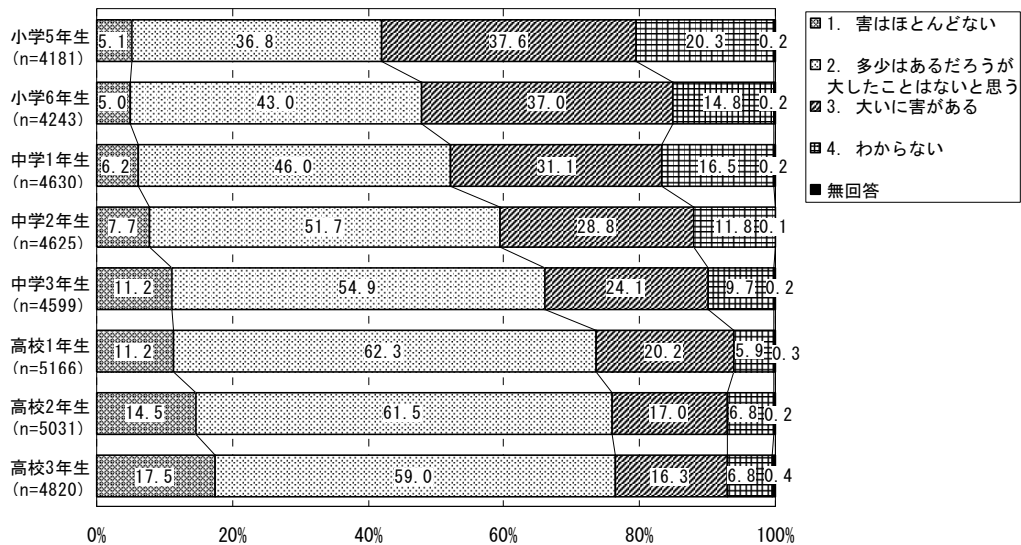
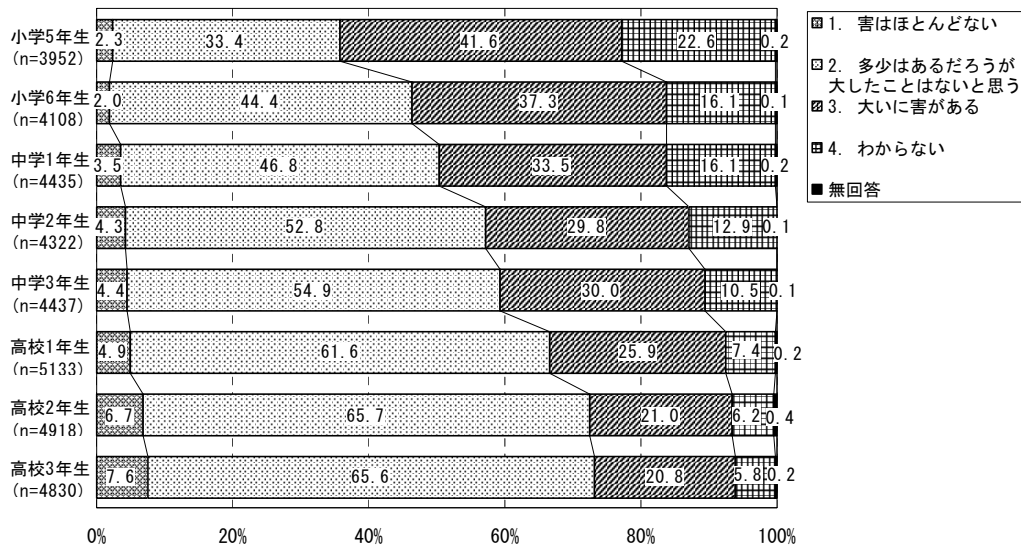


図1-2-2-(2) お酒による健康への影響 (女子)



(全員お答えください。)

【お酒についての質問】

質問3 あなたはお酒を飲む人についてどのように思いますか。(1つに○)

- 1 かっこいい
- 2 かっこわるい
- 3 どちらとも思わない

表1-2-3 お酒を飲む人の印象

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. かっこいい (%)	3.9	2.5	3.9	3.3	5.5	4.6	5.3	4.6	5.7	4.5
2. かっこわるい (%)	20.7	19.5	14.7	14.8	10.1	10.2	7.0	7.0	5.9	5.6
3. どちらとも思わない (%)	75.1	77.8	81.3	81.7	84.3	84.9	87.6	88.3	88.2	89.9
無回答 (%)	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. かっこいい (%)	6.4	4.0	5.6	3.2	6.3	2.9
2. かっこわるい (%)	4.1	3.2	3.4	2.9	3.8	2.8
3. どちらとも思わない (%)	89.4	92.7	90.9	93.8	89.7	94.3
無回答 (%)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「お酒を飲む人についてどのように思いますか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても、男女ともに「どちらとも思わない」と回答した比率が最も高い（小5男子75.1%・小5女子77.8%、中2男子87.6%・中2女子88.3%、高2男子90.9%・高2女子93.8%）。

「かっこいい」と回答した比率は、男子については学年があがるとともに増加する傾向にある。一方女子は小学5年生から中学2年生までは増加しているが、中学3年生からは減少する傾向にある（小5男子3.9%・小5女子2.5%、中2男子5.3%・中2女子4.6%、高2男子5.6%・高2女子3.2%）。

「かっこわるい」と回答した比率は、いずれの学校種・学年においても、男女ともに減少している（小5男子20.7%・小5女子19.5%、中2男子7.0%・中2女子7.0%、高2男子3.4%・高2女子2.9%）。

図1-2-3-(1) お酒を飲む人の印象 (男子)

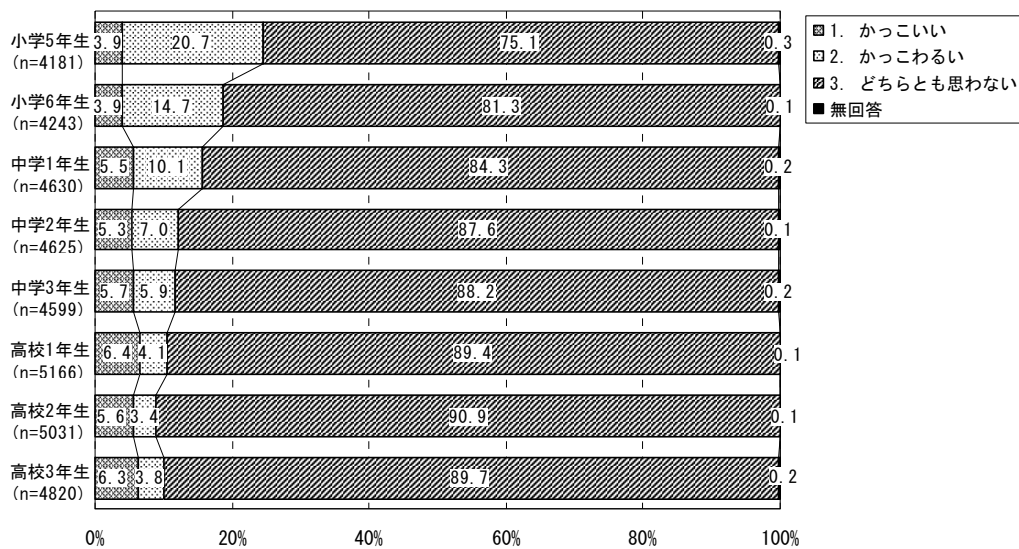
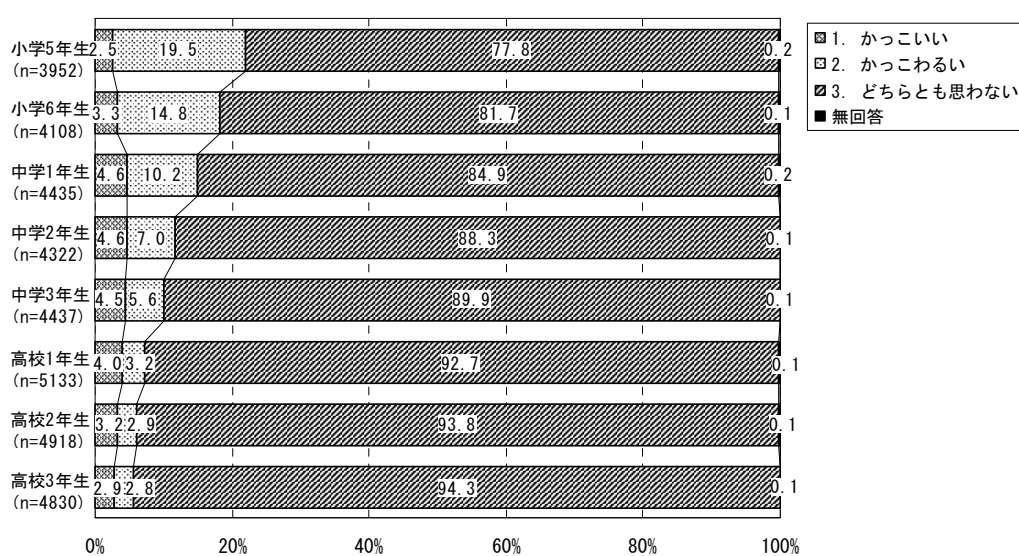


図1-2-3-(2) お酒を飲む人の印象 (女子)



(全員お答えください。)

【お酒についての質問】

質問4 あなたの家族でお酒を飲む人がいますか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

表1-2-4 お酒を飲む人が家族にいるか

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. はい (%)	86.2	86.2	86.0	88.2	86.7	88.0	86.9	89.0	88.2	89.2
2. いいえ (%)	10.7	10.6	11.9	9.8	11.0	10.0	10.8	9.2	10.2	9.3
3. わからない (%)	2.3	2.9	1.8	1.8	2.0	1.8	1.9	1.6	1.5	1.3
無回答 (%)	0.7	0.3	0.3	0.2	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. はい (%)	88.5	89.9	88.5	90.4	87.5	90.2
2. いいえ (%)	9.7	9.1	9.7	8.5	10.3	8.6
3. わからない (%)	1.6	1.0	1.7	1.0	2.0	1.0
無回答 (%)	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「あなたの家族でお酒を飲む人がいますか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても、男女ともに「はい」と回答した比率が最も高く、すべての学校種・学年において90%前後である(小5男子86.2%・小5女子86.2%、中2男子86.9%・中2女子89.0%、高2男子88.5%・高2女子90.4%)。

図1-2-4-(1) お酒を飲む人が家族にいるか (男子)

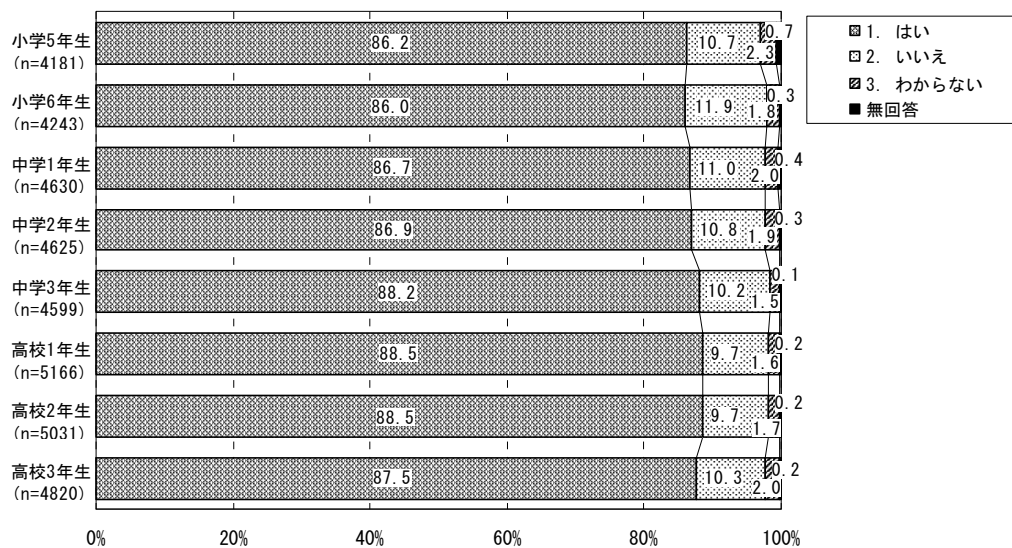
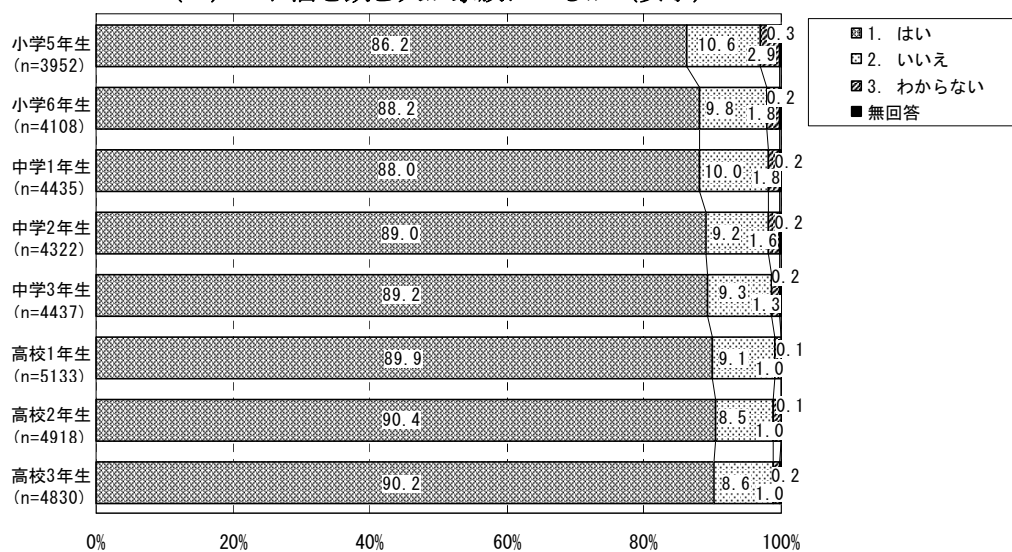


図1-2-4-(2) お酒を飲む人が家族にいるか (女子)



(全員お答えください。)

【お酒についての質問】

質問5 あなたが将来、20歳以上になったらお酒を飲むと思いますか。(1つに○)

- 1 飲むと思う
- 2 飲まないと思う
- 3 わからない

表1-2-5 将来お酒を飲むと思うか

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 飲むと思う (%)	41.3	35.4	47.8	43.4	55.3	53.6	60.9	60.7	68.3	66.9
2. 飲まないと思う (%)	27.8	31.1	23.0	24.6	17.2	18.2	15.4	15.1	13.7	13.2
3. わからない (%)	30.4	33.4	29.1	31.9	27.2	28.1	23.5	24.1	17.9	19.7
無回答 (%)	0.4	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 飲むと思う (%)	75.2	74.3	78.0	78.5	79.0	82.5
2. 飲まないと思う (%)	10.6	9.7	8.6	8.3	9.4	7.2
3. わからない (%)	14.0	15.8	13.3	13.0	11.3	10.1
無回答 (%)	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「20歳以上になったらお酒を飲むと思いますか。」との設問では、男女ともに、学年が上がるにつれて「飲むと思う」と回答した比率が高まり、「飲まないと思う」「わからない」と回答した比率が低くなる傾向にある（飲むと思う：小5男子 41.3%・小5女子 35.4%、中2男子 60.9%・中2女子 60.7%、高2男子 78.0%・高2女子 78.5%）（飲まないと思う：小5男子 27.8%・小5女子 31.1%、中2男子 15.4%・小5女子 15.1%、高2男子 8.6%・高2女子 8.3%）（わからない：小5男子 30.4%・小5女子 33.4%、中2男子 23.5%・中2女子 24.1%、高2男子 13.3%・高2女子 13.0%）。

「飲むと思う」については、高校2年生、3年生において男女の比率が逆転している。質問4において「カッコ悪い」が減っているが、それとともに「飲むと思う」が増えている。

男子と比べて女子のほうが学年が上がるにつれて「飲むと思う」と回答した比率の増加が大きい。



図1-2-5-(1) 将来お酒を飲むと思うか (男子)

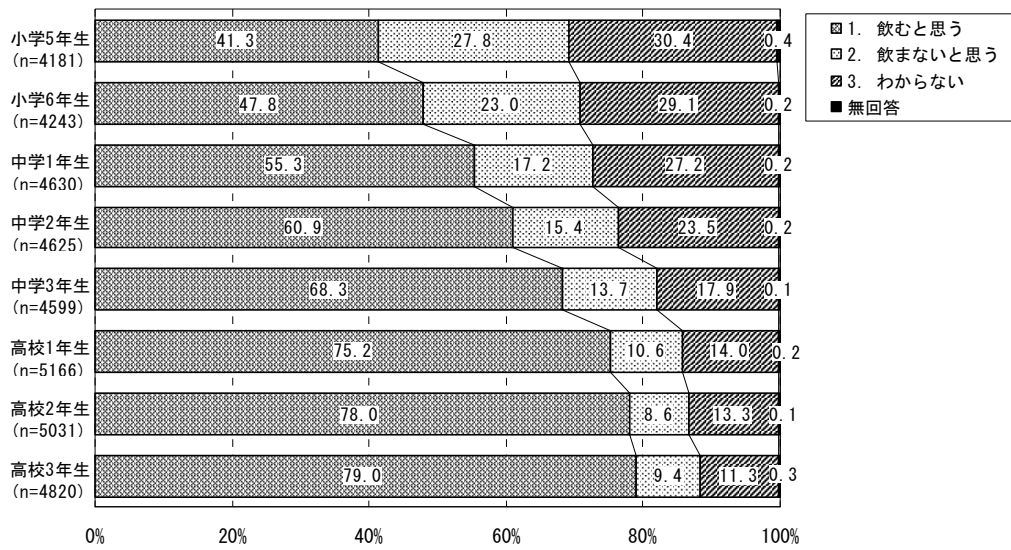
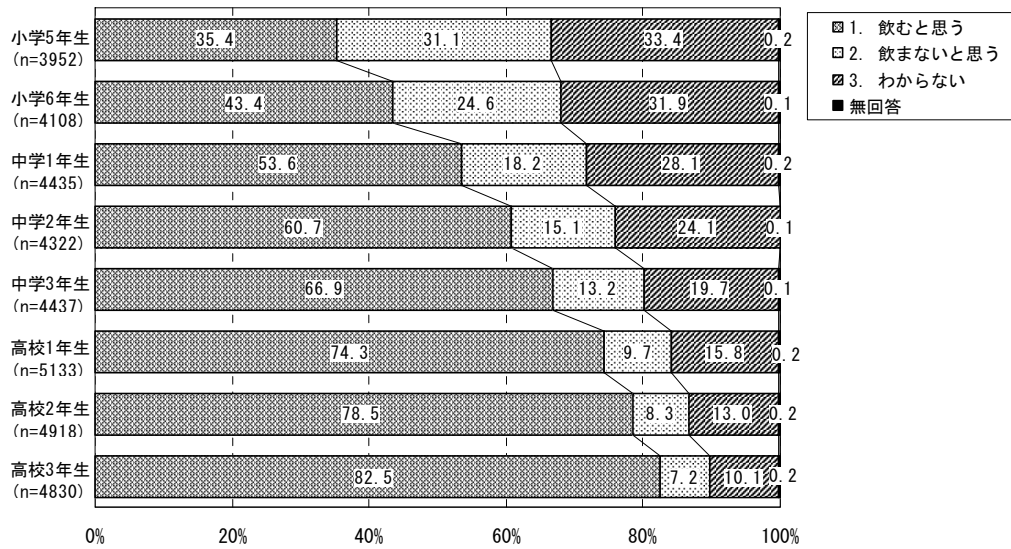


図1-2-5-(2) 将来お酒を飲むと思うか (女子)



(全員お答えください。)

【たばこについての質問】

質問6 未成年の喫煙は禁じられていますが、あなたはこれまでにたばこを吸いた  
 と思ったことがありますか。(1つに○)

- 1 吸いたいと思ったことはある
- 2 吸いたいと思ったことはない
- 3 考えたことがない

表1-2-6 たばこを吸いたいと思ったことがあるか

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 吸いたいと思ったことはある (%)	14.6	8.8	15.2	9.8	19.3	14.8	23.4	17.2	27.7	19.0
2. 吸いたいと思ったことはない (%)	64.1	71.6	65.4	74.1	61.3	69.8	58.9	68.8	56.6	66.6
3. 考えたことがない (%)	21.0	19.4	19.2	16.0	19.2	15.3	17.6	14.0	15.5	14.3
無回答 (%)	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 吸いたいと思ったことはある (%)	34.5	21.6	40.2	25.9	43.5	26.5
2. 吸いたいと思ったことはない (%)	53.6	68.3	47.1	63.5	43.0	61.8
3. 考えたことがない (%)	11.8	9.9	12.6	10.6	13.2	11.5
無回答 (%)	0.1	0.2	0.1	0.0	0.2	0.2
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「これまでにたばこを吸いたいと思ったことがありますか。」との設問では、「吸いたいと思ったことはある」と回答した比率は、男女とも学年が進むにつれて増加する傾向にある(小5男子 14.6%・小5女子 8.8%、中2男子 23.4%・中2女子 17.2%、高2男子 40.2%・高2女子 25.9%)。

「吸いたいと思ったことはない」と回答した比率は、男女とも学年が進むにつれて減少している(小5男子 64.1%・小5女子 71.6%、中2男子 58.9%・中2女子 68.8%、高2男子 47.1%・高2女子 63.5%)。男子では高校3年生で「吸いたいと思ったことはある」と「吸いたいと思ったことはない」と回答した比率が逆転している。

「たばこを吸いたいと思ったことはある」と回答した比率が「将来お酒を飲みたいと思う」と回答した比率を下回っている。

図1-2-6-(1) たばこを吸いたいと思ったことがあるか (男子)

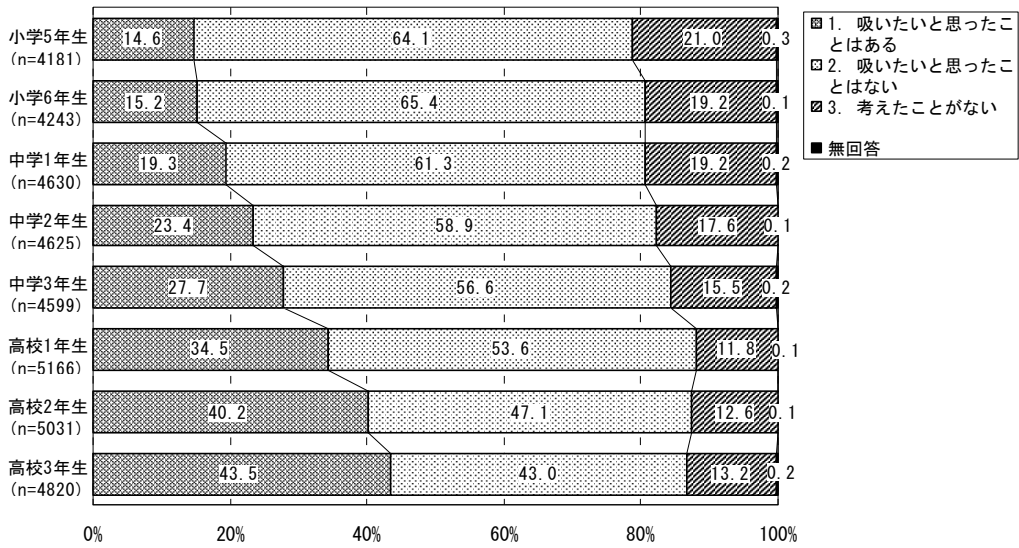
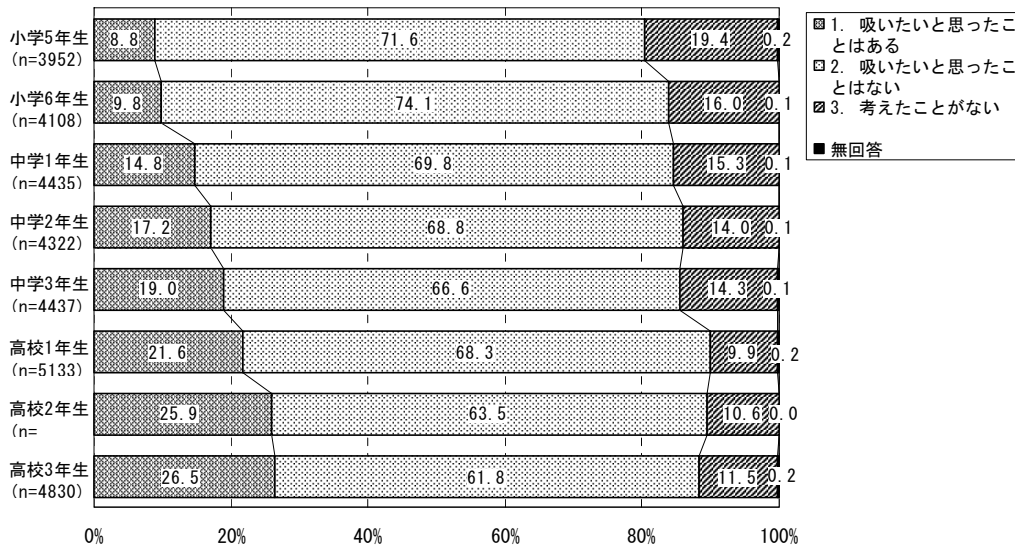


図1-2-6-(2) たばこを吸いたいと思ったことがあるか (女子)



(全員お答えください。)

【たばこについての質問】

質問7 たばこを吸うと健康に害があると思いますか。(1つに○)

- 1 害はほとんどない
- 2 多少はあるだろうが大したことはないと思う
- 3 大いに害がある
- 4 わからない

表1-2-7 たばこによる健康への影響

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 害はほとんどない (%)	1.2	0.7	0.8	0.4	0.9	0.9	1.1	0.6	1.3	0.5
2. 多少はあるだろうが大したことはないと思う (%)	11.2	10.6	9.9	9.2	8.2	8.2	8.7	8.2	9.9	7.1
3. 大いに害がある (%)	81.2	81.7	85.2	85.8	87.2	87.3	87.3	88.3	86.3	90.6
4. わからない (%)	6.1	6.9	3.9	4.3	3.6	3.4	2.8	2.8	2.4	1.8
無回答 (%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 害はほとんどない (%)	1.1	0.5	1.4	0.5	1.4	0.5
2. 多少はあるだろうが大したことはないと思う (%)	8.7	5.8	9.7	6.7	8.5	6.2
3. 大いに害がある (%)	88.5	92.6	86.7	91.6	87.7	92.0
4. わからない (%)	1.7	1.1	2.2	1.2	2.1	1.1
無回答 (%)	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	0.1
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「たばこを吸うと健康に害があると思いますか。」との設問では、「大いに害がある」と回答した比率は、いずれの学校種・学年でも男女とも最も高い(小5男子 81.2%・小5女子 81.7%、中2男子 87.3%・中2女子 88.3%、高2男子 86.7%・高2女子 91.6%)。

また、「多少はあるだろうが大したことはないと思う」と回答した比率は学年が進むとともに減少する傾向にある(小5男子 11.2%・小5女子 10.6%、中2男子 8.7%・中2女子 8.2%、高2男子 9.7%・高2女子 6.7%)。

図1-2-7-(1) たばこによる健康への影響 (男子)

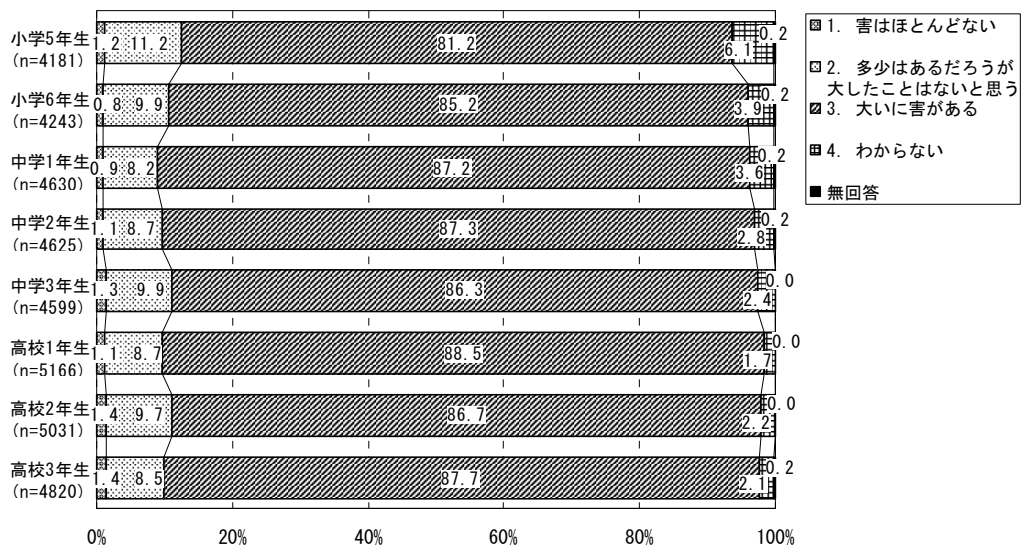
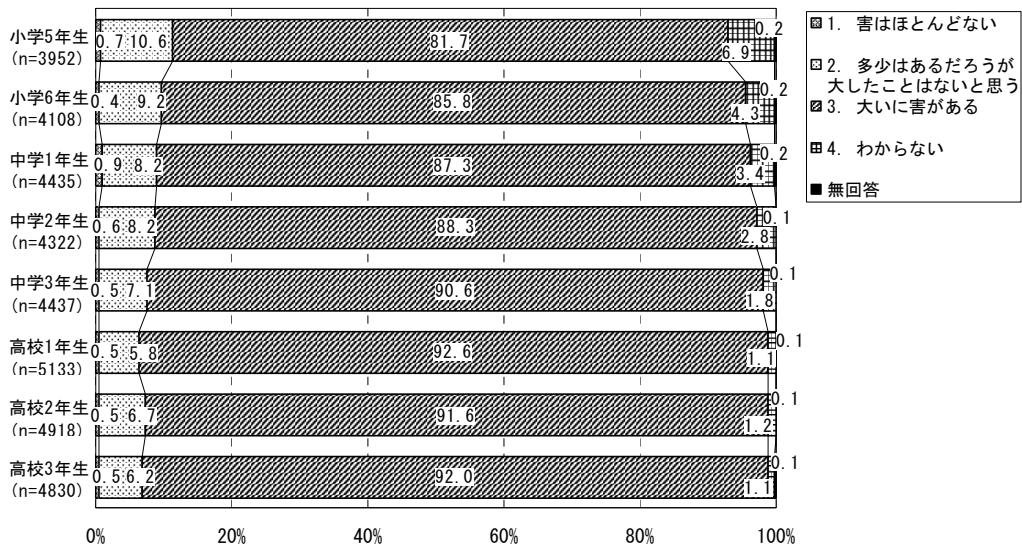


図1-2-7-(2) たばこによる健康への影響 (女子)



(全員お答えください。)

【たばこについての質問】

質問8 あなたはたばこを吸う人についてどのように思いますか。(1つに○)

- 1 かっこいい
- 2 かっこわるい
- 3 どちらとも思わない

表1-2-8 たばこを吸う人の印象

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. かっこいい (%)	9.1	4.5	9.1	5.0	10.6	8.0	9.4	7.2	9.4	6.9
2. かっこわるい (%)	27.8	30.2	24.6	29.3	22.1	27.2	18.5	23.4	18.0	22.6
3. どちらとも思わない (%)	62.9	65.1	66.1	65.5	67.0	64.6	72.0	69.2	72.4	70.4
無回答 (%)	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. かっこいい (%)	9.0	6.4	8.3	4.8	8.1	4.4
2. かっこわるい (%)	18.4	25.4	15.8	22.2	16.3	24.2
3. どちらとも思わない (%)	72.5	68.1	75.8	72.8	75.4	71.2
無回答 (%)	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「あなたはたばこを吸う人についてどのように思いますか。」との設問では、「かっこいい」と回答した比率は、男女とも小学生では低く、中学生では高まるが、高校生になると減少する(小5男子9.1%・小5女子4.5%、中2男子9.4%・中2女子7.2%、高2男子8.3%・高2女子4.8%)。

「かっこわるい」と回答したは男女とも概ね学年が上がるにつれて減少する傾向にある(かっこわるい：小5男子27.8%・小5女子30.2%、中2男子18.5%・中2女子23.4%、高2男子15.8%・高2女子22.2%)。

また、「どちらとも思わない」と回答した比率は学年が進むとともに増加する傾向にある(小5男子62.9%・小5女子65.1%、中2男子72.0%・中2女子69.2%、高2男子75.8%・高2女子72.8%)。

図1-2-8-(1) たばこを吸う人の印象 (男子)

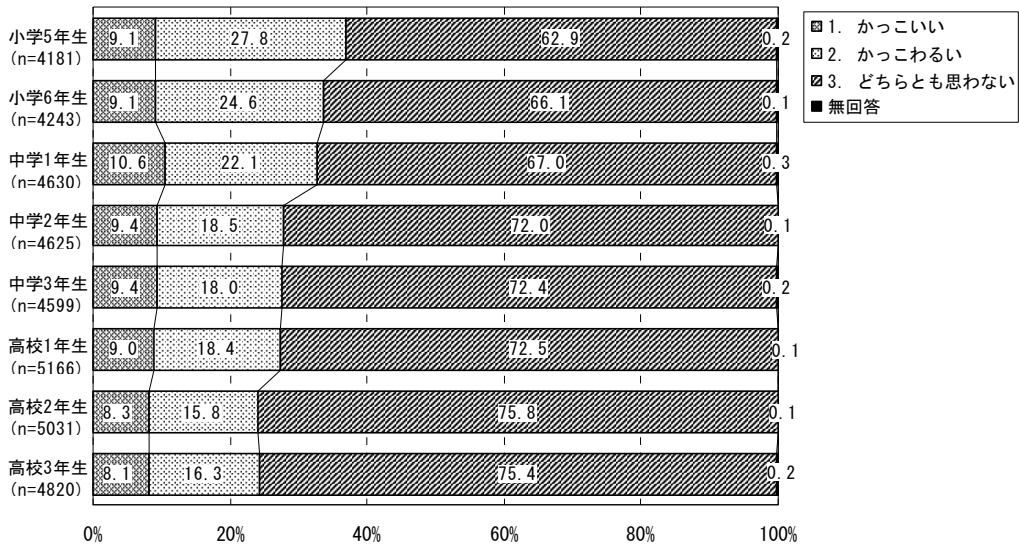
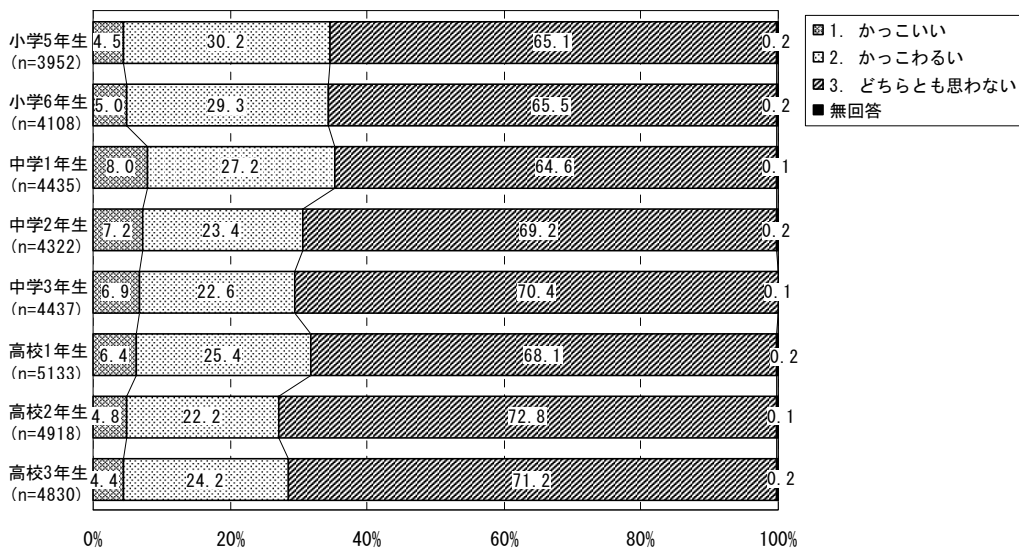


図1-2-8-(2) たばこを吸う人の印象 (女子)



(全員お答えください。)

【たばこについての質問】

質問9 あなたの家族でたばこを吸う人がいますか。(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

表1-2-9 たばこを吸う人が家族にいるか

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. はい (%)	65.5	65.4	65.6	65.2	66.0	67.0	66.2	67.1	67.7	66.4
2. いいえ (%)	33.0	32.8	32.9	33.4	32.2	31.6	32.2	31.9	31.2	32.4
3. わからない (%)	1.3	1.7	1.4	1.2	1.6	1.4	1.4	0.9	1.0	1.2
無回答 (%)	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. はい (%)	66.3	67.6	66.4	66.1	68.0	66.8
2. いいえ (%)	32.2	31.5	31.7	32.8	30.3	32.5
3. わからない (%)	1.4	0.9	1.8	1.0	1.6	0.6
無回答 (%)	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「あなたの家族でたばこを吸う人がいますか」との設問では、「はい」がいずれの学校種・学年においても男女ともに最も高くなっている(全ての学年で65~68%程度)。



図1-2-9-(1) たばこを吸う人が家族にいるか (男子)

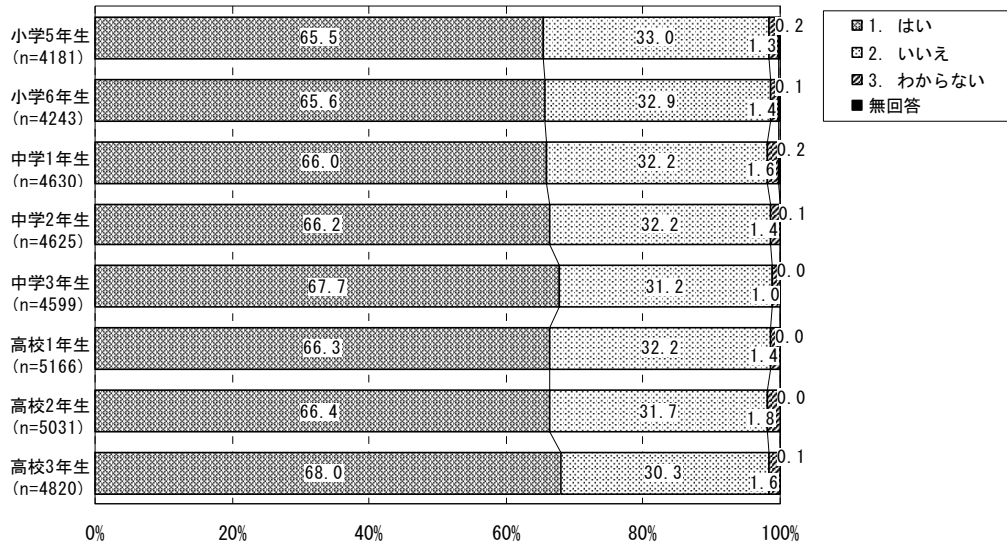
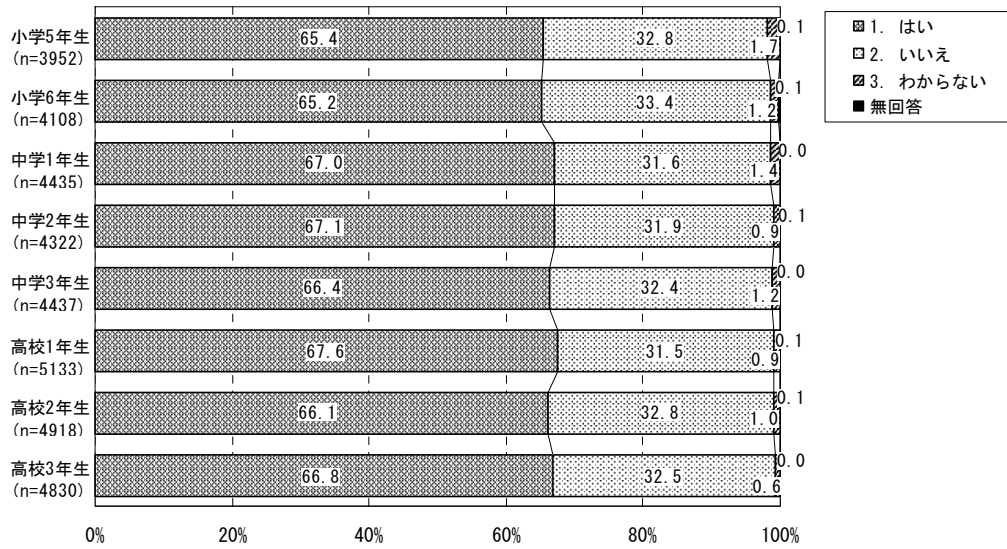


図1-2-9-(2) たばこを吸う人が家族にいるか (女子)



(全員お答えください。)

【たばこについての質問】

質問10 あなたが将来、20歳以上になったらたばこを吸うと思いますか。(1つに○)

- 1 吸うと思う
- 2 吸わないと思う
- 3 わからない

表1-2-10 将来たばこを吸うと思うか

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 吸うと思う (%)	16.5	6.9	15.5	7.1	16.8	8.8	20.9	10.1	21.7	10.1
2. 吸わないと思う (%)	58.6	73.9	60.1	75.9	58.5	73.3	58.2	72.7	57.2	74.6
3. わからない (%)	24.7	19.0	24.3	16.9	24.6	17.7	20.8	17.1	21.0	15.3
無回答 (%)	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 吸うと思う (%)	23.0	9.6	27.1	11.2	30.2	11.5
2. 吸わないと思う (%)	58.6	78.1	54.4	76.8	53.4	77.3
3. わからない (%)	18.4	12.2	18.5	11.9	16.2	11.0
無回答 (%)	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	0.1
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「あなたが将来、20歳以上になったらたばこを吸うと思いますか。」との設問では、「吸わないと思う」と回答した比率が、いずれの学校種・学年でも男女とも最も高い(小5男子58.6%・小5女子73.9%、中2男子58.2%・中2女子72.7%、高2男子54.4%・高2女子76.8%)。

男子では学年が進むにつれて「吸うと思う」と回答した比率が高まり、「吸わないと思う」と回答した比率が減少する。

図1-2-10-(1) 将来たばこを吸うと思うか (男子)

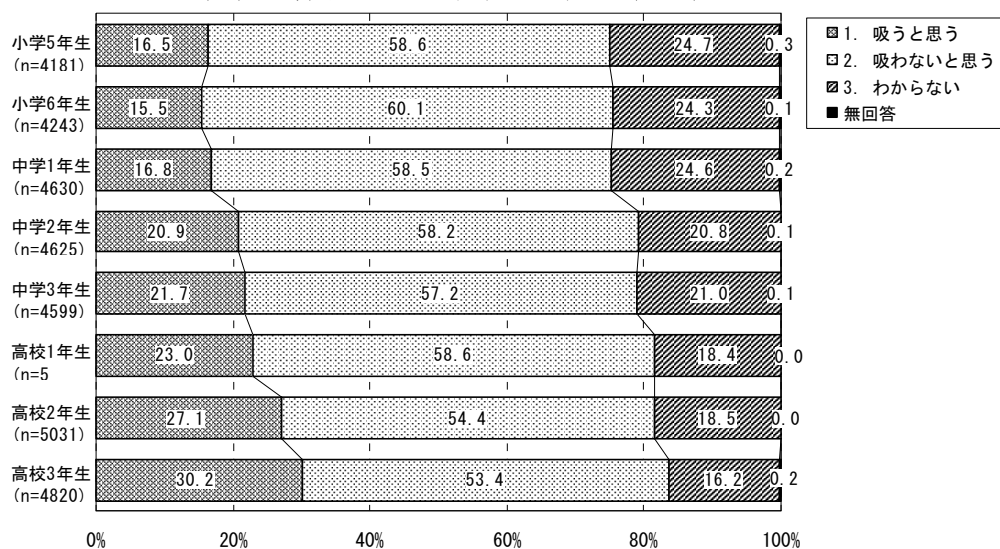
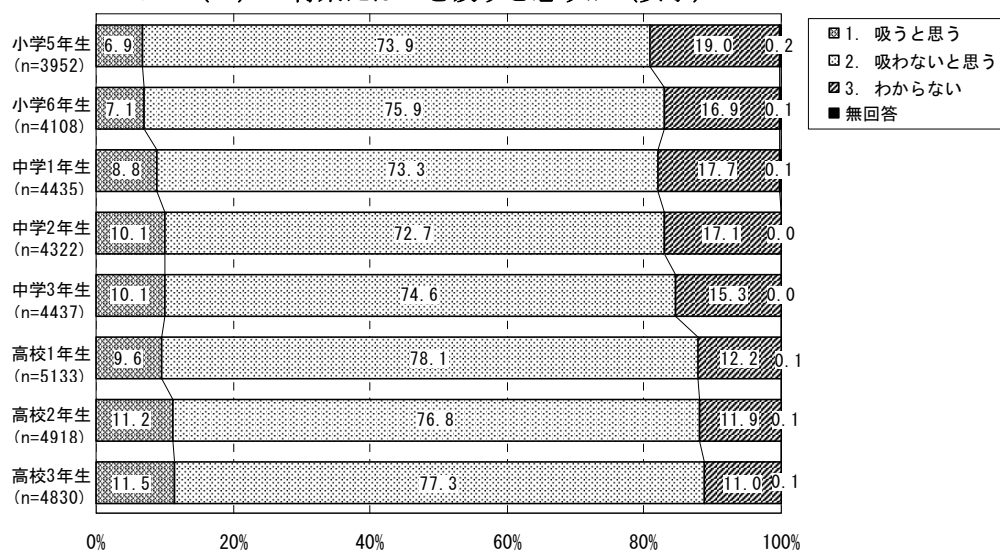


図1-2-10-(2) 将来たばこを吸うと思うか (女子)



(全員お答えください。)

【お酒、たばこ共通の質問項目】

質問 1 1 お酒やたばこの宣伝やコマーシャルをみてあなたはどのように思いますか。(いくつかでも○)

- 1 かっこいいと思う
- 2 かっこわるいと思う
- 3 体に悪いのにこうした宣伝をするのはおかしいと思う
- 4 特に何とも思わない

表 1-2-1 1 お酒・たばこのコマーシャルの印象 (複数回答)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. かっこいいと思う (%)	5.8	3.2	5.2	3.3	6.0	3.9	5.8	4.4	6.1	3.9
2. かっこわるいと思う (%)	12.9	13.4	8.5	8.1	5.0	3.6	2.8	2.2	2.0	1.7
3. 体に悪いのにこうした宣伝をするのはおかしいと思う (%)	40.6	44.3	31.0	34.7	23.2	25.1	18.3	20.2	15.7	18.5
4. 特に何とも思わない (%)	51.5	51.3	63.0	61.6	69.3	70.7	75.2	75.4	77.8	77.4
無回答者数	20	13	9	11	19	14	7	6	6	7
回答者数	4161	3939	4234	4097	4611	4421	4618	4316	4593	4430

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. かっこいいと思う (%)	6.7	3.8	6.6	3.4	8.0	4.2
2. かっこわるいと思う (%)	1.9	1.0	1.5	1.0	1.8	0.9
3. 体に悪いのにこうした宣伝をするのはおかしいと思う (%)	14.6	17.2	12.2	15.0	11.0	15.2
4. 特に何とも思わない (%)	78.0	78.9	80.8	81.3	79.8	80.4
無回答者数	12	9	16	9	16	7
回答者数	5154	5124	5015	4909	4804	4823

「お酒やたばこの宣伝やコマーシャルをみてあなたはどのように思いますか。」との設問では、「特に何とも思わない」と回答した比率が、いずれの学校種・学年でも男女とも最も高い(小5男子 51.5%・小5女子 51.3%、中2男子 75.2%・中2女子 75.4%、高2男子 80.8%・高2女子 81.3%)。

また否定的設問である「かっこわるいと思う」「体に悪いのにこうした宣伝をするのはおかしいと思う」と回答した比率は学年が進むとともに減少しているのに対して、「かっこいいと思う」と回答した比率は学年が進むとともに増加している(かっこわるいと思う：小5男子 12.9%・小5女子 13.4%、中2男子 2.8%・中2女子 2.2%、高2男子 1.5%・高2女子 1.0%) (体に悪いのにこうした宣伝をするのはおかしいと思う：小5男子 40.6%・小5女子 44.3%、中2男子 18.3%・中2女子 20.2%、高2男子 12.2%・高2女子 15.0%) (かっこいいと思う：小5男子 5.8%・小5女子 3.2%、中2男子 5.8%・中2女子 4.4%、高2男子 6.6%・高2女子 3.4%)。

図1-2-11-1 (1) お酒・たばこのコマーシャルの印象 (男子)

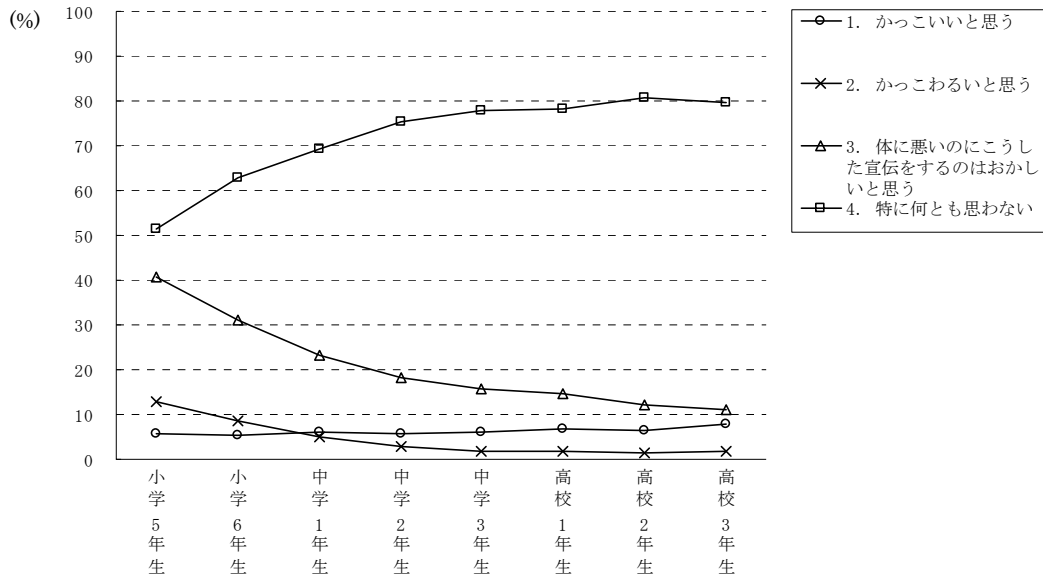
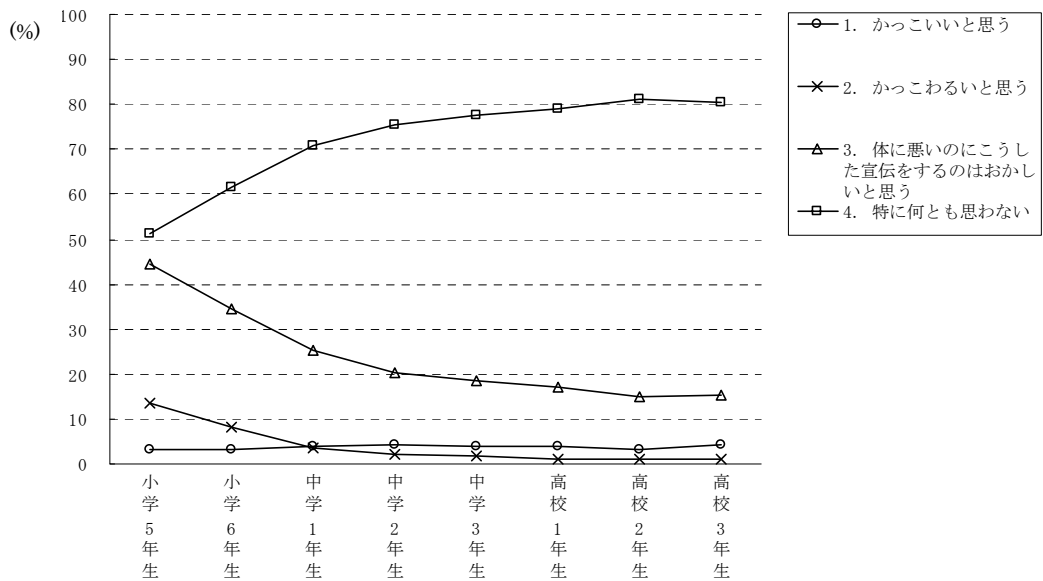


図1-2-11-1 (2) お酒・たばこのコマーシャルの印象 (女子)



(全員お答えください。)

【お酒、たばこ共通の質問事項】

質問 1 2 お酒やたばこの自動販売機についてどう思いますか。(いくつでも○)

- 1 未成年が買えないようにもっと時間や場所を限定した方がよい
- 2 未成年が買えないよう自動販売機はなくした方がよい
- 3 未成年が買えないように工夫した方がよい
- 4 今のままでよい
- 5 考えたことがない

表 1-2-1 2 お酒・たばこの自動販売機の印象 (複数回答)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 未成年者が買えないようにもっと時間や場所を限定した方がよい (%)	26.3	29.0	23.2	27.9	19.6	20.6	14.7	15.9	12.4	14.9
2. 未成年者が買えないよう自動販売機はなくした方がよい (%)	21.6	20.8	21.5	19.9	17.5	16.7	14.5	14.9	13.9	14.9
3. 未成年者が買えないように工夫した方がよい (%)	54.5	57.3	53.1	57.6	41.1	46.1	35.6	41.0	30.3	37.5
4. 今のままでよい (%)	14.0	10.2	15.4	10.7	20.6	16.9	27.3	21.2	31.2	23.6
5. 考えたことがない (%)	21.3	23.4	21.6	23.1	23.8	26.5	25.8	28.4	26.0	27.5
無回答者数	11	7	5	6	9	10	5	5	7	8
回答者数	4170	3945	4238	4102	4621	4425	4620	4317	4592	4429

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 未成年者が買えないようにもっと時間や場所を限定した方がよい (%)	8.5	11.5	6.4	8.6	6.8	9.4
2. 未成年者が買えないよう自動販売機はなくした方がよい (%)	13.1	14.5	10.0	11.9	9.6	12.6
3. 未成年者が買えないように工夫した方がよい (%)	22.6	31.0	17.9	24.2	16.9	26.0
4. 今のままでよい (%)	37.0	25.1	42.3	30.0	42.8	30.6
5. 考えたことがない (%)	27.5	30.3	29.3	33.3	29.1	30.4
無回答者数	9	7	11	9	11	6
回答者数	5157	5126	5020	4909	4809	4824

「お酒やたばこの自動販売機についてどう思いますか。」との設問では、「未成年が買えないように工夫した方がよい」と回答した比率は小学生では最も高いが、中学生、高校生では減少する傾向にある(小5男子 54.5%・小5女子 57.3%、中2男子 35.6%・中2女子 41.0%、高2男子 17.9%・高2女子 24.2%)。

「未成年が買えないようにもっと時間や場所を限定した方がよい」「未成年者が買えないように自動販売機はなくしたほうがよい」「未成年者が買えないように工夫した方がよい」といった自動販売機に対する否定的な選択肢に関しては、学年が進むにつれて減少する傾向がある。

一方で「今のままでよい」との回答は増加する傾向にある(小5男子 14.0%・女子 10.2%、中2男子 27.3%・女子 21.2%、高2男子 42.3%・女子 30.0%)。

図1-2-12-(1) お酒・たばこの自動販売機の印象 (男子)

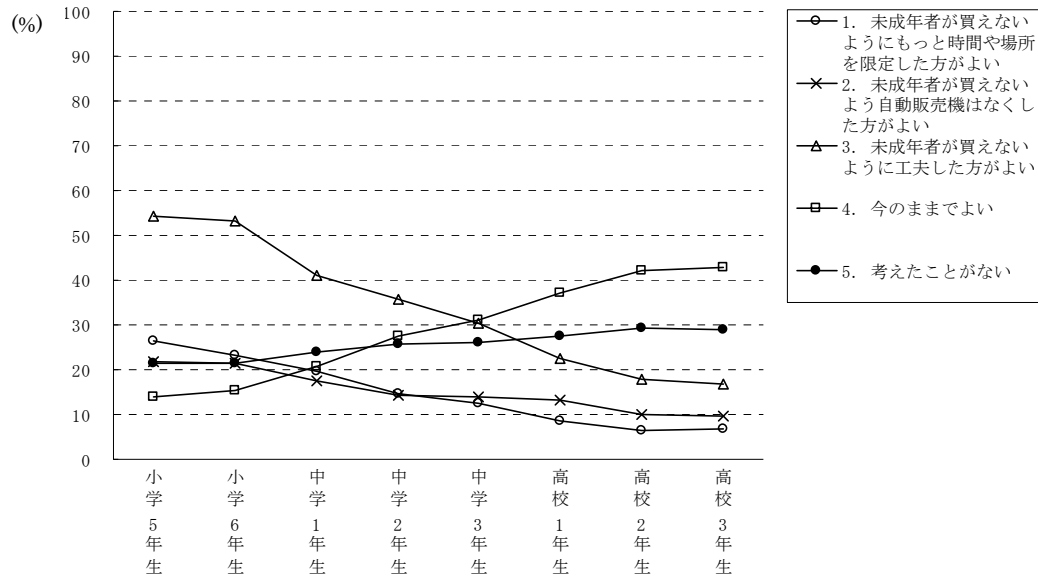
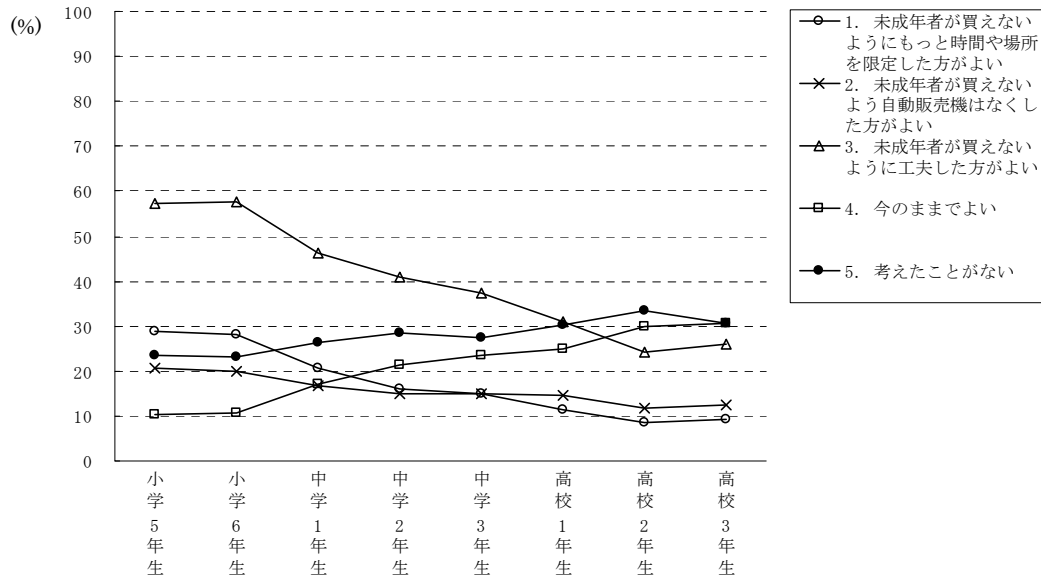


図1-2-12-(2) お酒・たばこの自動販売機の印象 (女子)



(全員お答えください。)

【お酒、たばこ共通の質問項目】

質問 1 3 未成年者の喫煙、飲酒がきっかけとなって薬物乱用につながる可能性がある  
と思いますか。(1つに○)

- 1 あると思う
- 2 ないと思う
- 3 わからない

表 1-2-1 3 喫煙・飲酒の薬物乱用への影響

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. あると思う (%)	59.1	57.4	59.1	59.9	55.2	54.8	50.9	52.5	50.3	54.1
2. ないと思う (%)	8.7	4.7	9.5	4.8	12.0	7.5	17.4	11.0	21.7	13.1
3. わからない (%)	32.0	37.6	31.2	35.1	32.6	37.6	31.7	36.4	27.9	32.7
無回答 (%)	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. あると思う (%)	43.4	49.5	39.0	42.6	36.8	43.5
2. ないと思う (%)	27.8	17.6	30.9	21.2	34.3	22.0
3. わからない (%)	28.7	32.9	30.0	36.1	28.7	34.4
無回答 (%)	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「未成年者の喫煙、飲酒がきっかけとなって薬物乱用につながる可能性があるか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても「あると思う」と回答した比率が最も高い(小学生、中学生においては、男女ともに半数以上が「あると思う」と回答)。

しかし「あると思う」と回答した比率は学年が進むにつれて減少し、「ないと思う」と回答した比率が増加する傾向にある。



図1-2-13-(1) 喫煙・飲酒の薬物乱用への影響 (男子)

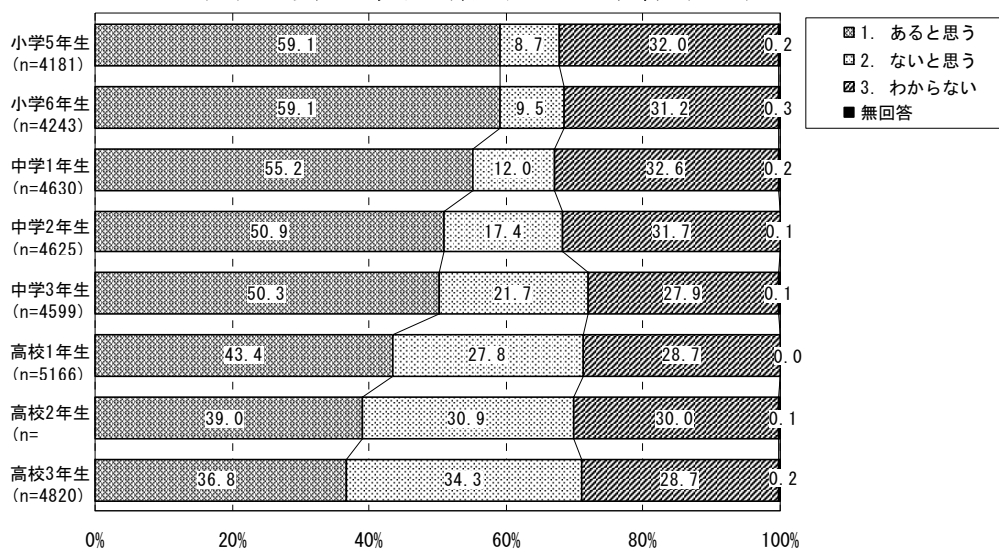
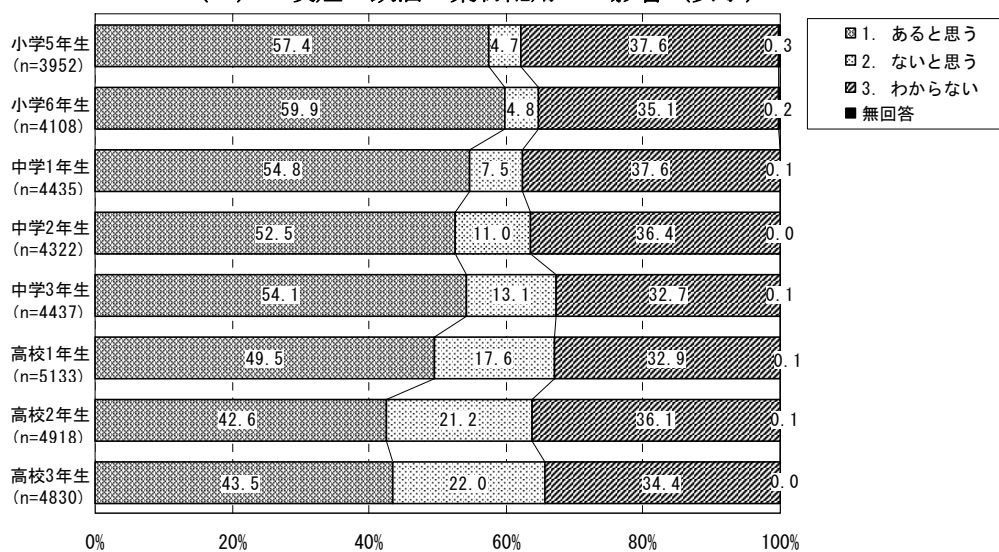


図1-2-13-(2) 喫煙・飲酒の薬物乱用への影響 (女子)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等薬物】

質問 1 4 あなたは、次の薬物の名前を知っていますか。(知っている名前がいくつかある場合は、そのすべての番号に○をつけてください。)

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1 有機溶剤 (シンナー、トルエンなど) | 2 覚せい剤 (スピード、エス) |
| 3 大麻 (マリファナ、ハッシッシュ)  | 4 麻薬             |
| 5 コカイン               | 6 あへん類 (ヘロイン等)   |
| 7 LSD                | 8 知っているものはない     |

表 1-2-1 4 知っている薬物の名前 (複数回答)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 有機溶剤 (シンナー、トルエンなど) (%)	61.6	60.6	79.2	79.3	84.1	82.8	86.9	88.9	90.2	89.8
2. 覚せい剤 (スピード、エス) (%)	28.5	25.6	35.4	36.4	78.7	83.3	85.2	91.5	90.7	94.5
3. 大麻 (マリファナ、ハッシッシュ) (%)	11.9	9.2	18.4	14.6	38.3	33.4	57.2	51.7	71.7	65.0
4. 麻薬 (%)	85.2	83.2	91.3	90.1	84.7	82.6	89.0	90.9	92.4	92.2
5. コカイン (%)	34.5	19.3	46.2	27.0	57.5	37.2	68.3	51.9	77.8	60.3
6. あへん類 (ヘロイン等) (%)	18.2	10.8	26.7	17.2	38.9	28.9	62.0	50.1	73.7	60.1
7. LSD (%)	11.2	10.7	10.3	10.9	10.9	7.3	15.7	11.6	24.0	15.0
8. 知っているものはない (%)	9.5	10.8	3.9	4.2	3.5	4.1	2.4	1.3	1.5	1.0
無回答者数	21	15	13	12	23	14	14	7	8	5
回答者数	4160	3937	4230	4096	4607	4421	4611	4315	4591	4432

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 有機溶剤 (シンナー、トルエンなど) (%)	93.5	93.2	94.4	93.8	93.8	93.9
2. 覚せい剤 (スピード、エス) (%)	95.5	97.2	95.4	97.6	95.3	97.2
3. 大麻 (マリファナ、ハッシッシュ) (%)	90.3	86.5	92.7	91.8	95.1	93.7
4. 麻薬 (%)	95.1	95.9	94.8	96.3	94.9	96.6
5. コカイン (%)	89.7	80.6	92.2	85.1	94.3	89.3
6. あへん類 (ヘロイン等) (%)	84.6	75.1	85.6	75.1	87.4	78.7
7. LSD (%)	37.6	26.9	44.4	29.7	52.6	33.6
8. 知っているものはない (%)	1.3	0.6	1.2	0.6	1.6	0.5
無回答者数	13	5	10	10	11	7
回答者数	5153	5128	5021	4908	4809	4823

「あなたは次の薬物の名前を知っていますか。」との設問では、いずれの薬物においても、男女ともに、学年があがるにつれて「知っている」と回答した比率が高まる傾向にある。

このうち「麻薬」についてはいずれの学校種・学年においても比率が高い。また「有機溶剤」「覚せい剤」についても同様に、いずれの学校種・学年においても比率が高い。ただ、小学生では「有機溶剤」「覚せい剤」の順に「知っている」と回答した比率が高くなっているが、中学生になると逆転し、以降高校3年生まで「覚せい剤」「有機溶剤」の順に比率が高くなっている (有機溶剤: 小5男子 61.1%・小5女子 60.6%、中2男子 86.9%・中2女子 88.9%、高2男子 94.4%・高2女子 93.8%) (覚せい剤: 小5男子 28.5%・小5女子 25.6%、中2男子 85.2%・中2女子 91.5%、高2男子 95.4%・高2女子 97.6%)。

「大麻」「コカイン」「あへん類」については、小学生では「知っている」と回答した比率が低い、学年が上がるにつれて比率が急激に上昇し、高校3年生で最も高くなっている。また「LSD」は他の薬物に比べるとやや低い比率となっている。

「大麻」「コカイン」「LSD」「あへん類」は、いずれの学校種・学年においても、女子よりも男子の方が「知っている」と回答した比率が高い。特に「LSD」は学年が上がるにつれて男女差が大きくなっている(LSD:小5男子 11.2%・小5女子 10.7%、中2男子 15.7%・中2女子 11.6%、高2男子 44.4%・高2女子 29.7%)。

平成9年調査と比較すると、「大麻」と回答した比率が減少している。

また「覚せい剤」において小学生の回答した比率が低くなっている。これについては平成12年調査において小学生の調査票において「スピード、エスなどの覚せい剤」との選択肢を設定したため、覚せい剤は知っていてもスピード、エスといった名前を知らない小学生が回答をしなかった可能性がある。

図1-2-14-(1) 知っている薬物の名前(男子)

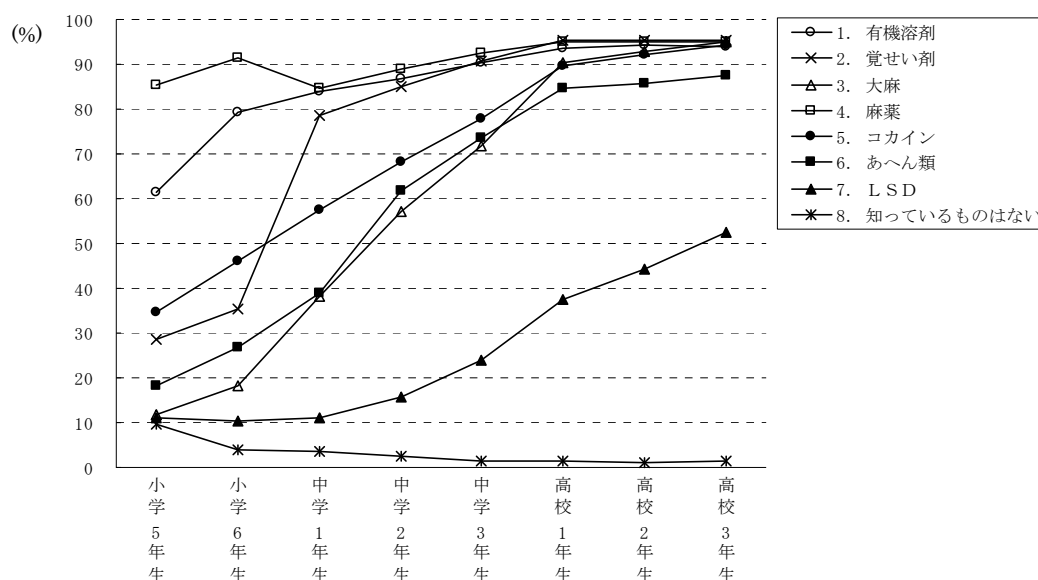
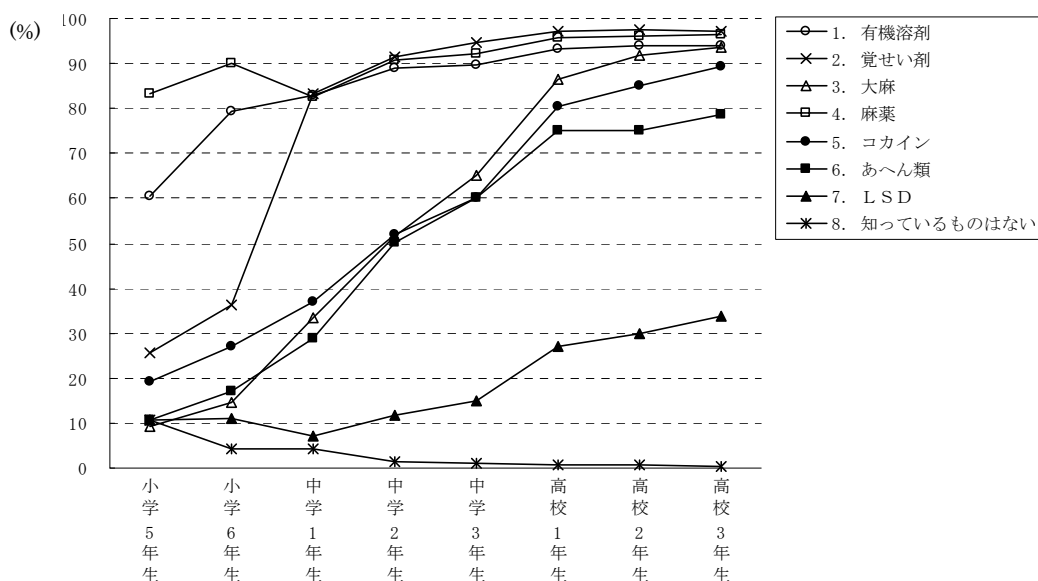
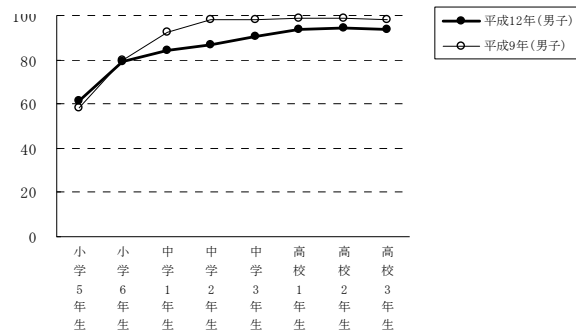


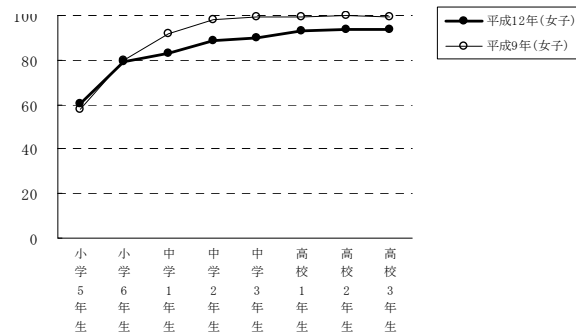
図1-2-14-(2) 知っている薬物の名前(女子)



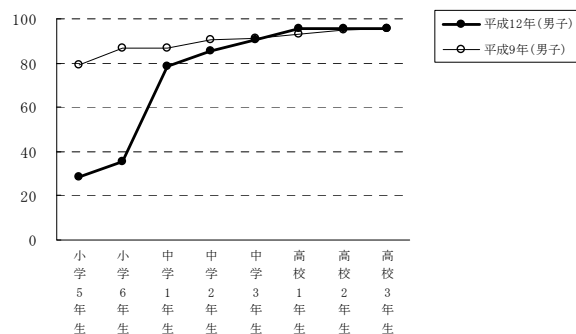
**男子**  
(%) **有機溶剤（シンナー、トルエンなど）**



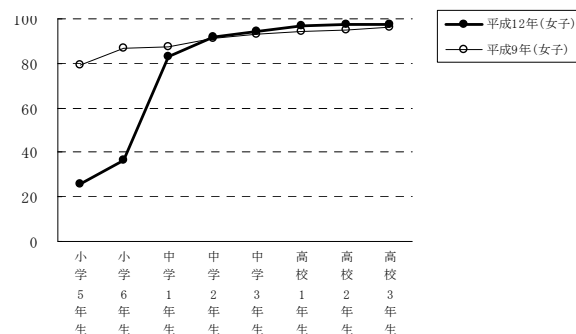
**女子**  
(%) **有機溶剤（シンナー、トルエンなど）**



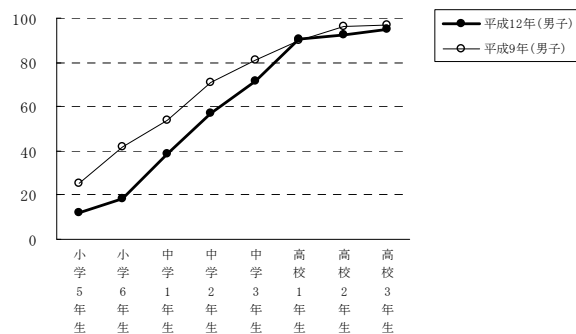
(%) **覚せい剤（スピード、エス）**



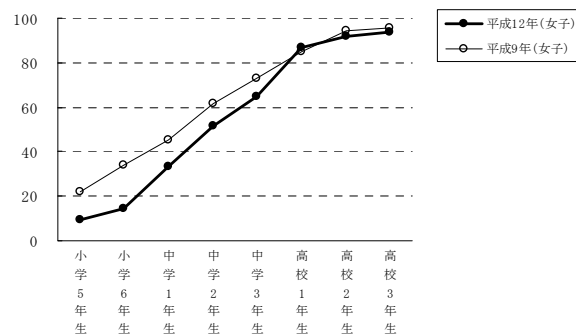
(%) **覚せい剤（スピード、エス）**



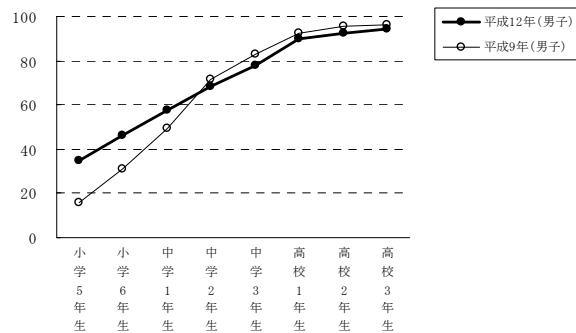
(%) **大麻（マリファナ、ハッシュシュ）**



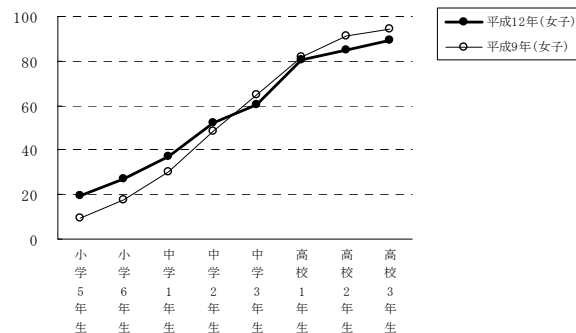
(%) **大麻（マリファナ、ハッシュシュ）**



(%) **コカイン**

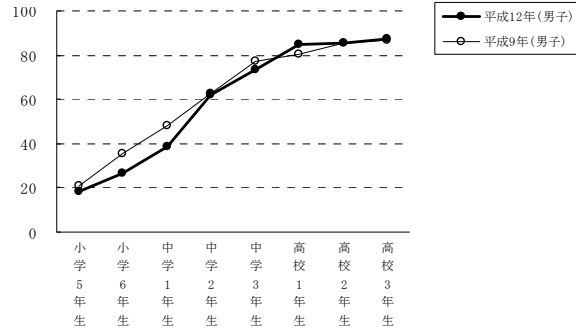


(%) **コカイン**



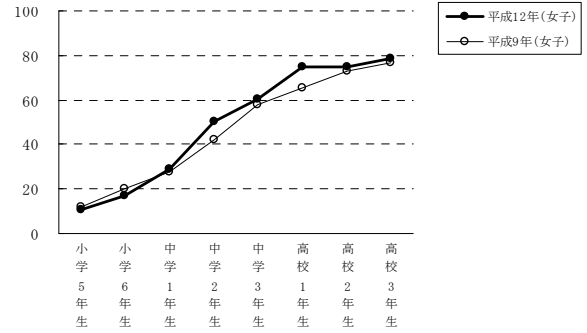
男子

(%) あへん類 (ヘロイン等)



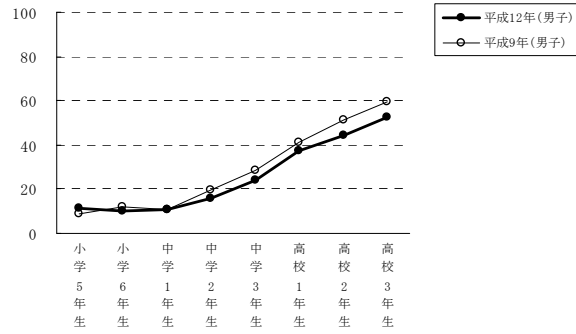
女子

(%)

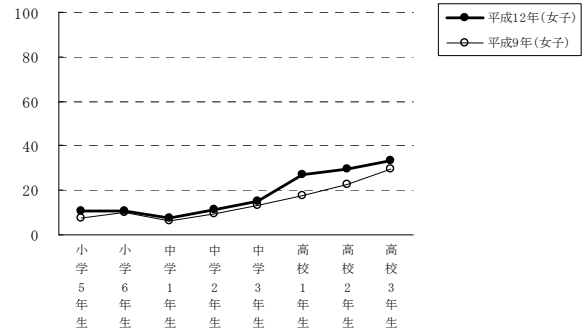


(%)

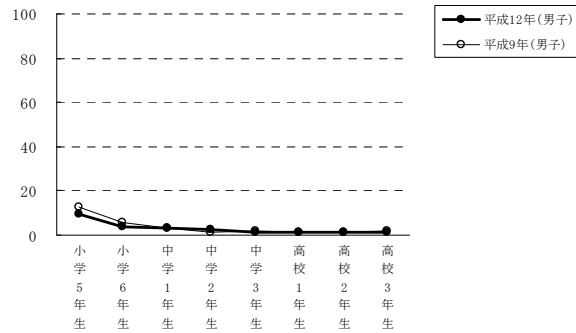
LSD



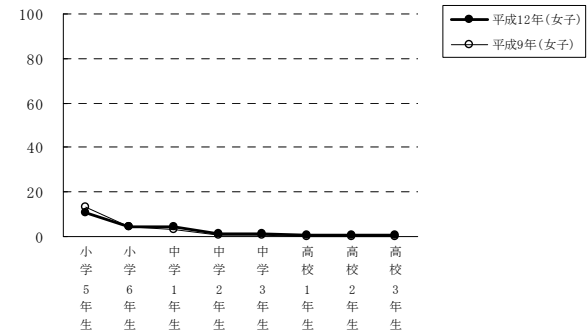
(%)



(%) 知っているものはない



(%)



(質問14で「1」から「7」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

【覚せい剤等薬物】

質問15 あなたは、そうした薬物の名前をどのようにして知りましたか。(知った方法がいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業   | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族      | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌    | 6 新聞          |
| 7 テレビ     | 8 ラジオ         |
| 9 インターネット | 10 CD-ROM     |
| 11 その他    |               |

表1-2-15 薬物を知った方法 (複数回答)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 学校の授業 (%)	19.8	19.4	29.1	29.2	39.0	42.7	55.1	58.8	60.7	65.5
2. 友達、仲間、先輩、後輩 (%)	10.2	9.6	12.5	12.2	17.4	18.8	19.3	19.7	21.8	20.8
3. 家族 (%)	23.1	25.2	20.6	22.1	17.1	18.4	15.2	16.3	11.9	13.1
4. ポスター、パンフレット (%)	12.1	12.7	14.8	18.7	22.8	28.8	29.1	34.6	31.5	36.5
5. 本、雑誌 (%)	25.6	27.0	27.9	32.0	32.6	35.6	35.0	39.4	37.6	38.6
6. 新聞 (%)	39.6	39.1	41.9	40.8	43.2	40.4	39.4	34.0	38.4	30.5
7. テレビ (%)	85.9	86.8	88.1	87.3	87.2	87.0	83.5	83.4	84.6	82.3
8. ラジオ (%)	10.8	10.3	9.7	7.8	8.5	7.3	8.2	5.1	7.8	5.3
9. インターネット (%)	3.4	1.8	2.2	1.5	3.7	2.3	3.5	1.8	3.5	1.3
10. CD-ROM (%)	0.7	0.6	0.4	0.2	0.8	0.4	0.8	0.4	1.2	0.4
11. その他 (%)	6.5	4.5	5.1	3.6	4.4	3.6	4.9	3.4	4.5	3.3
無回答者数	29	30	22	23	34	13	20	14	38	17
回答者数	3735	3483	4043	3899	4414	4227	4481	4243	4485	4369

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 学校の授業 (%)	83.6	89.3	80.7	88.0	73.9	82.1
2. 友達、仲間、先輩、後輩 (%)	24.0	18.5	26.7	19.0	29.7	18.8
3. 家族 (%)	8.0	8.2	8.3	7.5	8.5	7.9
4. ポスター、パンフレット (%)	32.3	34.7	32.9	35.4	32.6	37.5
5. 本、雑誌 (%)	37.0	32.4	41.7	34.7	47.6	37.9
6. 新聞 (%)	32.8	25.0	33.8	26.0	38.1	31.8
7. テレビ (%)	76.7	72.9	78.2	75.8	80.8	79.6
8. ラジオ (%)	6.1	3.6	6.4	3.7	7.3	4.3
9. インターネット (%)	2.8	1.3	3.4	1.0	3.9	1.0
10. CD-ROM (%)	0.9	0.3	1.3	0.3	1.0	0.3
11. その他 (%)	4.4	2.8	4.6	2.8	5.3	2.7
無回答者数	21	14	26	12	34	8
回答者数	5065	5085	4935	4869	4699	4791

「あなたは薬物の名前をどのようにして知りましたか。」との設問では、小学校、中学校では男女ともに「テレビ」と回答した比率が最も高い(全ての学校種・学年において70%以上)。

「学校の授業」と回答した比率は、小学校では低いが学年が上がるにつれて高まり、高校1年生でピークに達し、高校3年生ではやや低くなっている(小5男子19.8%・小5女子19.4%、中2男子55.1%・中2女子58.8%、高2男子80.7%・高2女子88.0%)。

「家族」と回答した比率は、学年が上がるにつれて低くなっている(小5男子23.1%・小

5 女子 25.2%、中 2 男子 15.2%・中 2 女子 16.3%、高 2 男子 8.3%・高 2 女子 7.5%)。

「本・雑誌」と回答した比率は、小学生、中学生では女子の方が高いが、高校生では男子の方が高い(小 5 男子 25.6%・小 5 女子 27.0%、中 2 男子 35.0%・中 2 女子 39.4%、高 2 男子 41.7%・高 2 女子 34.7%)。

平成 9 年調査と比較すると、「学校の授業」「ポスター、パンフレット」と回答した比率が増加しているが、「家族」「新聞」「テレビ」と回答した比率が減少している。

図 1-2-15-(1) 薬物を知った方法 (男子)

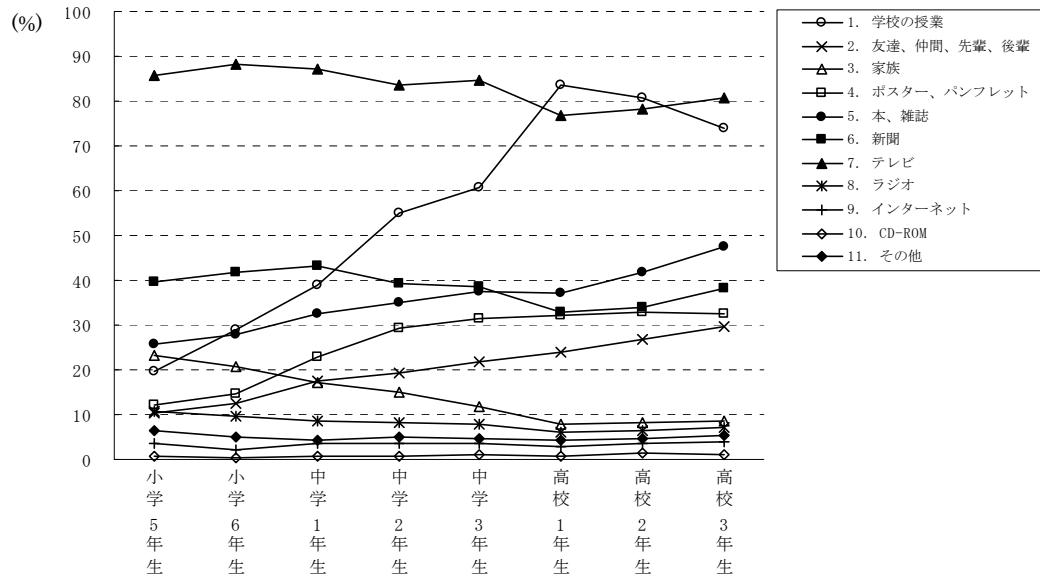
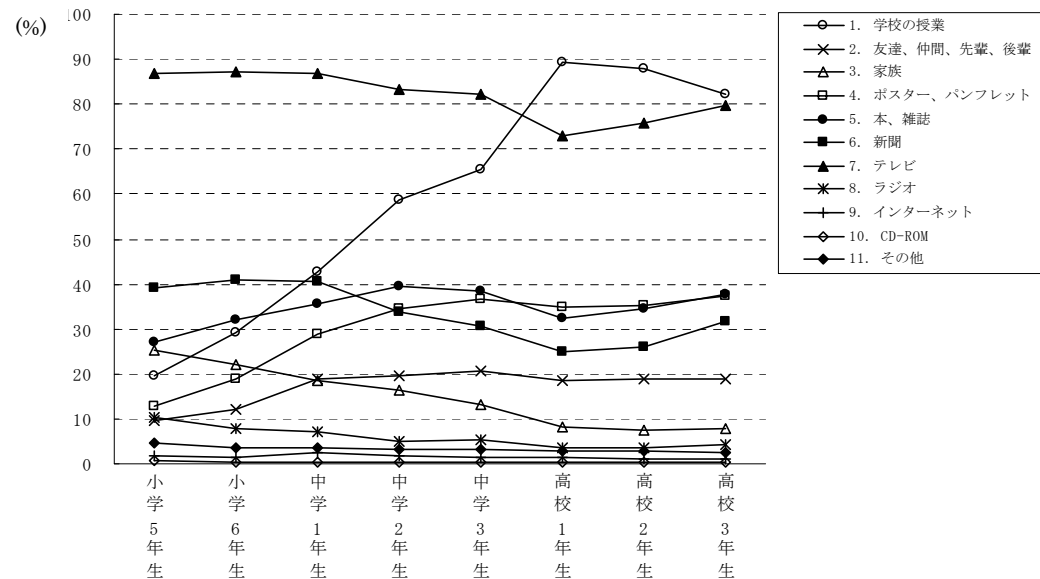
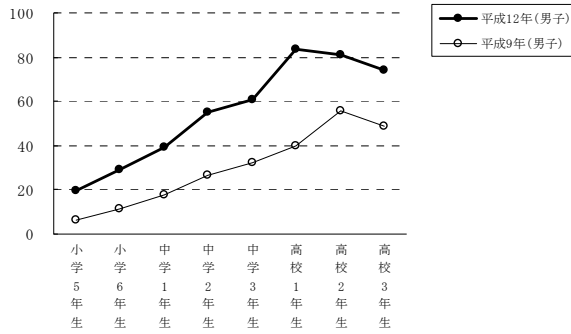


図 1-2-15-(2) 薬物を知った方法 (女子)



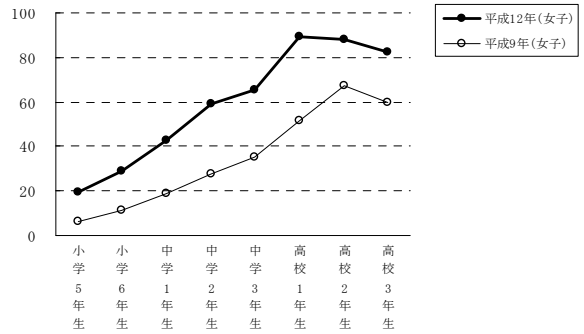
### 男子

#### (%) 学校の授業

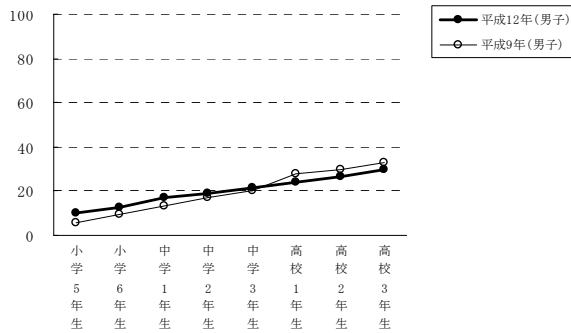


### 女子

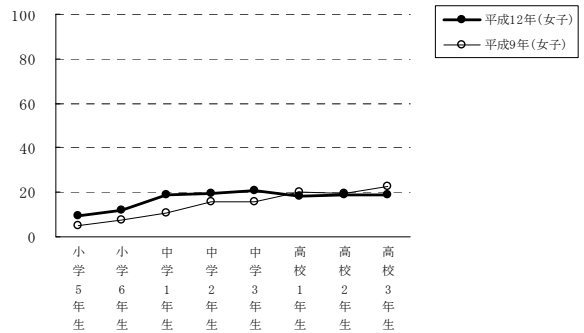
(%)



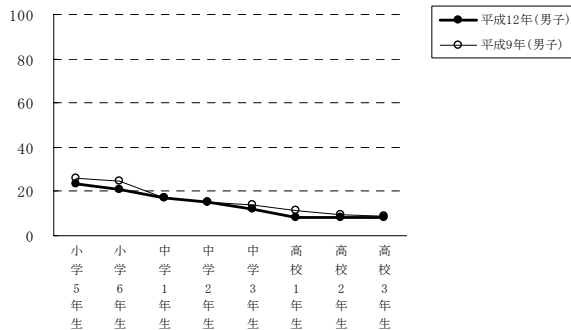
#### (%) 友達、仲間、先輩、後輩



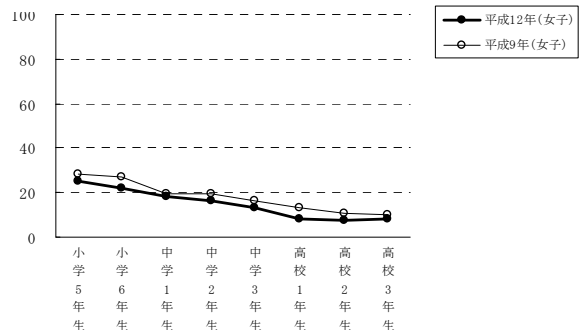
(%)



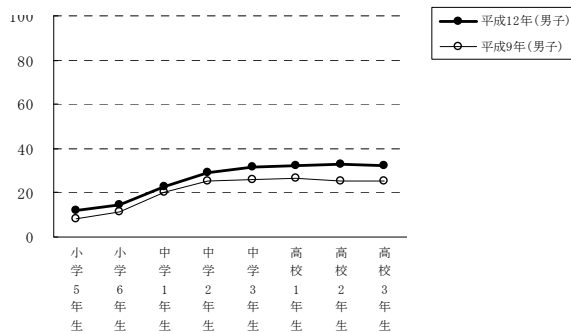
#### (%) 家族



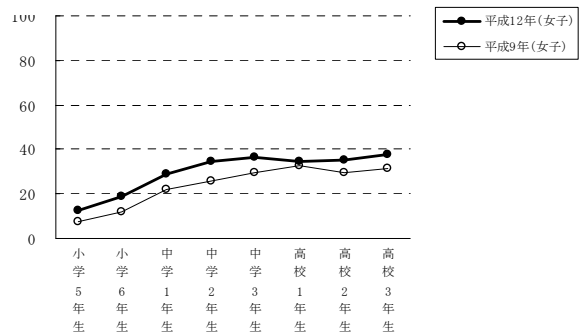
(%)



#### (%) ポスター、パンフレット



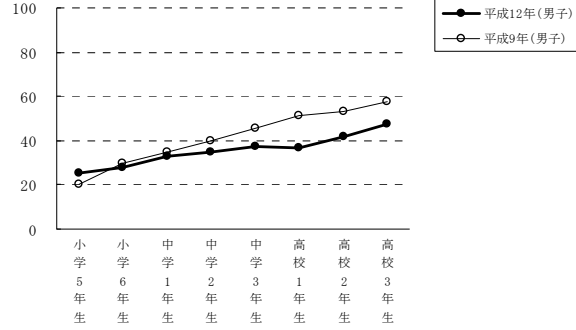
(%)





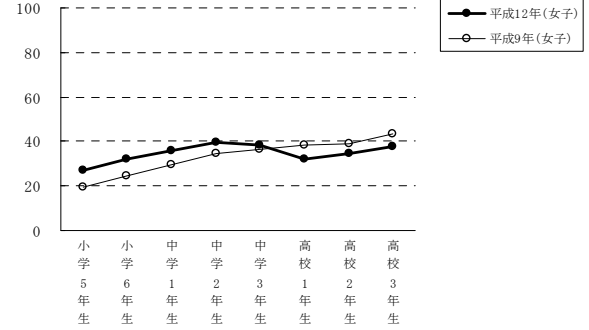
### 男子

#### (%) 本、雑誌

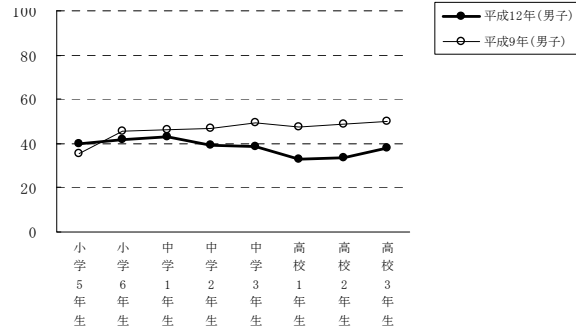


### 女子

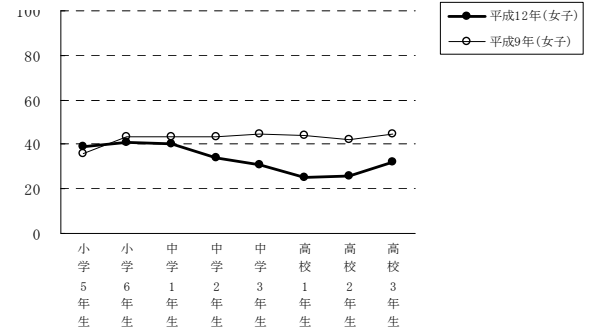
#### (%)



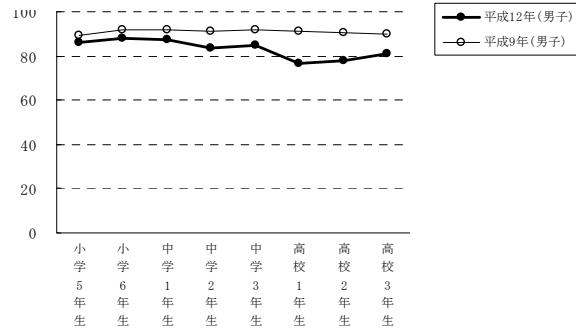
#### (%) 新聞



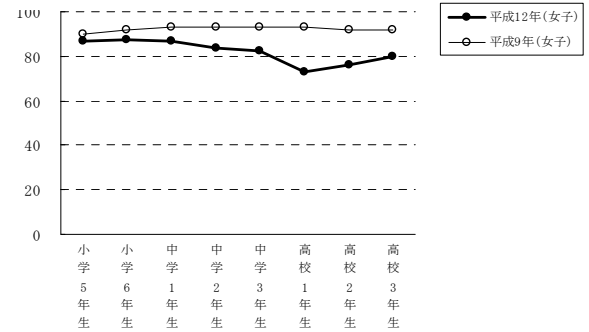
#### (%)



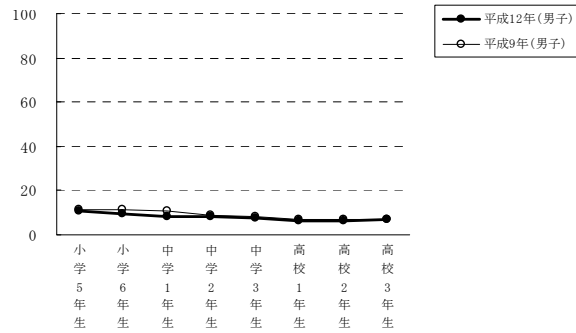
#### (%) テレビ



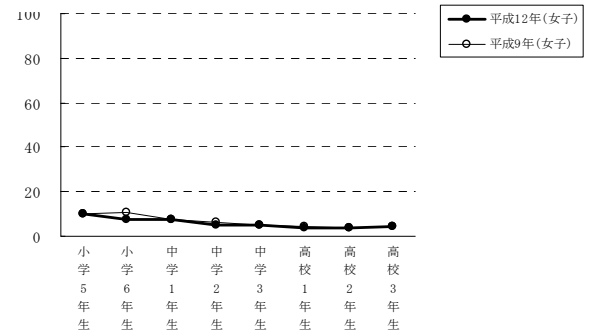
#### (%)



#### (%) ラジオ

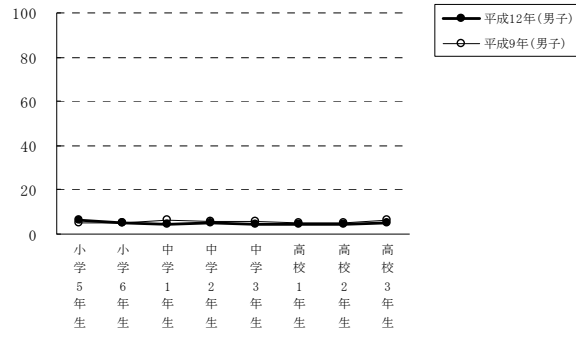


#### (%)

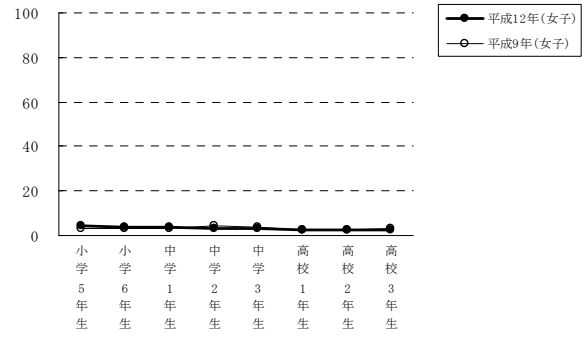


### 男子

(%) その他



### 女子



(全員お答えください。)

【覚せい剤等薬物】

質問 16 あなたは、覚せい剤などの薬物についてどのような印象を持っていますか。  
(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- 1 かっこいい
- 2 気持ち良くなれる気がする
- 3 ダイエットに効果がある
- 4 眠気覚ましに効果がある
- 5 1回使うくらいであれば、心や体への害はない
- 6 心や体に害がある
- 7 犯罪に巻き込まれる
- 8 使ったり、持っていたりするの悪いことだ
- 9 1回でも使うと止められなくなる
- 10 特にない

表 1-2-16 薬物への印象 (複数回答)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. かっこいい (%)	0.7	0.3	0.7	0.4	1.1	0.8	1.1	0.9	1.3	0.8
2. 気持ち良くなれる気がする (%)	4.9	3.8	6.3	5.6	8.5	10.2	10.3	12.1	11.7	12.3
3. ダイエットに効果がある (%)	1.6	2.3	1.7	2.5	1.7	5.5	2.1	7.3	2.8	8.1
4. 眠気覚ましに効果がある (%)	2.1	1.4	1.7	1.4	2.1	2.8	1.7	3.5	2.1	3.1
5. 1回使うくらいであれば、心や体への害はない (%)	2.0	1.4	1.8	1.5	1.8	2.8	2.5	2.6	2.3	2.6
6. 心や体に害がある (%)	68.5	74.9	73.3	81.5	68.6	76.7	68.4	78.9	71.0	78.6
7. 犯罪に巻き込まれる (%)	61.9	63.3	65.0	67.2	57.8	61.2	59.3	63.1	59.0	60.8
8. 使ったり、持っていたりするの悪いことだ (%)	74.6	80.5	78.3	83.7	68.5	75.0	65.9	72.6	65.3	71.9
9. 1回でも使うと止められなくなる (%)	49.4	51.8	61.9	64.2	68.5	75.9	72.7	81.7	74.6	83.1
10. 特にない (%)	10.7	7.7	7.3	4.1	8.9	4.8	9.4	4.1	8.4	4.0
無回答者数	15	15	13	11	37	8	23	9	12	6
回答者数	4166	3937	4230	4097	4593	4427	4602	4313	4587	4431

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. かっこいい (%)	1.0	0.6	1.3	0.6	1.3	0.6
2. 気持ち良くなれる気がする (%)	13.6	12.0	14.9	12.0	17.0	12.2
3. ダイエットに効果がある (%)	2.4	7.5	2.2	7.6	2.6	8.5
4. 眠気覚ましに効果がある (%)	2.2	3.0	2.3	2.0	3.0	2.7
5. 1回使うくらいであれば、心や体への害はない (%)	2.3	1.8	2.6	2.0	3.0	1.7
6. 心や体に害がある (%)	71.2	79.1	70.1	78.8	67.8	80.4
7. 犯罪に巻き込まれる (%)	58.6	60.7	57.1	58.3	57.2	61.4
8. 使ったり、持っていたりするの悪いことだ (%)	59.9	69.4	57.2	67.9	55.6	70.7
9. 1回でも使うと止められなくなる (%)	75.8	84.4	75.0	84.1	73.1	84.7
10. 特にない (%)	8.4	3.7	8.0	4.1	9.4	3.1
無回答者数	7	11	13	9	22	5
回答者数	5159	5122	5018	4909	4798	4825

「あなたは薬物についてどのような印象を持っていますか。」との設問では、男女ともに、いずれの学年においても、薬物に対する否定的な印象である選択肢6～9(「6. 心や体に害がある」「7. 犯罪に巻き込まれる」「8. 使ったり、持っていたりするの悪いことだ」「9. 1回でも使うと止められなくなる」)へ回答した比率が高い。特に「1回でも使うと止められなくなる」と回答した比率は学年が上がるにつれて高まる傾向にあり、中学2年生から高校3年生においては、男女とも比率が最も高くなっている(小5男子49.4%・小5女子51.8%、中2男子72.7%・中2女子81.7%、高2男子75.0%・高2女子84.1%)。

一方、薬物に対して肯定的な印象の選択肢1～5(「1. カッコいい」「2. 気持ちよくなれる気がする」「3. ダイエットに効果がある」「4. 眠気覚ましに効果がある」「5. 1回使うくらいであれば、心や体への害はない」)へ回答した比率は、比率そのものは低いが、男女ともに、学年が上がるにつれてやや高まる傾向にある。「カッコいい」と回答した比率は、いずれの学年においても女子より男子の方が高く、「ダイエットに効果がある」と回答した比率は、男子より女子の方が高い。

平成9年調査と比較すると、薬物に対して否定的な印象の選択肢である「心や体に害がある」「犯罪に巻き込まれる」「1回でも使うと止められなくなる」へ回答した比率は増加している。一方、薬物に対して肯定的な印象の選択肢である「気持ちよくなれるような気がする」「眠気覚ましに効果がある」へ回答した比率は減少している。

図1-2-16-(1) 薬物への印象 (男子)

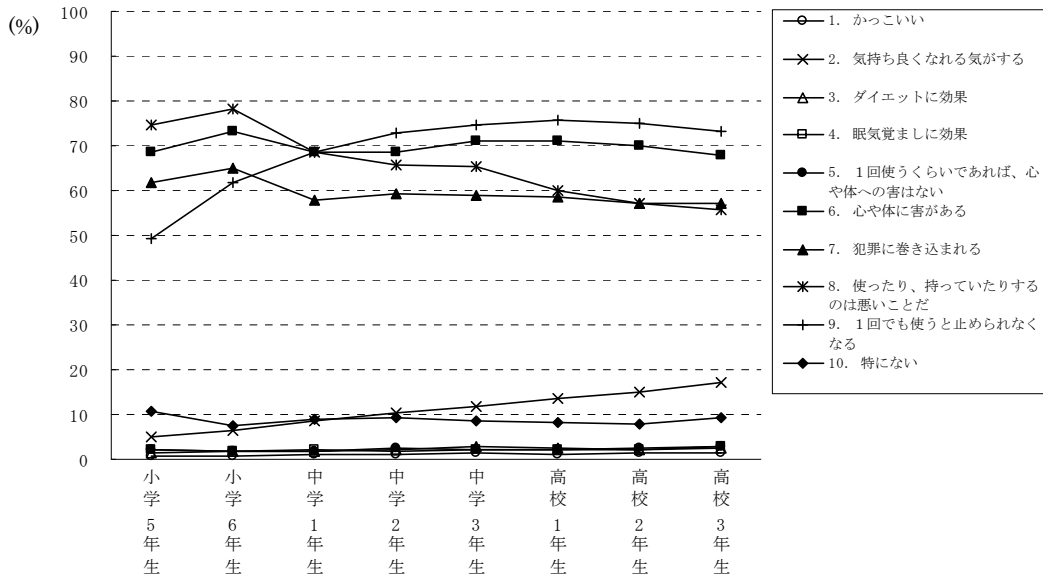
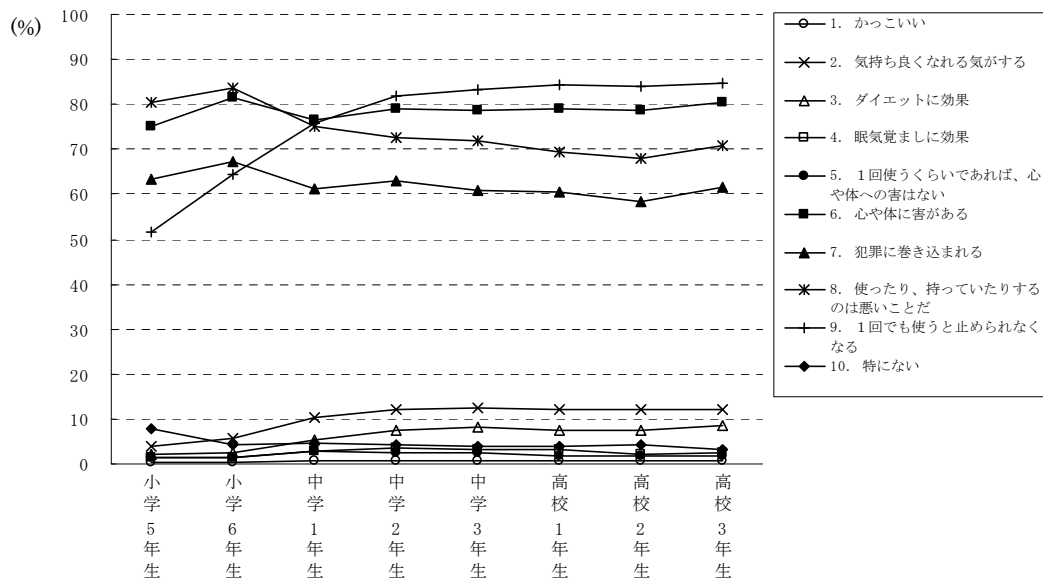
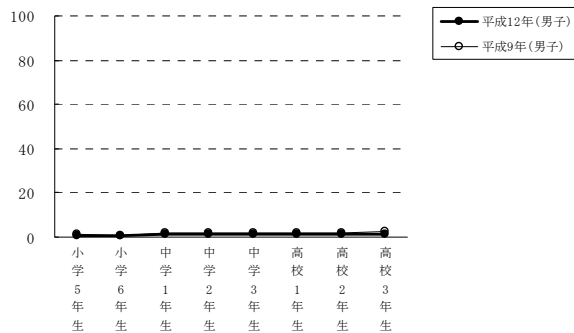


図1-2-16-(2) 薬物への印象 (女子)



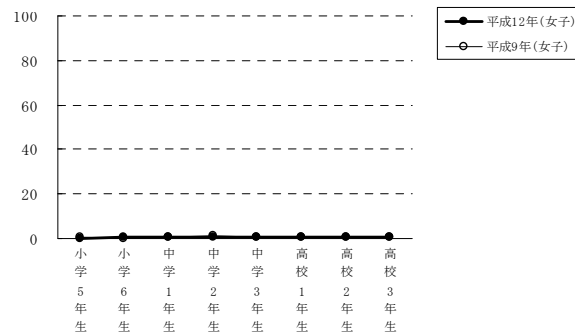
### 男子

(%) **かっこいい**

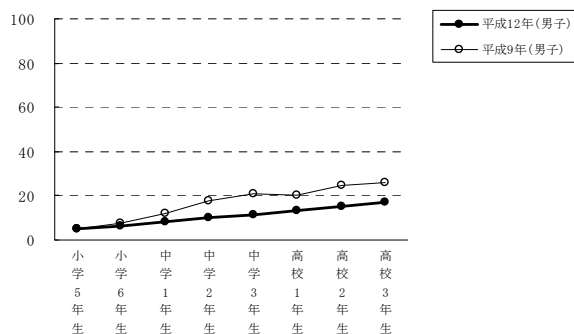


### 女子

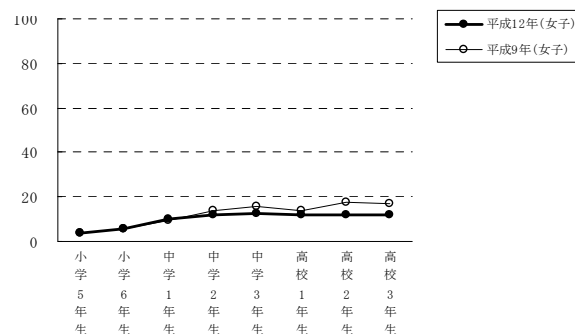
(%)



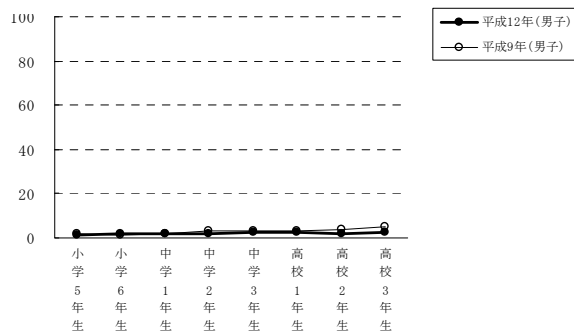
(%) **気持ちよくなれる気がする**



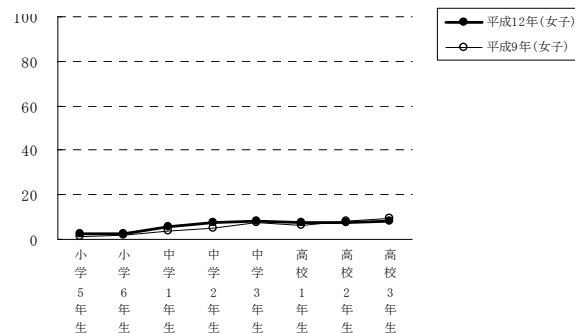
(%)



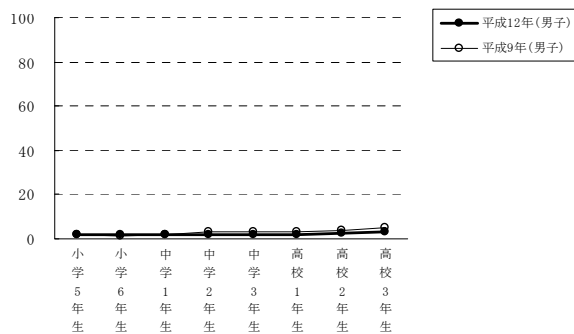
(%) **ダイエットに効果がある**



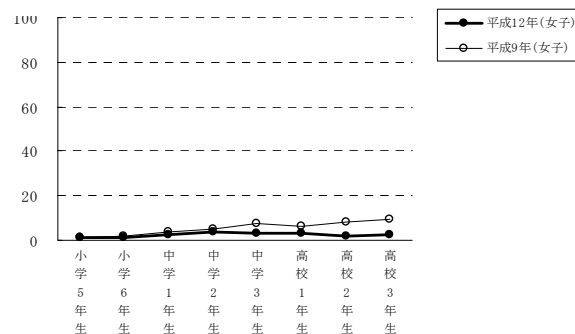
(%)



(%) **眠気覚ましに効果がある**



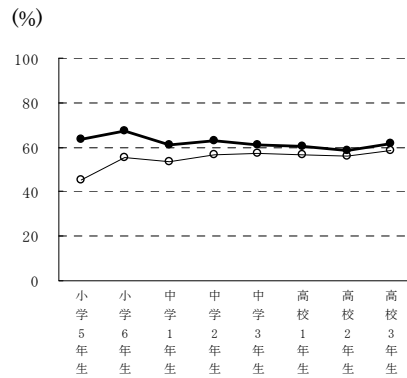
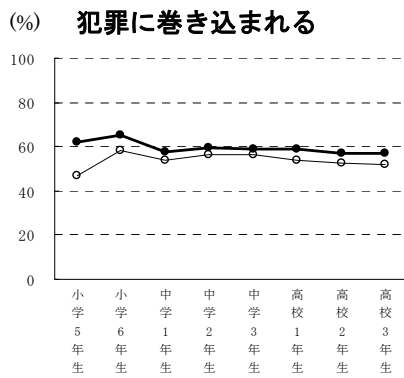
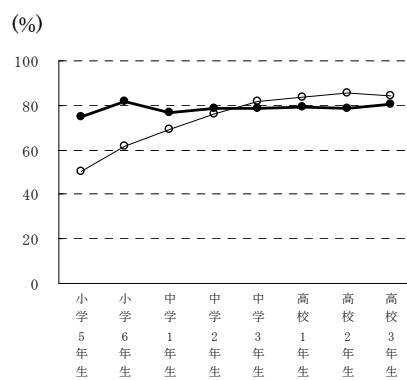
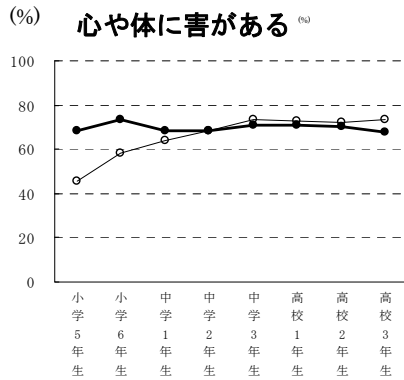
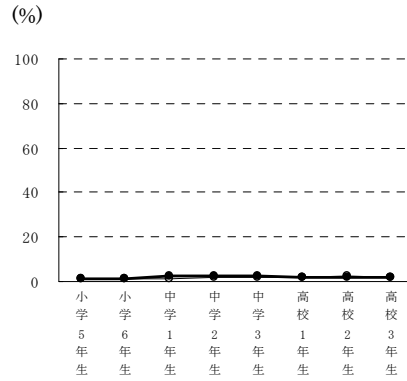
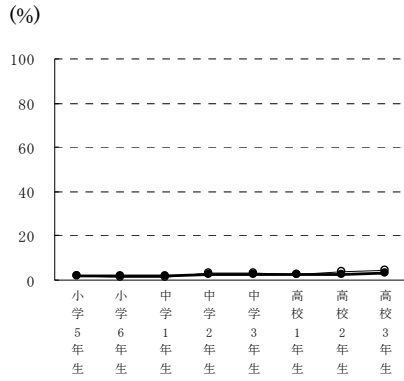
(%)



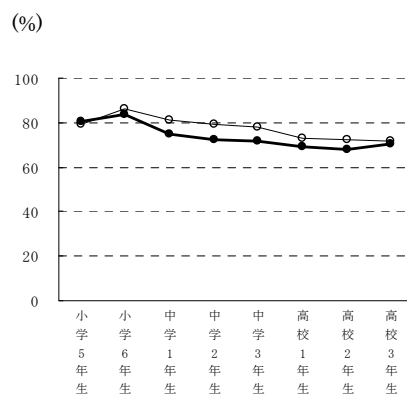
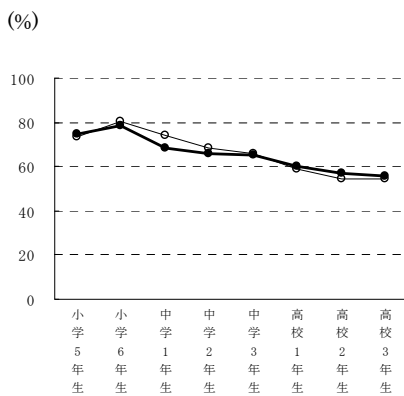
男子

女子

1回使うくらいであれば、心や体への害はない

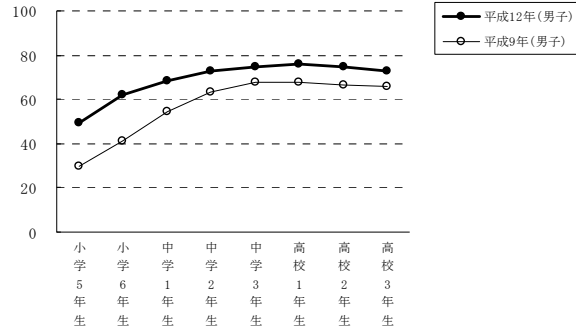


使ったり、持っていたりするの悪いことだ



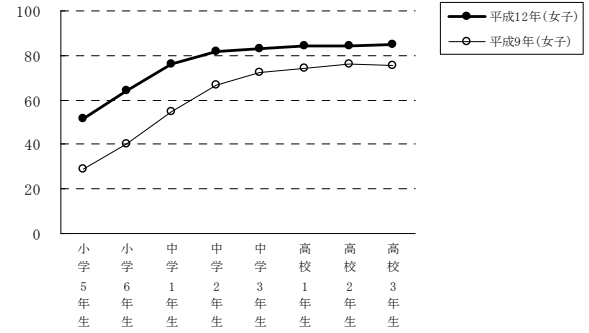
### 男子

(%) 1回でも使うと止められなくなる

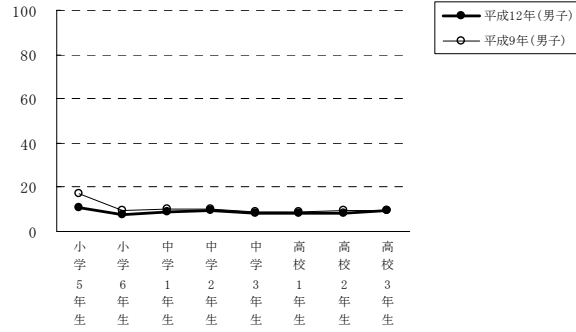


### 女子

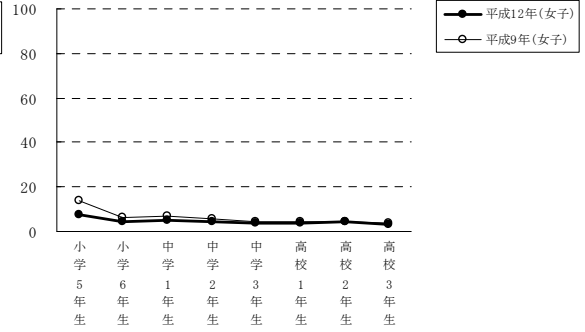
(%)



(%) 特にない



(%)





(質問16で「1」から「9」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問17 あなたは、そうした薬物についての印象をどこから得ましたか。(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業   | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族      | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌    | 6 新聞          |
| 7 テレビ     | 8 ラジオ         |
| 9 インターネット | 10 CD-ROM     |
| 11 その他    |               |

表1-2-17 薬物に対する印象を得た方法 (複数回答)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 学校の授業 (%)	19.1	18.1	29.8	30.6	41.7	44.1	57.5	60.1	63.1	67.8
2. 友達、仲間、先輩、後輩 (%)	7.5	7.0	8.9	9.0	12.5	13.2	13.6	14.6	16.0	14.9
3. 家族 (%)	27.2	30.9	26.9	28.7	22.4	24.4	20.1	21.2	15.4	16.5
4. ポスター、パンフレット (%)	10.2	11.8	14.9	16.8	21.6	25.5	28.1	30.9	29.6	32.6
5. 本、雑誌 (%)	20.8	22.9	24.1	28.6	27.5	31.6	32.4	35.4	33.2	35.2
6. 新聞 (%)	34.9	33.9	37.4	35.1	38.3	32.0	34.1	27.5	34.1	26.5
7. テレビ (%)	82.1	83.1	85.4	84.2	85.3	83.8	82.1	80.3	82.6	80.2
8. ラジオ (%)	10.1	8.5	8.2	6.7	7.8	5.9	7.4	4.8	7.4	4.7
9. インターネット (%)	2.5	1.8	1.9	1.2	2.9	2.0	3.0	1.2	2.5	0.9
10. CD-ROM (%)	0.5	0.4	0.3	0.2	0.7	0.2	0.7	0.2	0.9	0.2
11. その他 (%)	8.5	6.1	6.8	5.4	5.6	4.0	5.7	3.8	5.9	3.8
無回答者数	47	35	46	20	28	16	17	12	12	11
回答者数	3675	3597	3874	3908	4156	4200	4152	4123	4189	4242

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 学校の授業 (%)	84.4	90.0	80.5	87.2	74.2	82.0
2. 友達、仲間、先輩、後輩 (%)	17.1	13.7	20.3	15.6	22.9	15.3
3. 家族 (%)	10.9	11.2	11.0	10.7	12.8	11.1
4. ポスター、パンフレット (%)	30.3	32.6	29.6	32.6	30.7	33.4
5. 本、雑誌 (%)	32.3	29.8	36.7	31.5	43.2	34.9
6. 新聞 (%)	28.5	21.1	29.2	21.4	32.4	26.3
7. テレビ (%)	75.1	73.1	77.4	76.4	80.9	79.7
8. ラジオ (%)	5.9	3.6	6.2	3.2	7.3	4.2
9. インターネット (%)	2.1	0.8	2.4	0.7	2.9	0.7
10. CD-ROM (%)	0.5	0.2	0.9	0.2	0.8	0.1
11. その他 (%)	4.9	3.4	5.6	3.0	6.0	3.5
無回答者数	18	12	13	13	16	8
回答者数	4709	4918	4604	4694	4330	4666

「あなたは、薬物についての印象をどこから得ましたか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても、男女ともに「テレビ」と回答した比率が高い(どの学校種・学年においても70%以上)。

「学校の授業」と回答した比率は、小学生では低いが学年が上がるにつれて高まり、高校1年生でピークに達し、高校2年生、高校3年生ではやや低くなっている(小5男子19.1%・小5女子18.1%、中2男子57.5%・中2女子60.1%、高2男子80.5%・高2女子87.2%)。

「家族」と回答した比率は、学年が上がるにつれて低くなっている（小5男子 27.2%・小5女子 30.9%、中2男子 20.1%・中2女子 21.2%、高2男子 11.0%・高2女子 10.7%）。

平成9年調査と比較すると、平成12年調査では「学校の授業」と回答した比率がどの学校種・学年においても増加し、「テレビ」、「ポスター、パンフレット」、「新聞」と回答した比率についても概ね増加の傾向がみられる。

図1-2-17-(1) 薬物に対する印象を得た方法（男子）

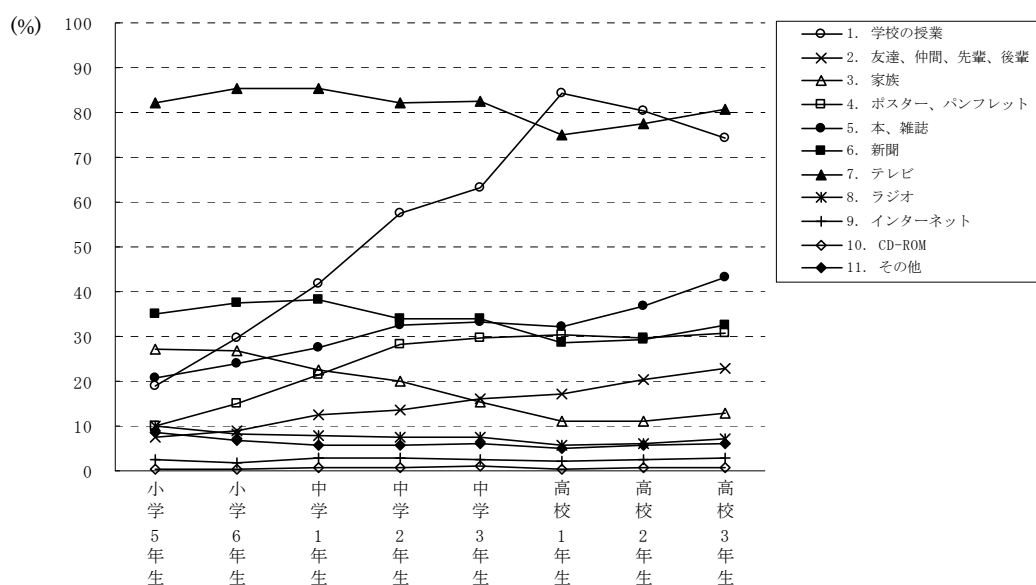
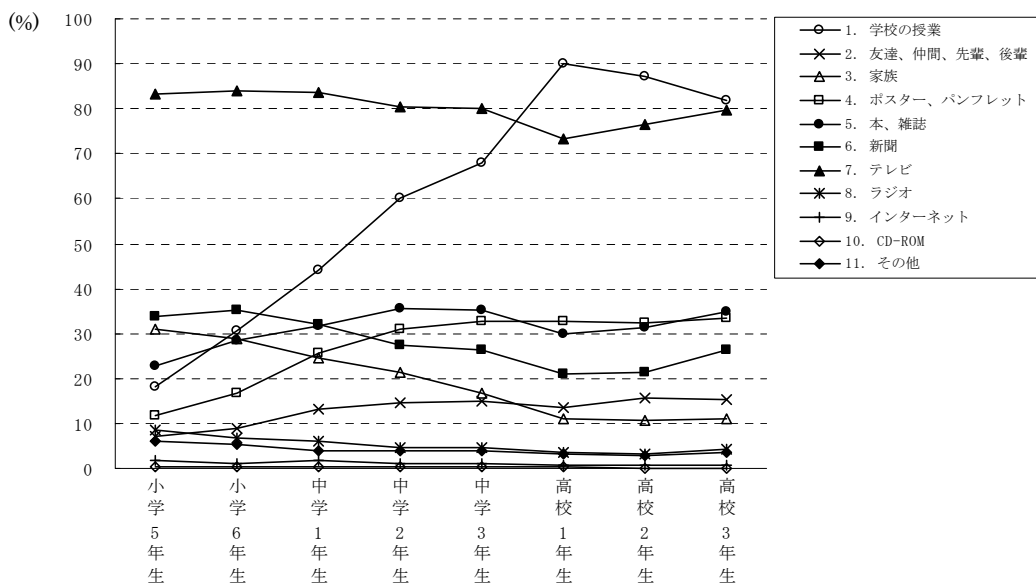
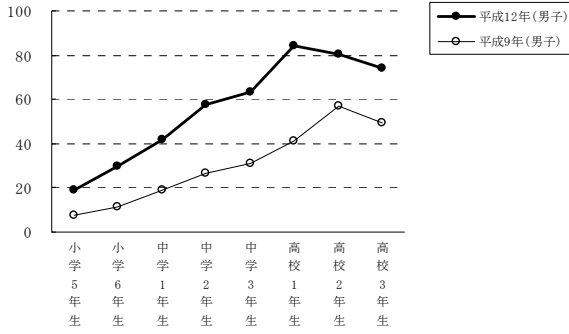


図1-2-17-(2) 薬物に対する印象を得た方法（女子）



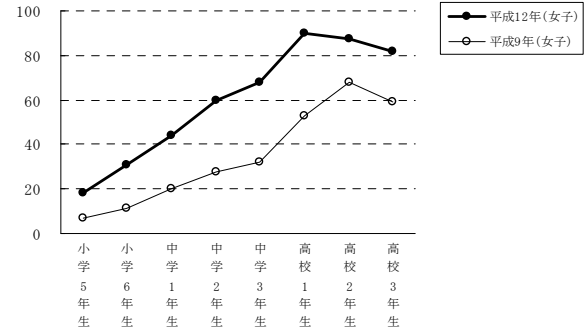
### 男子

(%) 学校の授業<sup>(%)</sup>

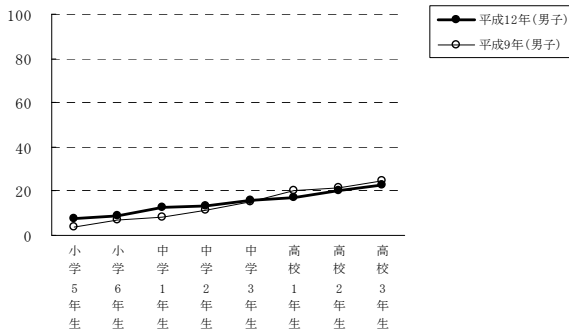


### 女子

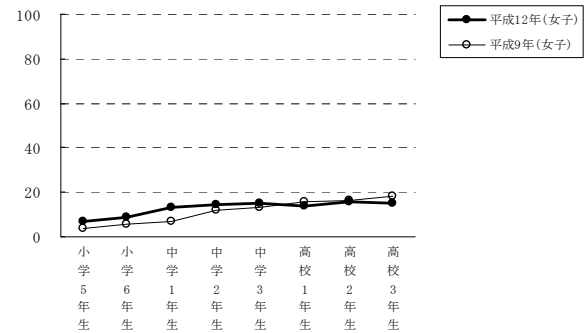
(%)



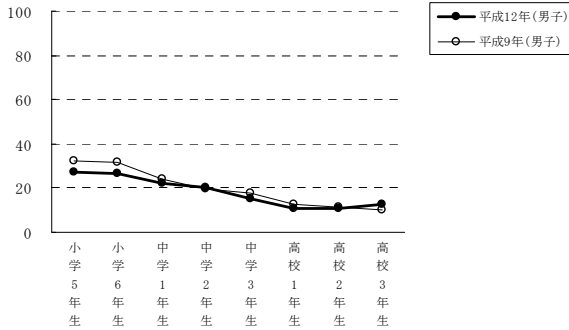
(%) 友達、仲間、先輩、後輩



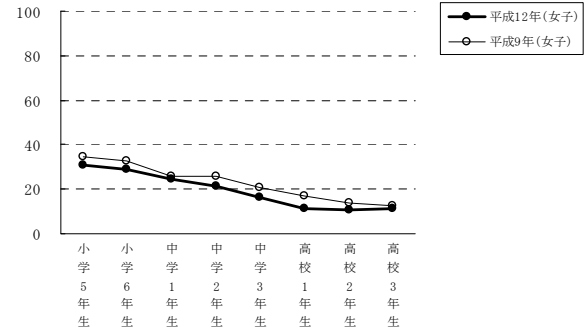
(%)



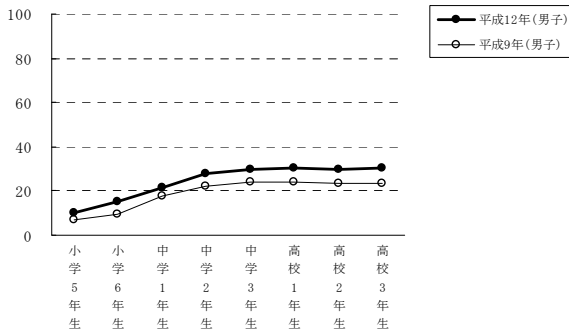
(%) 家族



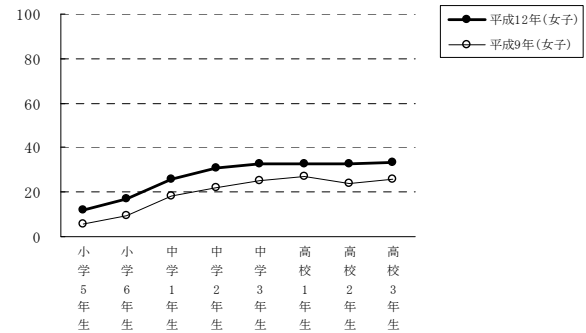
(%)



(%) ポスター、パンフレット

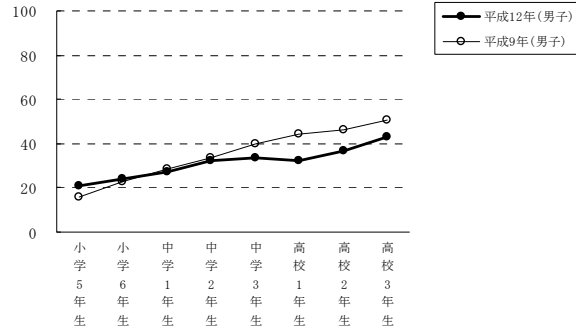


(%)



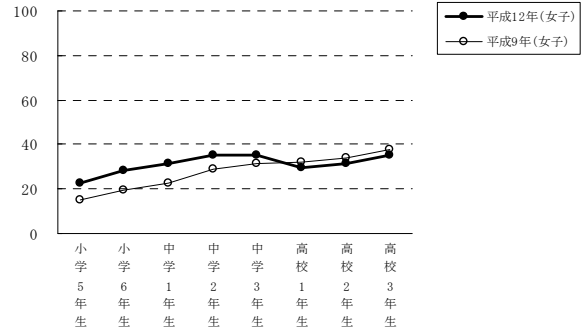
## 男子

### (%) 本、雑誌

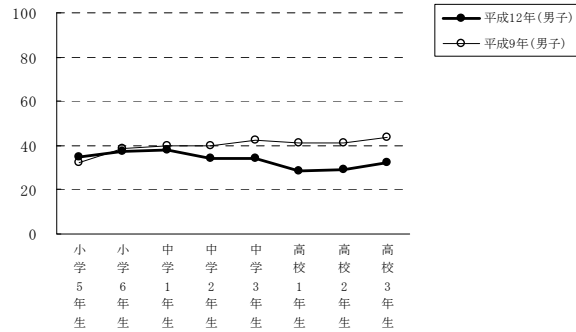


## 女子

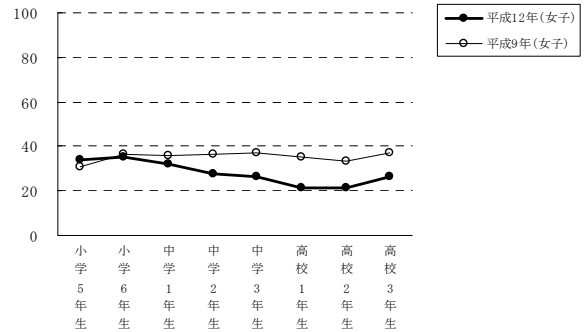
### (%)



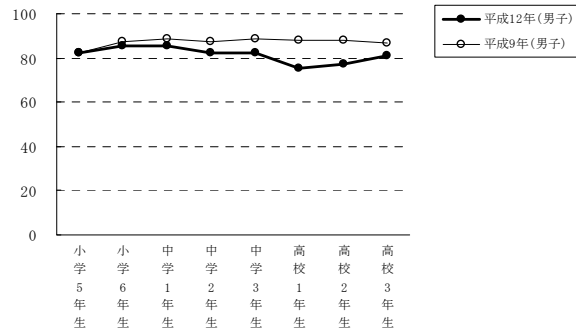
### (%) 新聞



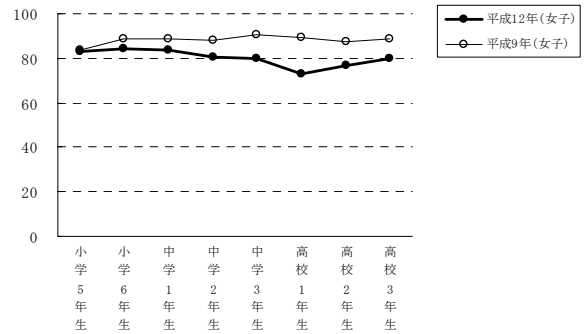
### (%)



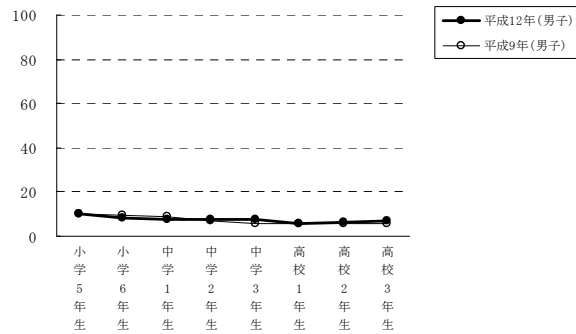
### (%) テレビ



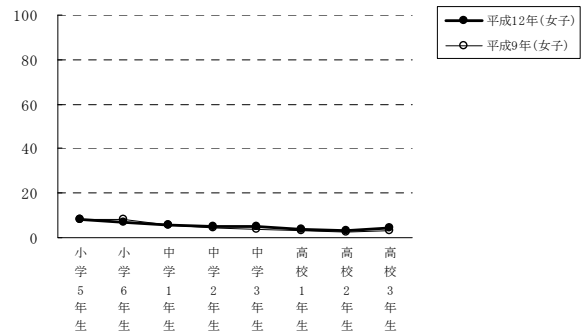
### (%)



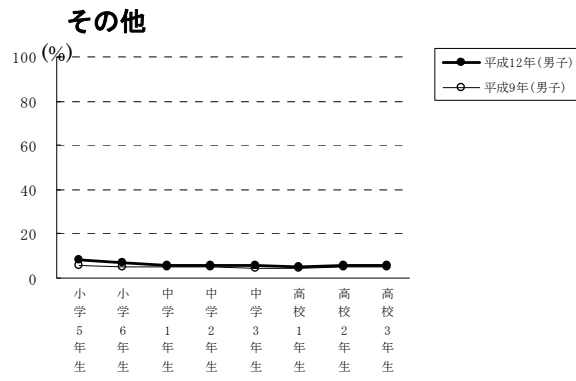
### (%) ラジオ



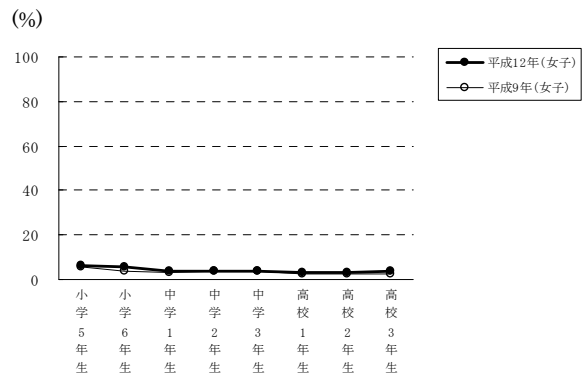
### (%)



## 男子



## 女子



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問18 あなたは、覚せい剤などの薬物を使ったり、持っていたりした場合、どうなると思いますか。(あなたの考えに近いものすべてに○をつけてください。)

- 1 使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる
- 2 1回使うくらいなら、罰せられることはない
- 3 持っているだけでは罰せられることはない
- 4 使ったり、持っていたりしても罰せられることはない
- 5 わからない

表1-2-18 薬物を使ったらどうなるか

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる (%)	74.1	73.2	82.0	79.7	78.6	77.3	82.5	82.4	85.6	85.7
2. 1回使うくらいなら、罰せられることはない (%)	2.5	1.1	1.7	1.6	1.6	2.1	1.9	1.4	1.5	1.4
3. 持っているだけでは罰せられることはない (%)	5.5	4.8	5.3	4.6	3.9	4.0	3.9	3.2	3.8	3.5
4. 使ったり、持っていたりしても罰せられることはない (%)	2.7	1.3	2.2	1.4	2.0	2.0	2.0	1.1	1.9	1.1
5. わからない (%)	21.4	23.4	14.5	16.8	17.7	18.3	13.9	14.5	10.6	11.1
無回答者数	28	19	18	15	40	15	20	7	22	6
回答者数	4153	3933	4225	4093	4590	4420	4605	4315	4577	4431

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる (%)	89.9	90.6	90.0	92.4	90.7	92.8
2. 1回使うくらいなら、罰せられることはない (%)	1.0	1.0	1.0	0.8	1.4	0.9
3. 持っているだけでは罰せられることはない (%)	2.3	2.4	2.1	1.7	2.3	1.8
4. 使ったり、持っていたりしても罰せられることはない (%)	1.4	0.8	1.6	0.6	1.6	1.0
5. わからない (%)	7.7	6.9	7.7	5.9	6.6	5.1
無回答者数	16	12	19	8	21	8
回答者数	5150	5121	5012	4910	4799	4822

「あなたは薬物を使ったり持っていたりした場合、どうなると思いますか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても、男女とも「使ったり、持っていたりしたらすぐに罰せられる」と回答した比率が最も高い。そして概ね学年が上がるにつれてその比率が高まる傾向にある(小5男子 74.1%・小5女子 73.2%、中2男子 82.5%・中2女子 82.4%、高2男子 90.0%・高2女子 92.4%)。

しかし、「1回使うくらいなら、罰せられることはない」、「持っているだけでは罰せられることはない」、「使ったり、持っていたりしても罰せられることはない」、「わからない」と回答した比率も10%から25%程度存在する。

図1-2-18-(1) 薬物を使ったらどうなるか (男子)

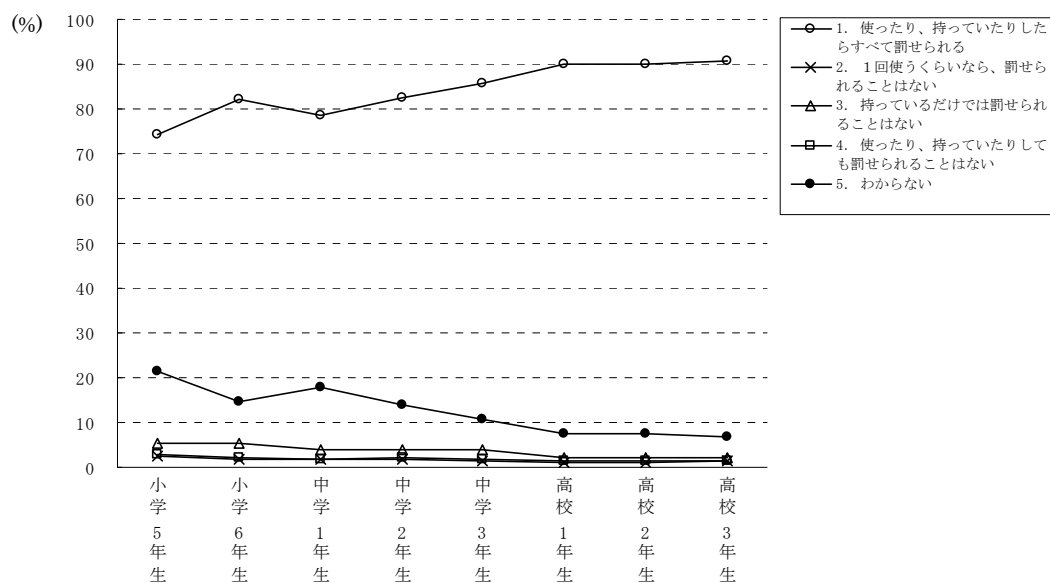
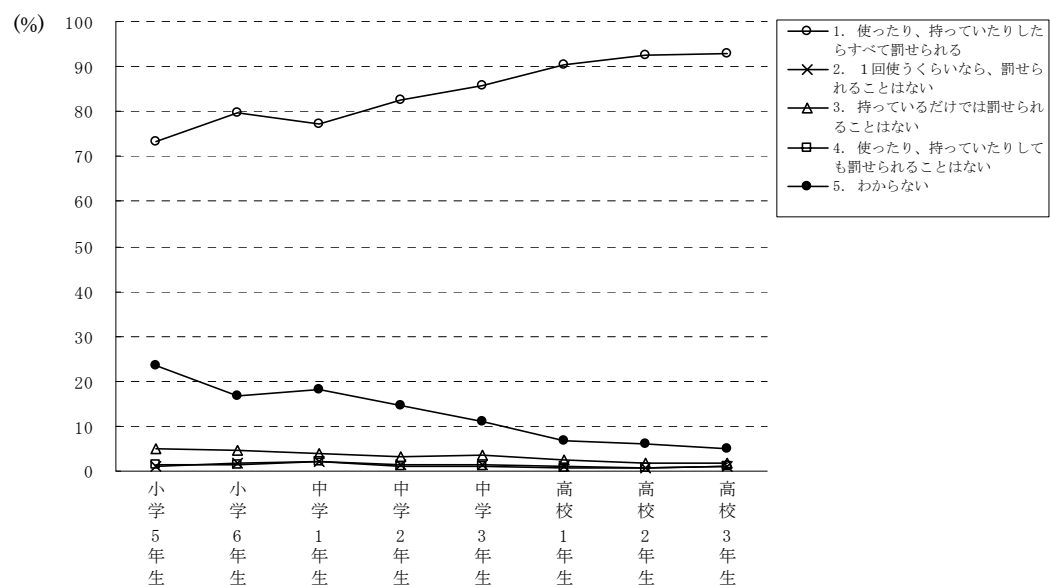


図1-2-18-(2) 薬物を使ったらどうなるか (女子)



(質問18で「1」から「4」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問19 あなたは、そのことをどのようにして知りましたか。(知った方法がいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業   | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族      | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌    | 6 新聞          |
| 7 テレビ     | 8 ラジオ         |
| 9 インターネット | 10 CD-ROM     |
| 11 その他    |               |

表1-2-19 薬物による罰則を知った方法 (複数回答)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 学校の授業 (%)	12.4	11.5	19.2	18.4	28.7	27.6	42.5	40.1	47.8	47.7
2. 友達、仲間、先輩、後輩 (%)	5.8	5.2	6.1	5.7	8.6	8.9	10.0	9.0	11.0	9.0
3. 家族 (%)	24.1	26.6	21.6	23.5	19.5	19.0	18.4	18.2	13.8	14.6
4. ポスター、パンフレット (%)	6.3	6.4	9.7	10.0	13.6	12.8	18.5	16.5	19.5	17.2
5. 本、雑誌 (%)	15.2	16.8	17.6	20.6	21.5	21.6	24.6	24.9	26.9	24.5
6. 新聞 (%)	29.9	28.2	32.6	28.2	33.6	27.6	29.9	24.6	30.5	23.1
7. テレビ (%)	80.2	81.3	85.1	81.9	83.2	82.3	81.5	80.4	83.5	80.5
8. ラジオ (%)	7.9	6.6	7.0	5.0	6.5	3.8	6.1	2.5	5.7	3.2
9. インターネット (%)	2.0	1.5	1.7	1.0	2.2	1.5	2.5	0.9	2.3	0.6
10. CD-ROM (%)	0.5	0.2	0.3	0.1	0.5	0.2	0.6	0.1	0.6	0.2
11. その他 (%)	9.2	7.1	6.7	5.7	5.3	4.6	5.5	3.4	4.8	4.1
無回答者数	82	59	55	46	39	53	41	42	51	41
回答者数	3182	2955	3557	3358	3738	3560	3926	3649	4040	3899

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 学校の授業 (%)	71.0	71.5	69.3	69.3	64.7	66.0
2. 友達、仲間、先輩、後輩 (%)	12.5	8.0	14.8	8.8	17.6	9.1
3. 家族 (%)	10.9	11.3	10.8	9.4	12.3	9.6
4. ポスター、パンフレット (%)	22.0	18.7	22.5	18.4	23.6	20.8
5. 本、雑誌 (%)	25.3	20.3	30.0	22.0	36.5	23.8
6. 新聞 (%)	27.8	20.6	28.9	20.7	33.0	25.2
7. テレビ (%)	75.8	72.7	78.4	76.5	80.2	79.7
8. ラジオ (%)	4.8	2.7	5.1	2.2	6.0	2.6
9. インターネット (%)	1.6	0.5	2.0	0.4	2.3	0.4
10. CD-ROM (%)	0.2	0.1	0.5	0.1	0.7	0.1
11. その他 (%)	4.7	3.3	4.6	3.2	5.0	2.9
無回答者数	38	31	27	37	43	41
回答者数	4718	4737	4601	4583	4437	4534

「あなたはそのこと(薬物による罰則)をどのようにして知りましたか。」との設問では、いずれの学校種・学年でも男女ともに「テレビ」と回答した比率が最も多い。

「学校の授業」と回答した比率は学年が上がるにつれて高まり、高校1年生でピークに達し、高校3年生ではやや低くなっている(小5男子 12.4%・小5女子 11.5%、中2男子 42.5%・中2女子 40.1%、高2男子 69.3%・高2女子 69.3%)。

「新聞」と回答した比率は、いずれの学年においても女子より男子の方が高く、学年が上がるにつれて男女差が大きくなる傾向がある(小5男子 29.9%・小5女子 28.2%、中2



男子 29.9%・中2女子 24.6%、高2男子 28.9%・高2女子 20.7%)。

「家族」と回答した比率は、男女とも学年が上がるにつれて低くなっている（小5男子 24.1%・小5女子 26.6%、中2男子 18.4%・中2女子 18.2%、高2男子 10.8%・高2女子 9.4%）。

平成9年調査と比較すると、「学校の授業」「ポスター、パンフレット」と回答した比率がどの学校種・学年においても増加している。

図1-2-19-(1) 薬物による罰則を知った方法 (男子)

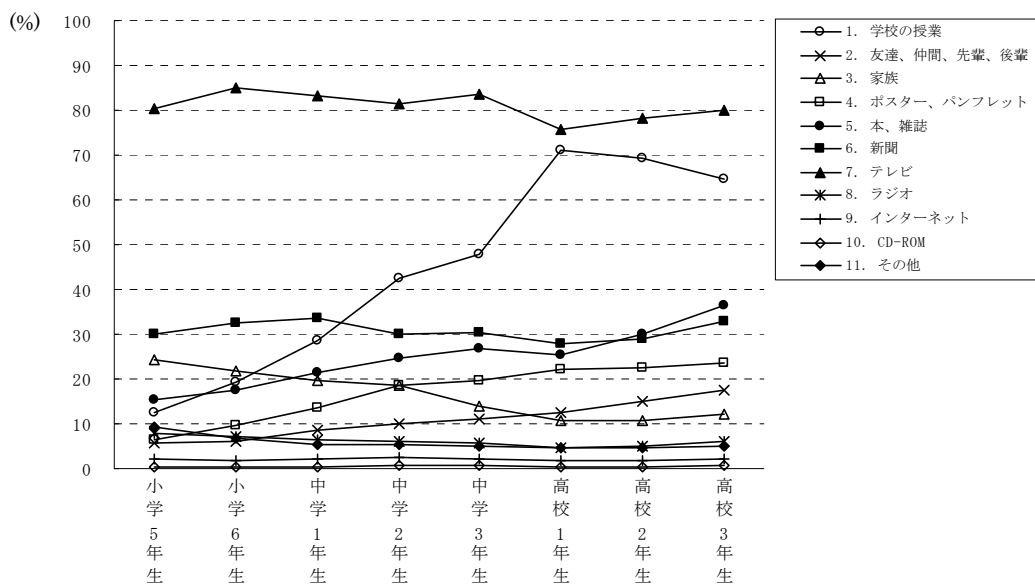
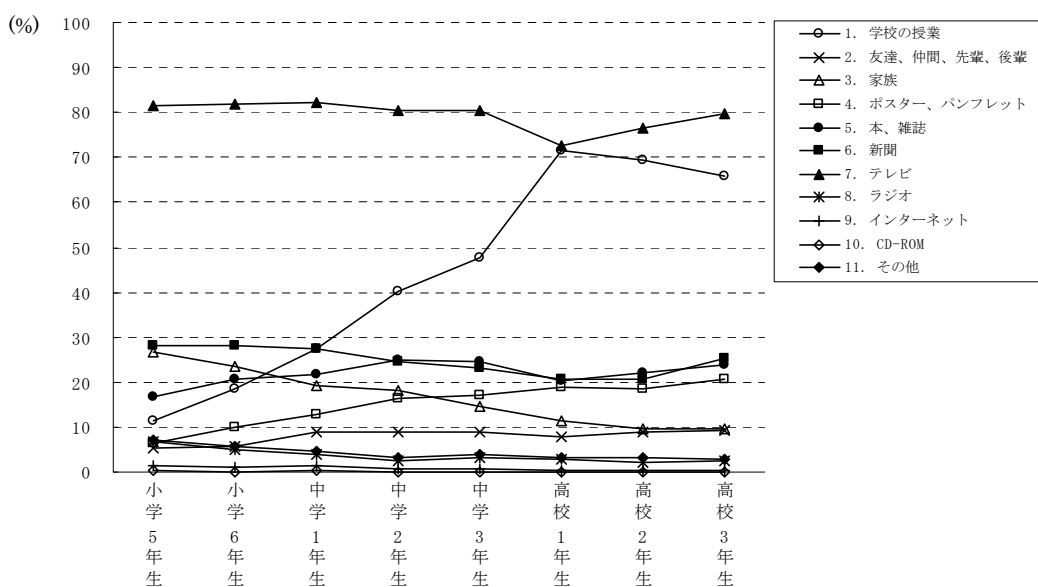
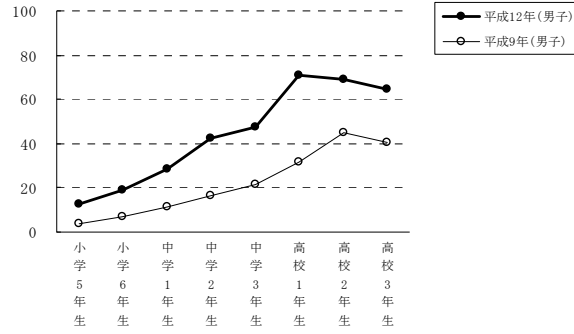


図1-2-19-(2) 薬物による罰則を知った方法 (女子)



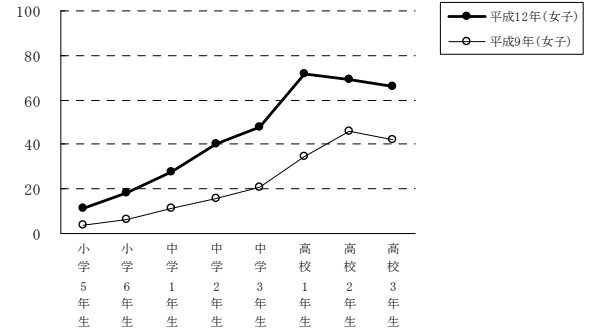
## 男子

### (%) 学校の授業

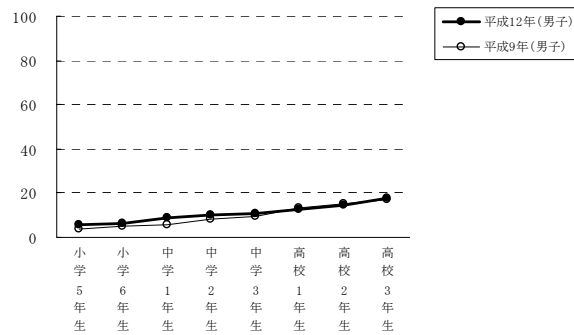


## 女子

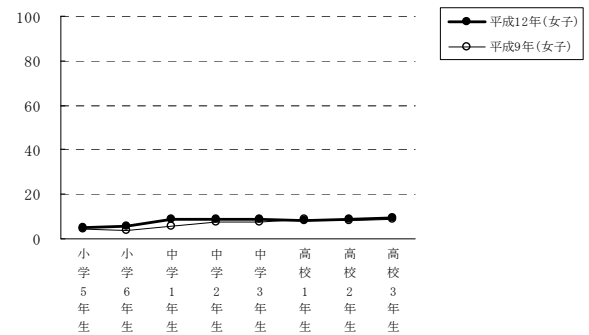
(%)



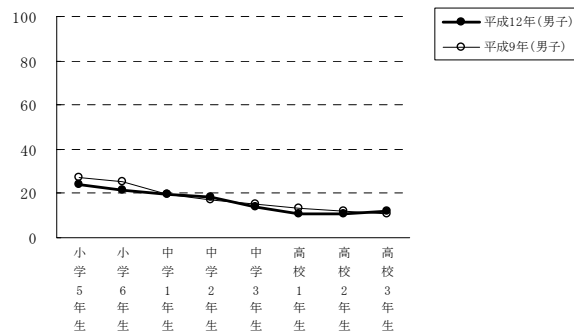
### (%) 友達、仲間、先輩、後輩



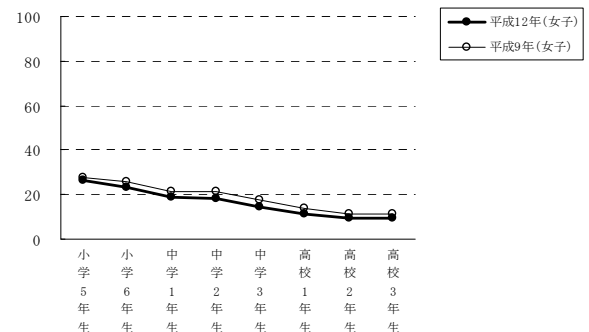
(%)



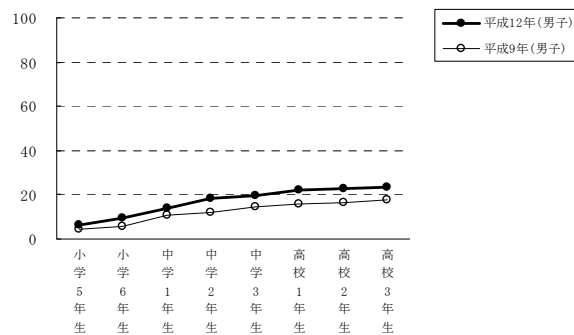
### (%) 家族



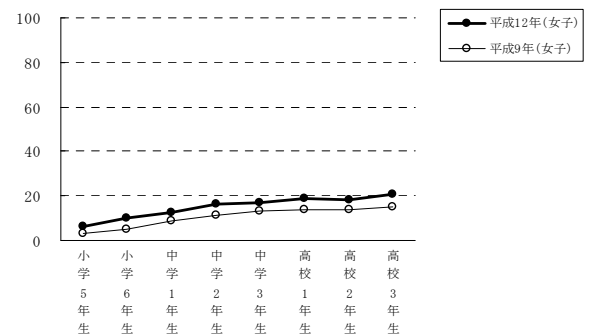
(%)



### (%) ポスター、パンフレット

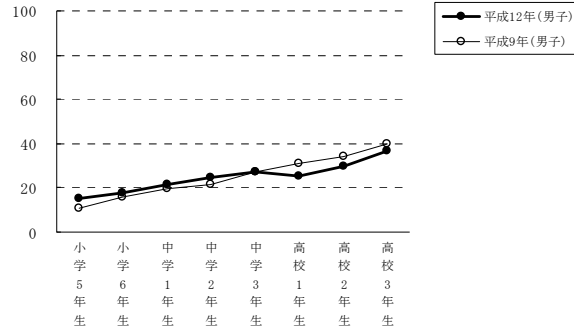


(%)



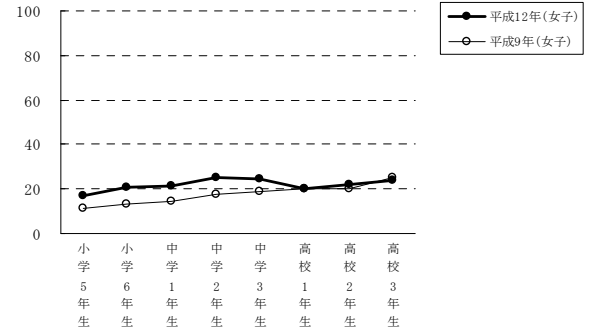
### 男子

#### (%) 本、雑誌

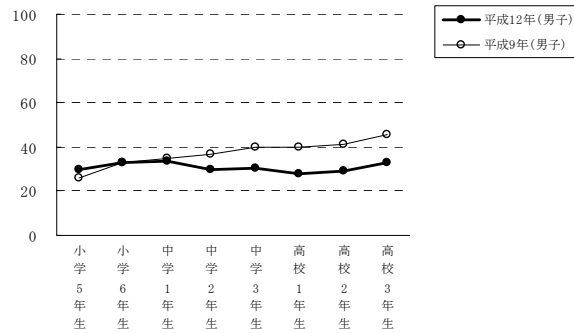


### 女子

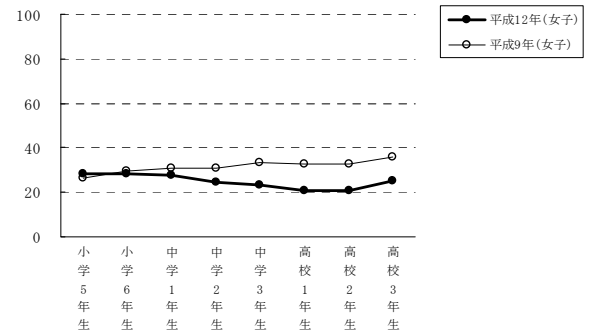
#### (%)



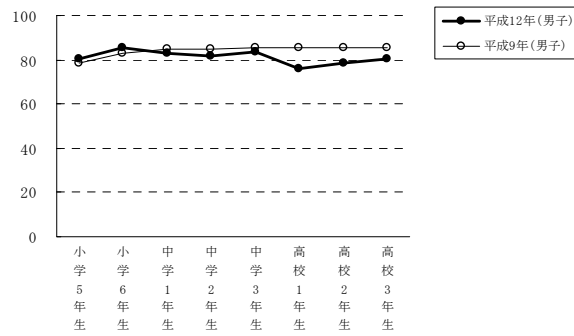
#### (%) 新聞



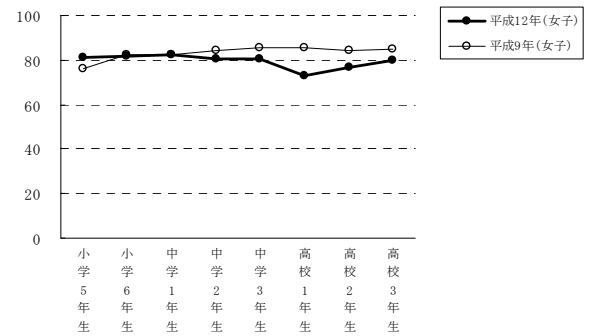
#### (%)



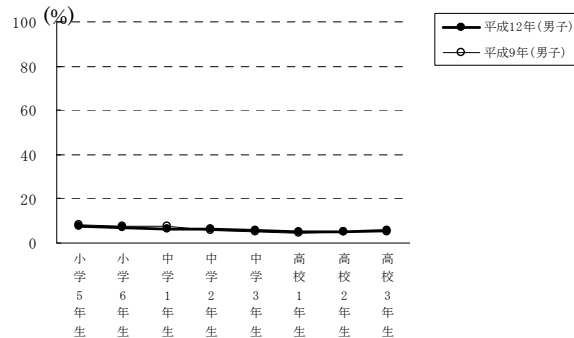
#### (%) テレビ



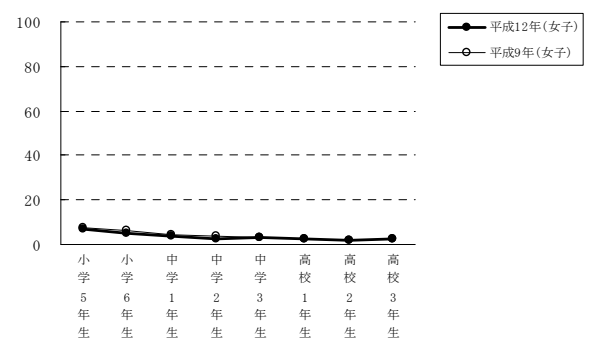
#### (%)



#### ラジオ

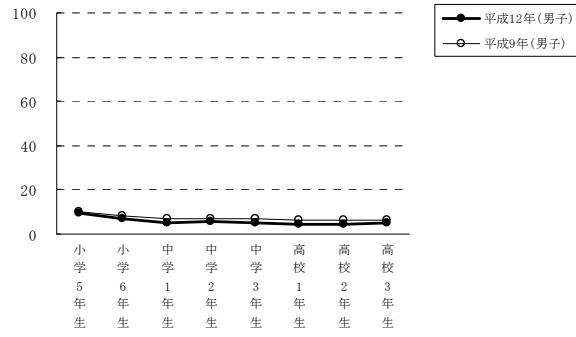


#### (%)



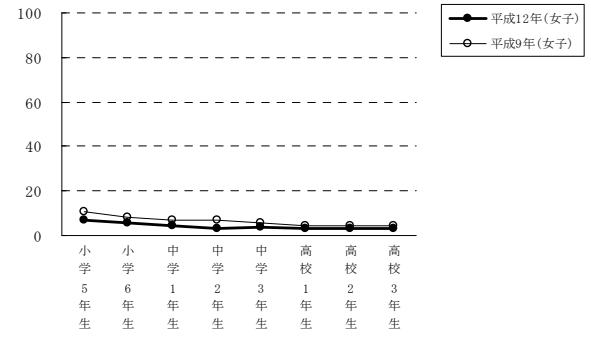
### 男子

(%) その他



### 女子

(%)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問20 あなたは、これまで覚せい剤などの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。(どちらかに○)

1 あった

2 なかった

表1-2-20 薬物についての学習

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. あった (%)	66.4	72.2	74.9	79.3	73.7	80.9	83.9	89.8	87.7	93.5
2. なかった (%)	32.3	27.0	23.9	19.8	24.9	18.6	15.3	9.9	11.5	6.1
無回答 (%)	1.3	0.8	1.2	0.9	1.4	0.5	0.8	0.3	0.8	0.4
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. あった (%)	96.1	98.0	95.5	98.0	95.3	97.5
2. なかった (%)	3.3	1.7	4.0	1.6	4.0	2.1
無回答 (%)	0.5	0.3	0.5	0.4	0.7	0.4
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「あなたは、これまで覚せい剤などの薬物について学んだり聞いたりしたことがありますか。」との設問では、男女とも「あった」と回答した比率は学年が上がるにつれて概ね高まっている。また、いずれの学校種・学年においても男子より女子の方が「あった」と回答した比率が高いが、学年が上がるにつれて男女差は小さくなっている(小5男子66.4%・小5女子72.2%、中2男子83.9%・中2女子89.8%、高2男子95.5%・高2女子98.0%)。

平成9年調査と比較すると、平成12年調査ではいずれの学校種・学年においても、男女ともに「あった」と回答した比率は高まっている。

図1-2-20-(1) 薬物についての学習 (男子)

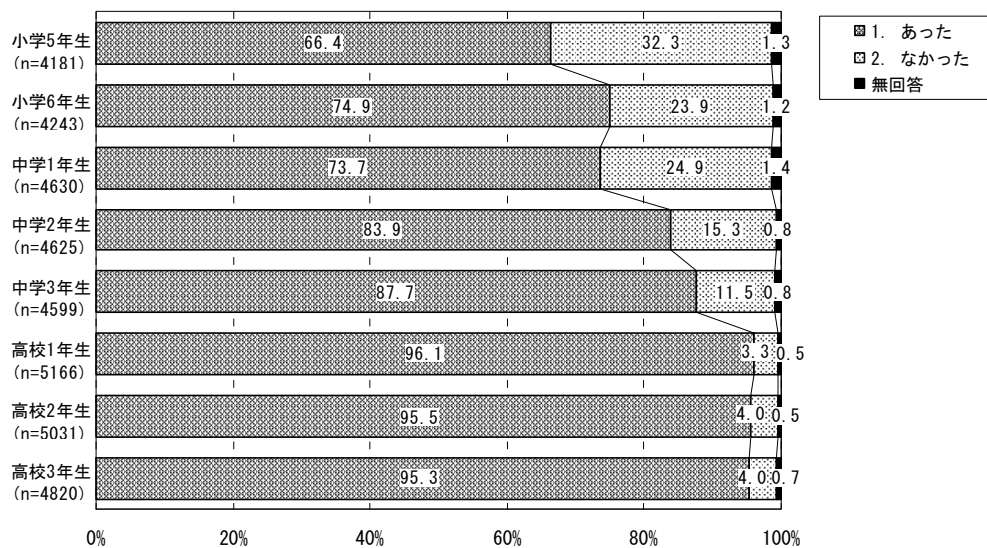
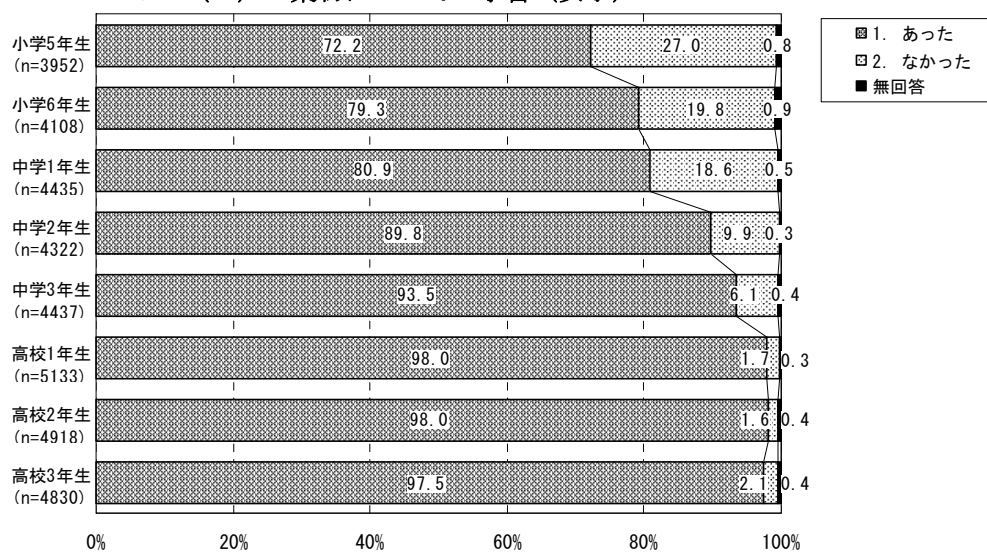


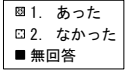
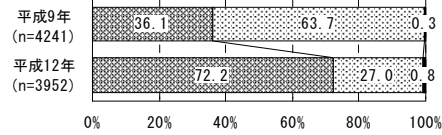
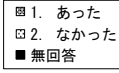
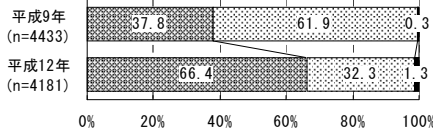
図1-2-20-(2) 薬物についての学習 (女子)



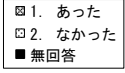
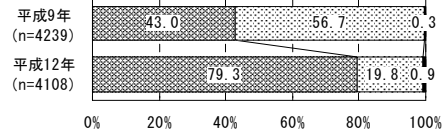
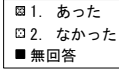
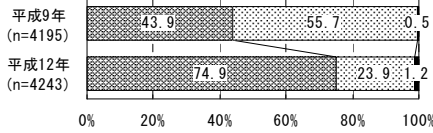
男子

女子

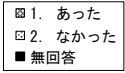
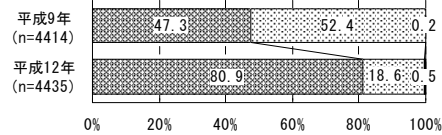
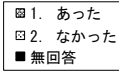
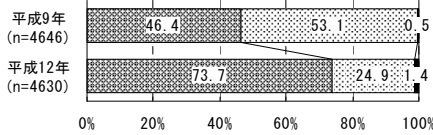
小学5年生



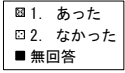
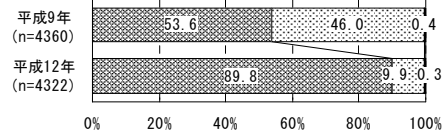
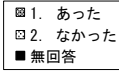
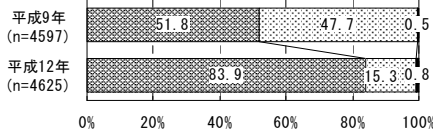
小学6年生



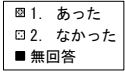
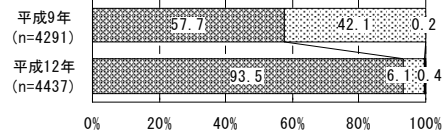
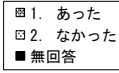
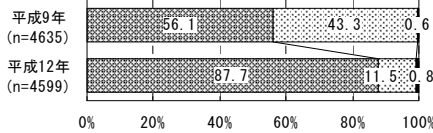
中学1年生



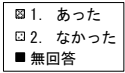
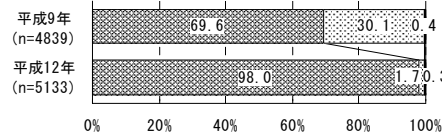
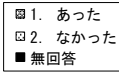
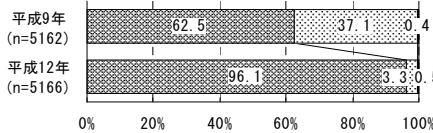
中学2年生



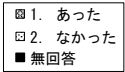
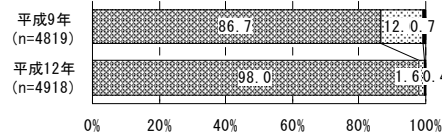
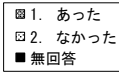
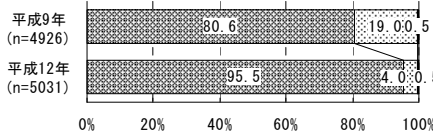
中学3年生



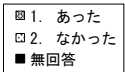
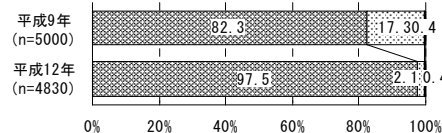
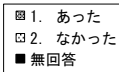
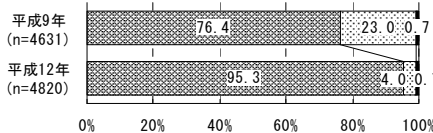
高校1年生



高校2年生



高校3年生



(質問20で「1」に○をつけた人だけお答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問21 あなたは、覚せい剤などの薬物について何から学びましたか。(いくつかある場合には、そのすべてに○をつけてください。)

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業   | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族      | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌    | 6 新聞          |
| 7 テレビ     | 8 ラジオ         |
| 9 インターネット | 10 CD-ROM     |
| 11 その他    |               |

表1-2-21 薬物について学んだ方法 (複数回答)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 学校の授業 (%)	24.8	24.4	38.6	38.9	58.2	57.5	72.8	73.3	77.1	78.9
2. 友達、仲間、先輩、後輩 (%)	7.3	5.8	6.9	7.2	9.0	10.2	10.6	10.3	11.8	10.4
3. 家族 (%)	33.2	38.3	29.5	33.6	21.1	24.6	18.5	20.2	14.2	16.1
4. ポスター、パンフレット (%)	7.6	8.4	12.0	13.0	16.9	18.8	22.0	24.8	23.2	25.0
5. 本、雑誌 (%)	17.6	18.2	20.8	23.1	23.1	25.1	26.0	28.0	28.5	28.3
6. 新聞 (%)	26.2	24.9	28.6	25.2	28.2	23.0	25.4	19.8	25.9	18.9
7. テレビ (%)	73.2	74.6	76.1	73.3	69.3	69.2	66.5	65.6	68.8	65.7
8. ラジオ (%)	7.6	6.2	7.0	5.1	5.0	4.2	5.6	2.9	5.0	2.7
9. インターネット (%)	2.1	1.5	1.7	1.1	2.4	1.5	2.8	1.1	2.3	0.9
10. CD-ROM (%)	0.5	0.4	0.2	0.1	0.6	0.1	0.6	0.2	0.6	0.2
11. その他 (%)	4.8	3.7	3.4	3.0	3.2	2.9	3.8	2.4	3.9	2.4
無回答者数	27	16	11	12	16	7	14	9	15	9
回答者数	2748	2837	3167	3244	3394	3583	3867	3873	4017	4138

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 学校の授業 (%)	94.0	96.4	92.5	96.0	88.7	93.4
2. 友達、仲間、先輩、後輩 (%)	12.6	9.5	15.2	9.7	16.7	9.6
3. 家族 (%)	10.1	10.6	9.8	9.3	11.5	9.9
4. ポスター、パンフレット (%)	23.5	25.0	24.0	23.7	24.1	25.8
5. 本、雑誌 (%)	25.8	22.5	29.0	23.5	34.9	25.7
6. 新聞 (%)	21.5	15.5	23.8	15.0	27.4	19.9
7. テレビ (%)	59.9	56.8	63.4	59.4	65.9	63.4
8. ラジオ (%)	4.1	2.6	4.8	1.8	5.1	2.5
9. インターネット (%)	2.0	0.7	2.4	0.5	2.5	0.6
10. CD-ROM (%)	0.5	0.1	0.6	0.1	0.5	0.1
11. その他 (%)	3.1	2.4	3.3	2.0	3.8	2.4
無回答者数	11	2	16	6	11	5
回答者数	4954	5027	4789	4815	4582	4703

「あなたは、覚せい剤などの薬物について何から学びましたか。」との設問では、男女とも中学1年生までは「テレビ」と回答した比率が最も高いが、中学2年生以上では学年が上がるにつれて「学校の授業」と回答した比率が最も高くなっている(テレビ:小5男子73.2%・小5女子74.6%、中2男子66.5%・中2女子65.6%、高2男子63.4%・高2女子59.4%) (学校の授業:小5男子24.8%・小5女子24.4%、中2男子72.8%・中2女子73.3%、高2男子92.5%・高2女子96.0%)。

「新聞」と回答した比率はすべての学年において女子を男子が上回っており、「テレビ」



と回答した比率は小学5年生を除くすべての学年において女子よりも男子が高い。

平成9年調査と比較すると、平成12年調査ではいずれの学校種・学年においても、男女ともに「学校の授業」と回答した比率は高まっている。

図1-2-21-(1) 薬物について学んだ方法（男子）

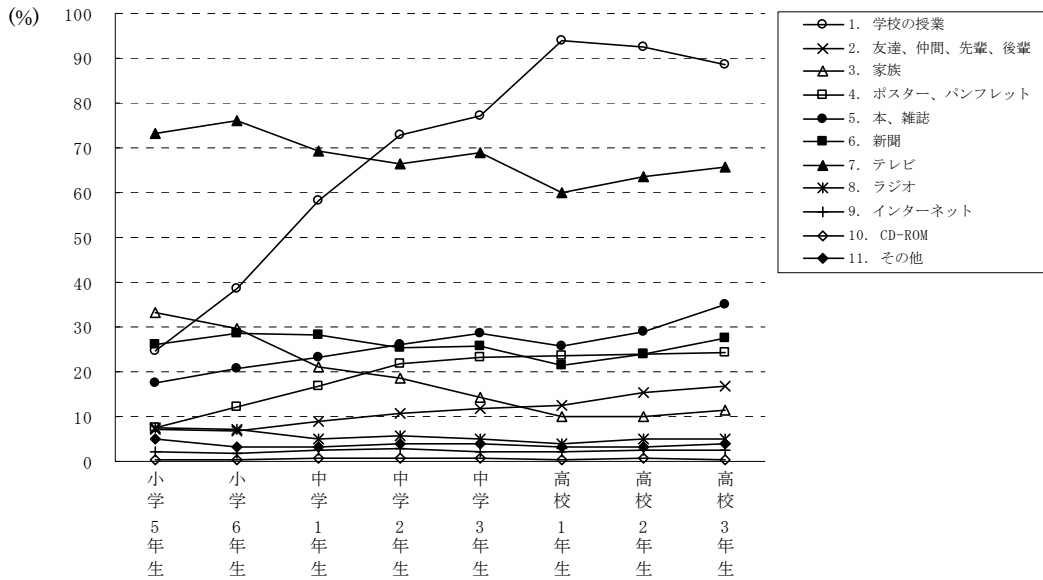
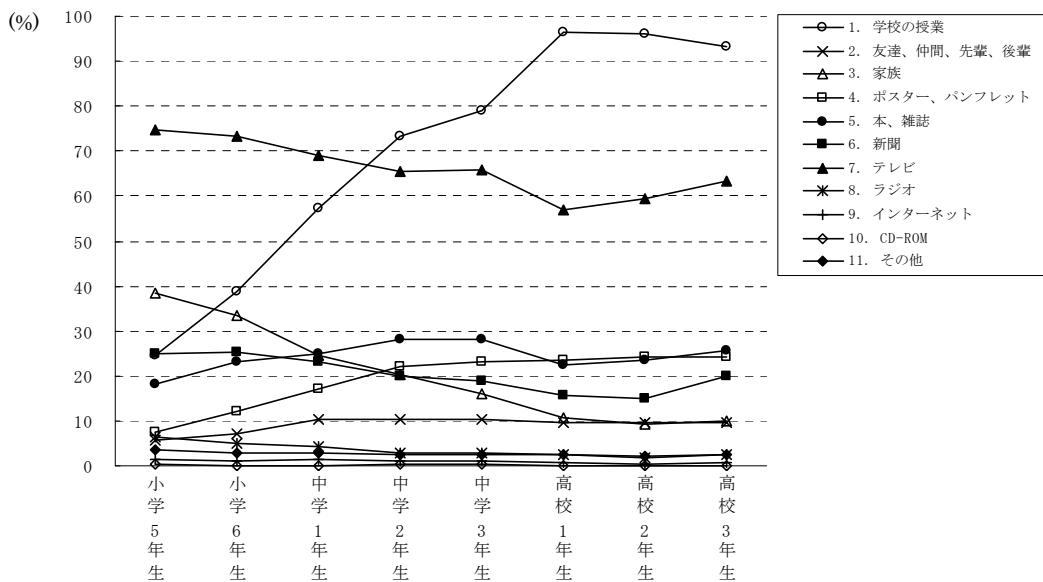
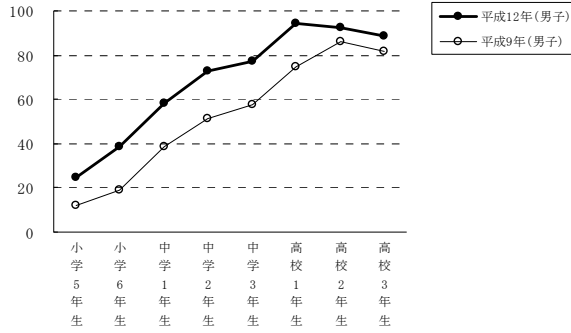


図1-2-21-(2) 薬物について学んだ方法（女子）



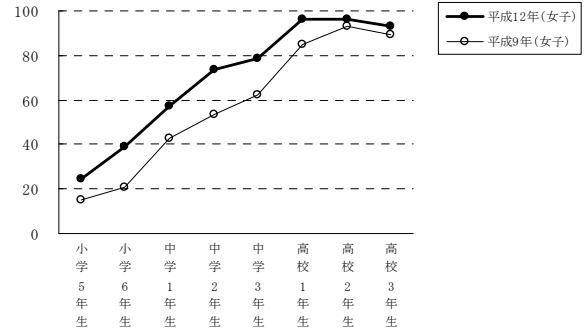
### 男子

#### (%) 学校の授業

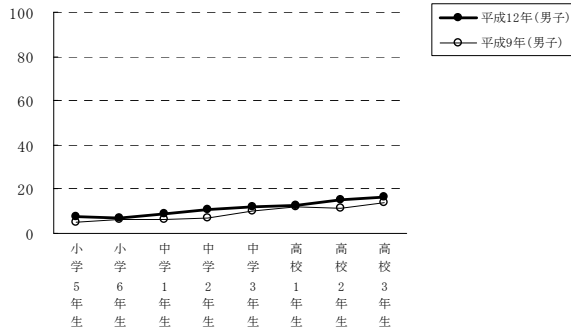


### 女子

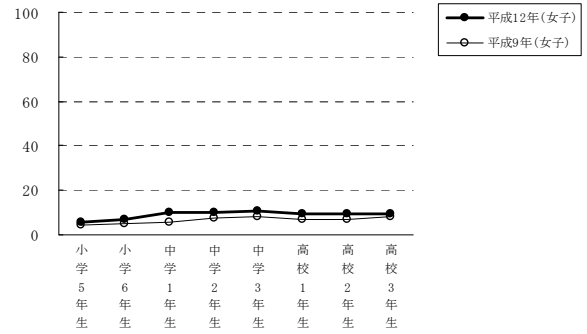
#### (%)



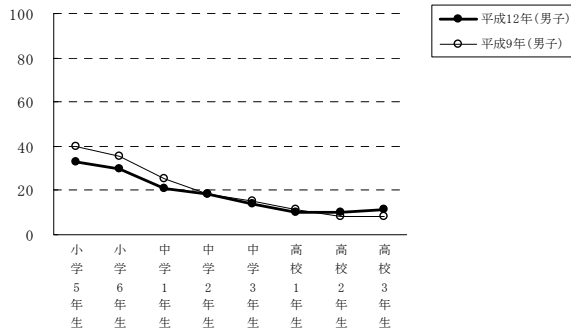
#### (%) 友達、仲間、先輩、後輩



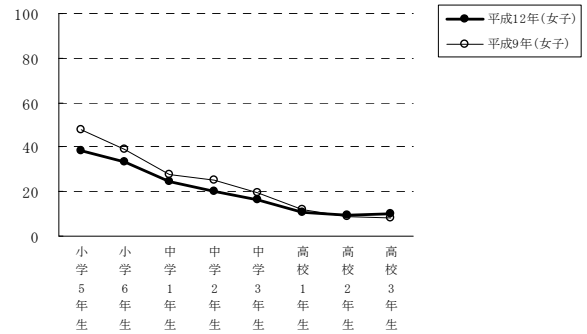
#### (%)



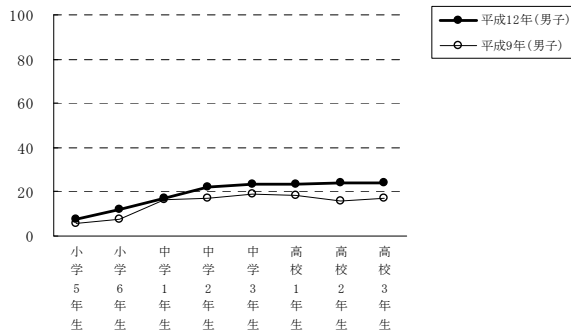
#### (%) 家族



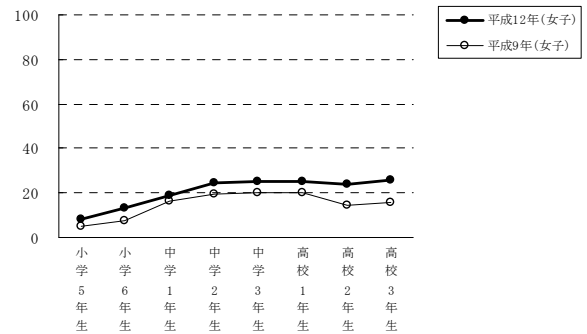
#### (%)



#### (%) ポスター、パンフレット

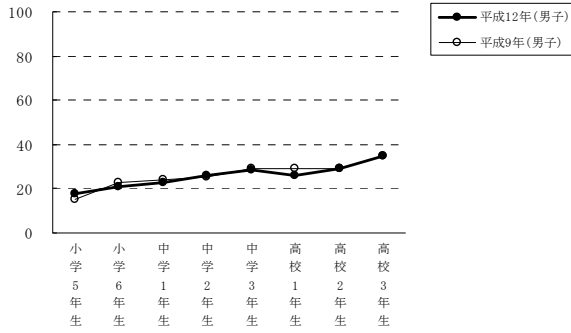


#### (%)



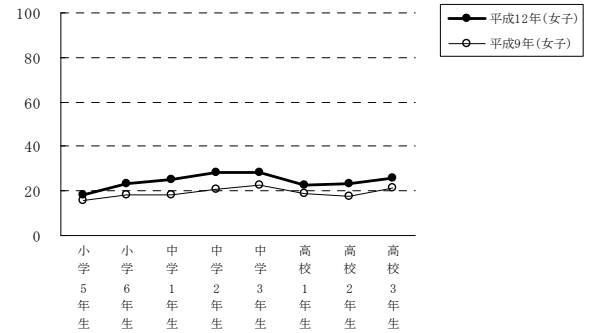
## 男子

### (%) 本、雑誌

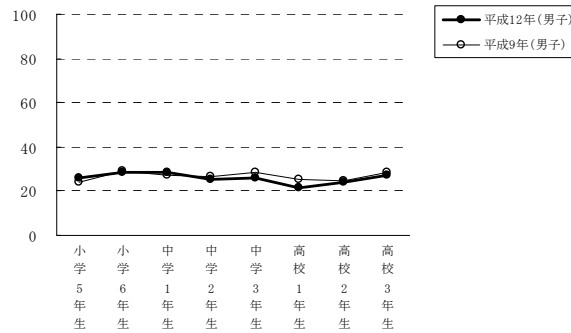


## 女子

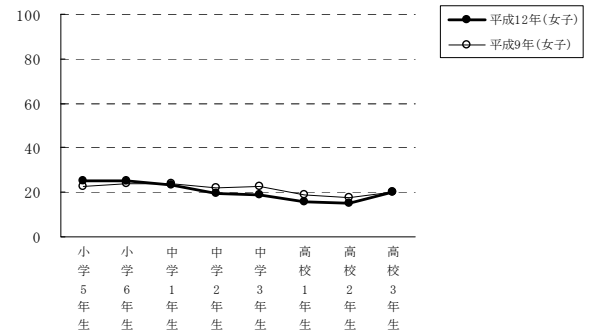
### (%)



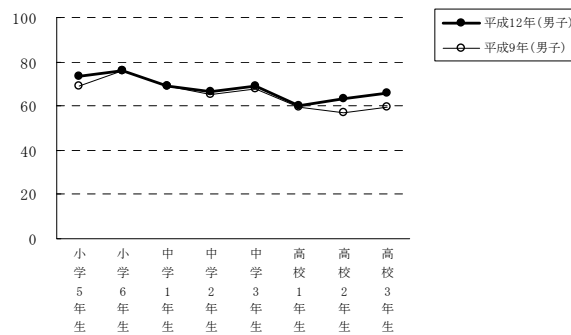
### (%) 新聞



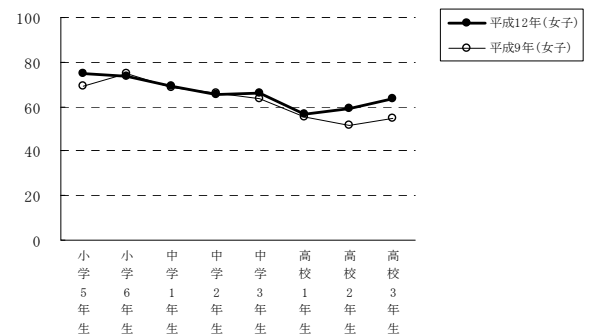
### (%)



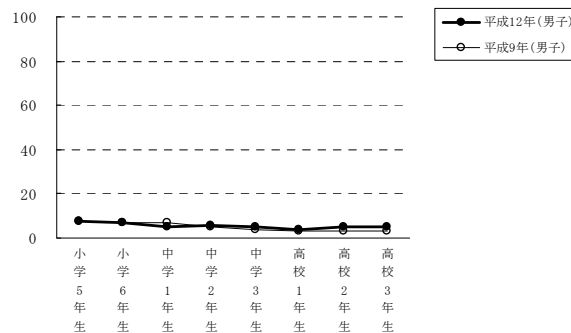
### (%) テレビ



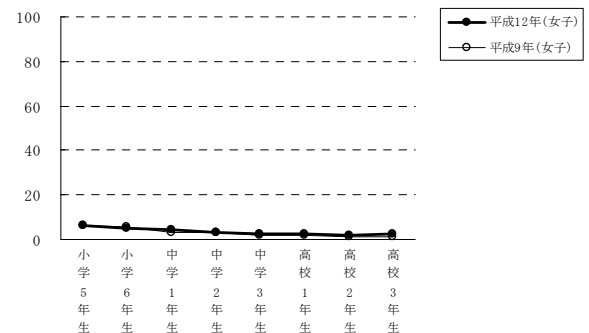
### (%)



### (%) ラジオ

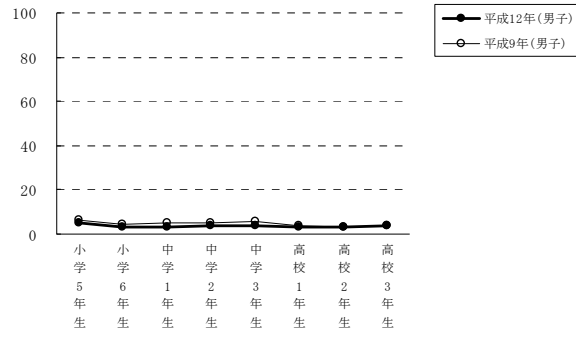


### (%)



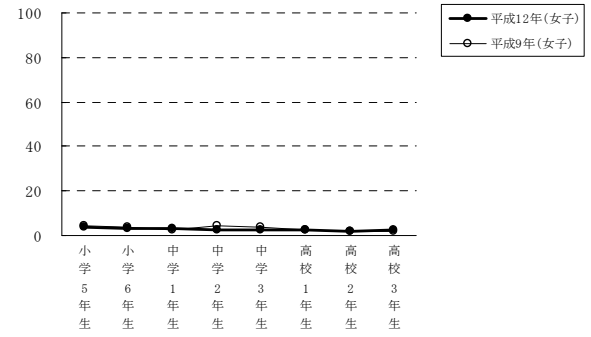
### 男子

(%) その他



### 女子

(%)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問22 あなたは、覚せい剤などの薬物を使った場合、心や体に次のような害があることを知っていましたか。(知っているものがいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- 1 1回使っただけでも、異常に興奮したり、やる気がなくなったりする。(急性中毒)
- 2 1回使っただけでも、死亡することがある。(急性中毒死)
- 3 自分の意志で止めるのがむづかしくなる。(依存症(精神依存、身体依存))
- 4 薬が切れると、体を動かすことがいやになったり、疲れを感じたり、苦しくなったりする。(禁断症状)
- 5 使い続けると、体の様々なところに障害を起しやすい。(慢性中毒)
- 6 使い続けると、脳の神経がおかされ、精神に障害を起しやすい。(慢性中毒)
- 7 使い続けるのを止めても、何かのショックで見えないものが見えたり聴こえないものが聴こえたりすることがある。(フラッシュバック)
- 8 知らなかった

表1-2-22 薬物を使った場合の影響(複数回答)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 急性中毒 (%)	45.2	47.8	53.3	56.2	56.8	61.8	61.5	67.0	62.3	69.1
2. 急性中毒死 (%)	36.6	35.6	32.1	32.1	28.7	25.8	29.1	22.9	27.3	22.1
3. 依存症(精神依存、身体依存) (%)	60.1	65.7	73.1	78.0	73.5	81.3	78.9	87.6	82.5	90.6
4. 禁断症状 (%)	43.2	44.0	51.6	53.7	57.2	59.9	63.7	69.6	67.4	72.6
5. 身体に対する慢性中毒 (%)	56.8	61.1	60.3	65.0	62.1	63.8	66.1	67.6	67.8	69.3
6. 精神に対する慢性中毒 (%)	45.2	52.1	53.0	60.1	65.2	67.5	70.9	74.8	74.1	79.5
7. フラッシュバック (%)	37.9	37.9	44.8	45.5	48.8	52.7	61.8	63.8	67.5	70.0
8. 知らなかった (%)	15.0	12.6	9.7	6.9	9.8	6.4	7.8	3.5	6.0	2.1
無回答者数	33	31	31	26	41	16	28	12	30	11
回答者数	4148	3921	4212	4082	4589	4419	4597	4310	4569	4426

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 急性中毒 (%)	67.3	72.2	68.0	72.4	70.9	73.0
2. 急性中毒死 (%)	30.2	25.2	29.9	23.8	33.8	26.0
3. 依存症(精神依存、身体依存) (%)	87.9	93.0	87.0	93.7	87.1	94.0
4. 禁断症状 (%)	75.2	81.0	76.7	80.9	77.6	81.8
5. 身体に対する慢性中毒 (%)	70.7	72.5	68.9	70.1	72.2	71.9
6. 精神に対する慢性中毒 (%)	79.2	83.8	77.3	83.2	80.3	83.9
7. フラッシュバック (%)	77.3	80.5	77.9	81.3	78.6	80.3
8. 知らなかった (%)	3.6	0.9	4.2	0.9	4.2	1.2
無回答者数	26	19	32	14	24	8
回答者数	5140	5114	4999	4904	4796	4822

「あなたは、覚せい剤などの薬物を使った場合、心や体に次のような害があることを知っていましたか。」との設問では、「依存症」と回答した比率が全ての学年の男女において最も高い(小5男子 60.1%・小5女子 65.7%、中2男子 78.9%・中2女子 87.6%、高2男子 87.0%・高2女子 93.7%)。

また「依存症」「急性中毒」「禁断症状」「身体に対する慢性中毒」「精神に対する慢性中毒」と回答した比率は、いずれも男女とも学年が上がるにつれて高くなる傾向があり、こ

のうち「依存症」「急性中毒」「禁断症状」「精神に対する慢性中毒」と回答した比率は、全ての学年において男子より女子の方が高い。

「知らなかった」と回答した比率は男女ともいずれも男女とも学年が上がるにつれて低下している（小5男子 15.0%・小5女子 12.6%、中2男子 7.8%・中2女子 3.5%、高2男子 4.2%・高2女子 0.9%）。

平成9年度調査と比較すると、男女ともに全ての学校種・学年で「急性中毒」「依存症」「フラッシュバック」と回答した比率が増加している。

図1-2-22-（1） 薬物を使った場合の影響（男子）

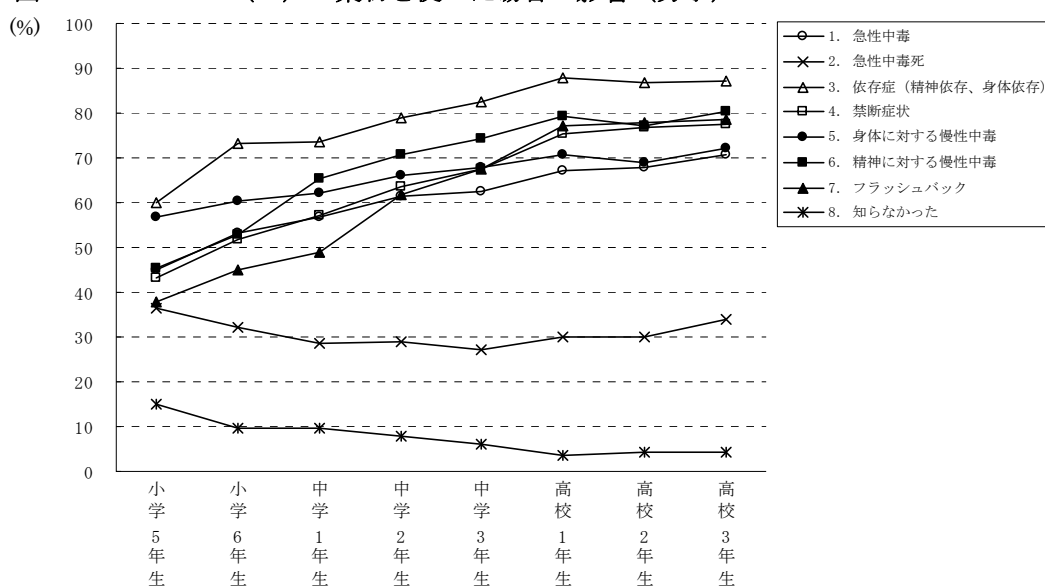
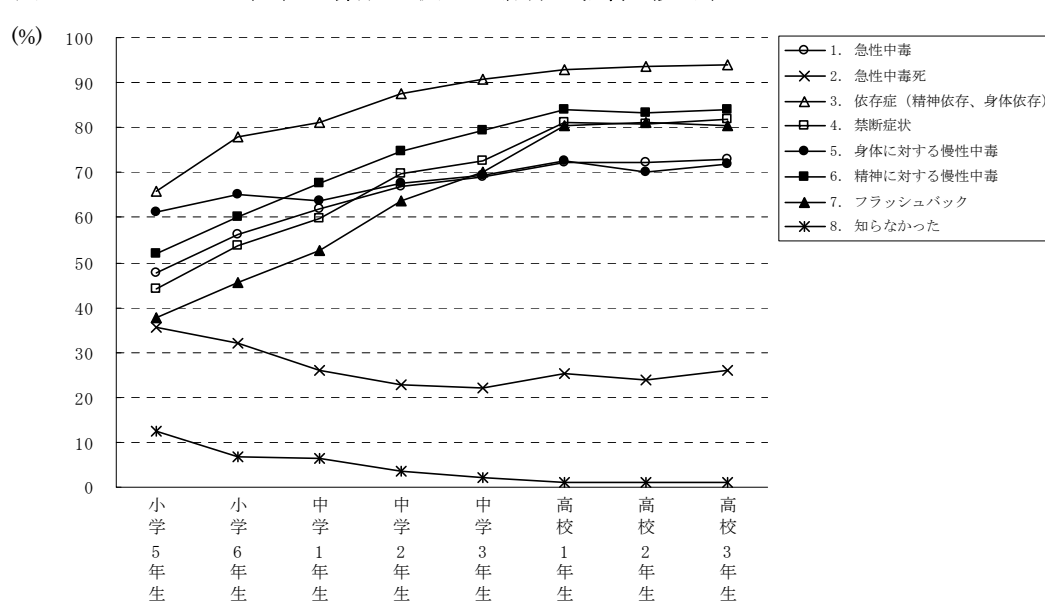
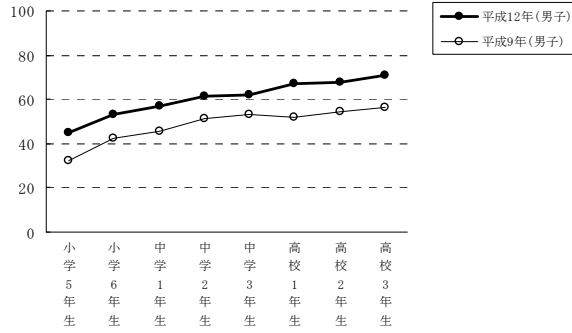


図1-2-22-（2） 薬物を使った場合の影響（女子）



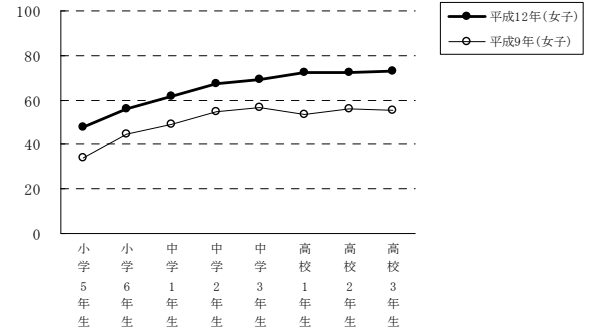
### 男子

(%) 急性中毒

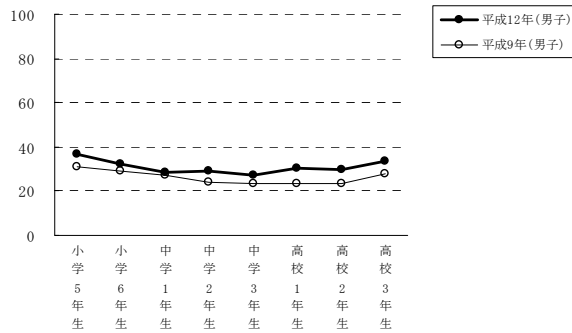


### 女子

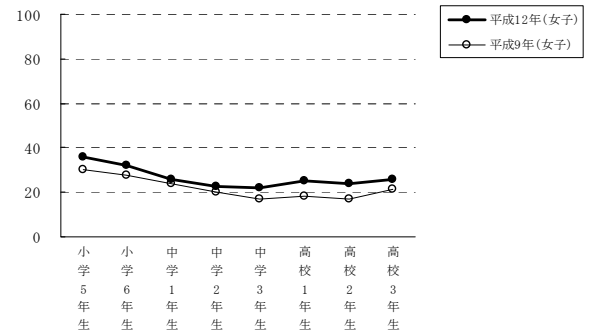
(%)



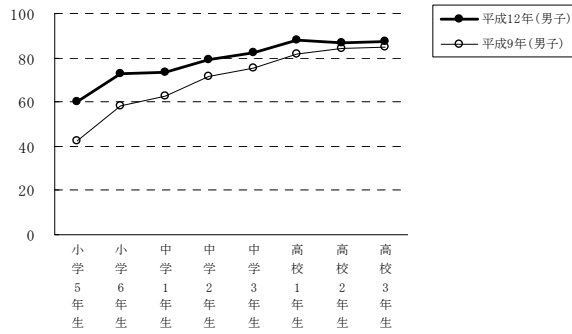
(%) 急性中毒死



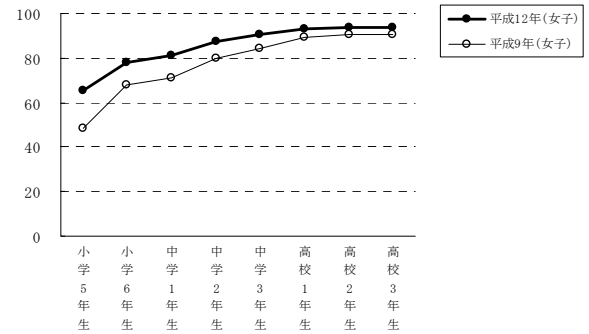
(%)



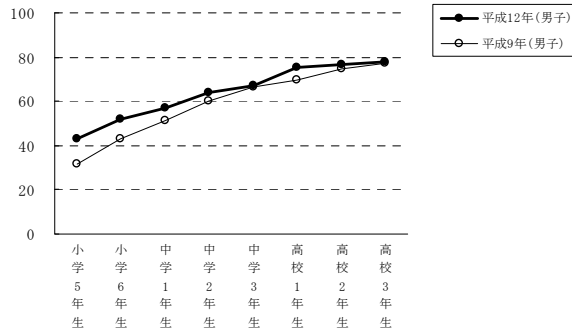
(%) 依存症（精神依存、身体依存）



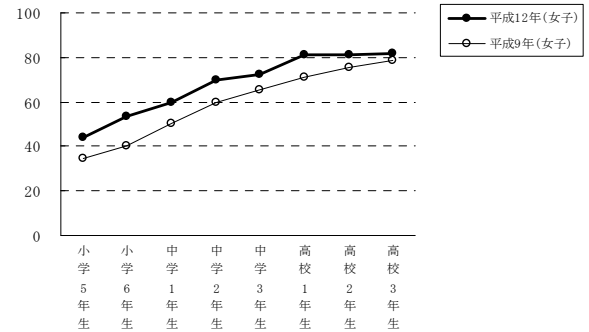
(%)



(%) 禁断症状

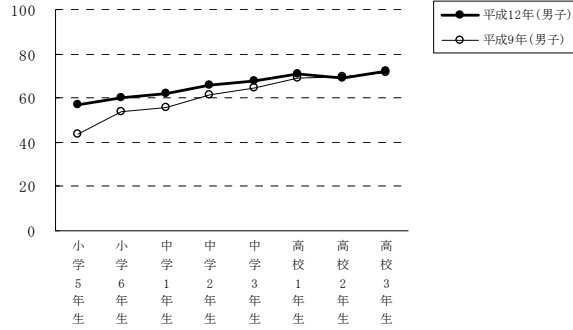


(%)



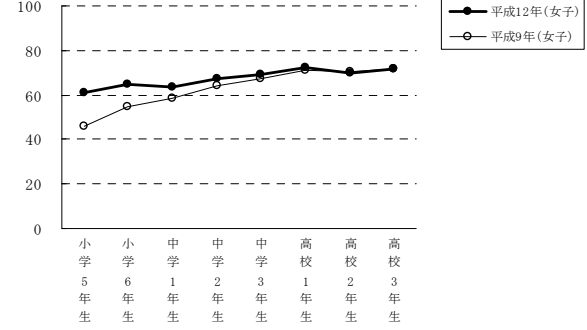
### 男子

#### (%) 身体に対する慢性中毒

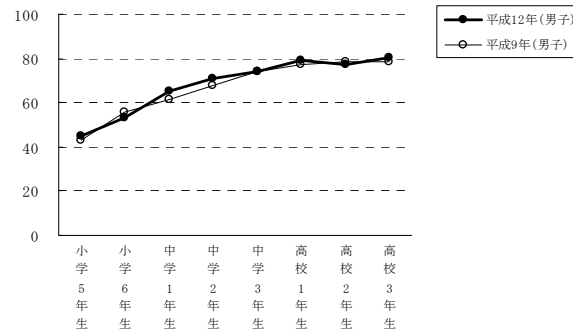


### 女子

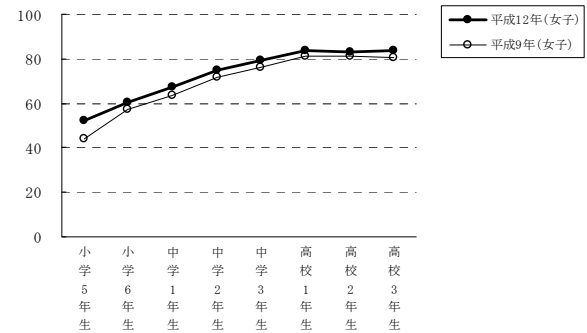
#### (%)



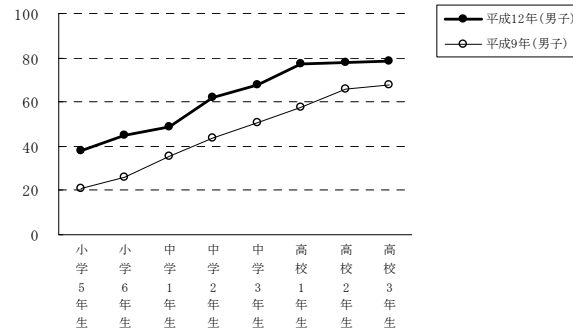
#### (%) 精神に対する慢性中毒



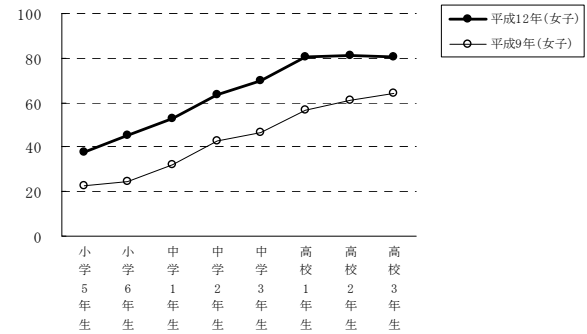
#### (%)



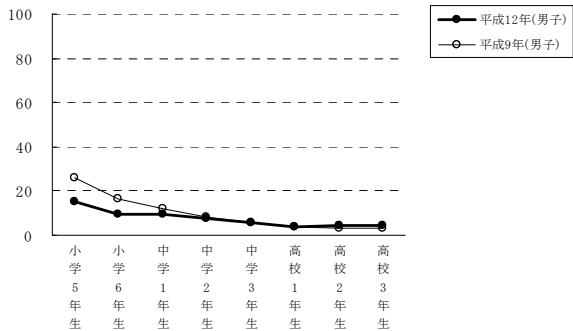
#### (%) フラッシュバック



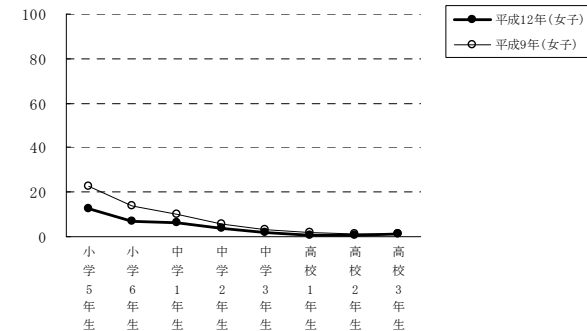
#### (%)



#### (%) 知らなかった



#### (%)





(質問22で「1」から「7」までのいずれかに○をつけた人だけお答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問23 あなたは、そのことをどこで知りましたか。(いくつかある場合には、すべての番号に○をつけてください。)

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1 学校の授業   | 2 友達、仲間、先輩、後輩 |
| 3 家族      | 4 ポスター、パンフレット |
| 5 本、雑誌    | 6 新聞          |
| 7 テレビ     | 8 ラジオ         |
| 9 インターネット | 10 CD-ROM     |
| 11 その他    |               |

表1-2-23 薬物使用による影響を知った方法(複数回答)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 学校の授業 (%)	18.6	18.7	27.9	28.3	43.1	43.9	58.5	60.3	66.0	67.8
2. 友達、仲間、先輩、後輩 (%)	6.1	5.2	6.7	6.9	9.2	9.2	10.3	9.4	12.2	11.1
3. 家族 (%)	29.4	33.4	25.2	29.9	20.4	23.5	17.7	18.8	13.4	15.2
4. ポスター、パンフレット (%)	7.3	8.3	10.9	11.1	15.1	15.7	20.5	21.3	21.4	21.8
5. 本、雑誌 (%)	21.3	20.9	24.8	26.3	27.5	28.6	30.2	31.7	31.3	31.4
6. 新聞 (%)	28.7	26.0	28.3	25.5	28.9	22.0	26.0	17.4	25.4	16.7
7. テレビ (%)	77.4	79.5	80.5	78.8	77.9	74.4	75.2	69.3	75.5	69.6
8. ラジオ (%)	7.5	6.2	7.0	5.6	6.5	4.4	6.1	2.5	5.4	3.2
9. インターネット (%)	2.3	1.5	1.5	1.0	2.5	1.4	2.7	0.7	2.4	0.8
10. CD-ROM (%)	0.4	0.4	0.4	0.1	0.5	0.3	0.7	0.1	0.6	0.2
11. その他 (%)	7.0	5.4	5.3	4.0	4.1	3.2	4.4	2.5	4.1	2.6
無回答者数	69	42	46	16	28	18	29	19	26	21
回答者数	3457	3386	3757	3786	4111	4119	4208	4139	4271	4314

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 学校の授業 (%)	90.0	93.3	86.9	90.8	81.8	85.9
2. 友達、仲間、先輩、後輩 (%)	13.0	9.2	15.8	9.6	18.3	10.3
3. 家族 (%)	9.2	9.1	9.1	8.1	10.8	9.0
4. ポスター、パンフレット (%)	21.7	21.9	23.0	21.8	23.1	22.3
5. 本、雑誌 (%)	26.7	24.4	32.5	25.7	39.1	28.3
6. 新聞 (%)	19.5	12.5	22.7	12.5	28.0	17.7
7. テレビ (%)	63.2	57.3	68.8	63.1	74.9	68.9
8. ラジオ (%)	4.1	2.2	4.7	1.6	6.0	2.0
9. インターネット (%)	1.9	0.8	2.5	0.5	2.8	0.6
10. CD-ROM (%)	0.4	0.1	0.5	0.1	0.6	0.1
11. その他 (%)	3.6	2.4	3.7	2.0	4.4	2.6
無回答者数	19	11	14	9	23	13
回答者数	4935	5057	4774	4849	4573	4753

「あなたは、そのことをどこで知りましたか。」の設問では、小学生・中学生においては「テレビ」と回答した比率が最も高くなっているが、高校生においては「学校の授業」と回答した比率が最も高くなっている(テレビ:小5男子 77.4%・小5女子 79.5%、中2男子 75.2%・中2女子 69.3%、高2男子 68.8%・高2女子 63.1%)。(学校の授業:小5男子 18.6%・小5女子 18.7%、中2男子 58.5%・中2女子 60.3%、高2男子 86.9%・高2女子 90.8%)。

「家族」と回答した比率は、学年が上がるにつれて低くなっている(小5男子 29.4%・

小5女子 33.4%、中2男子 17.7%・中2女子 18.8%、高2男子 9.1%・高2女子 8.1%)。

平成9年調査と比較すると、「学校の授業」と回答した比率が大きく増加し、「新聞」「テレビ」と回答した比率が減少している。

図1-2-23-(1) 薬物使用による影響を知った方法 (男子)

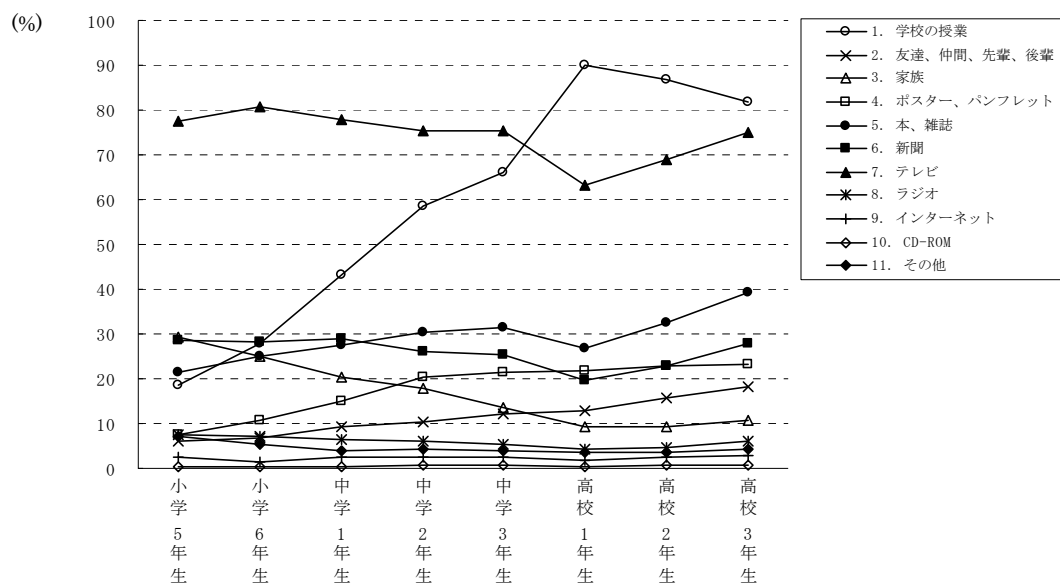
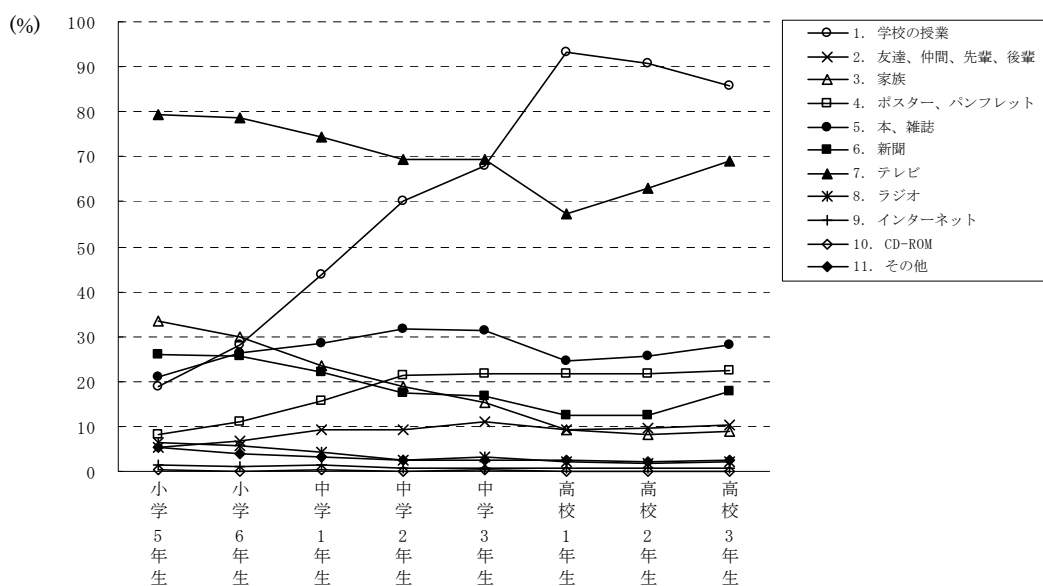
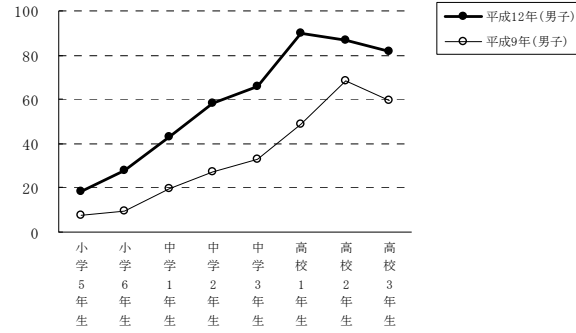


図1-2-23-(2) 薬物使用による影響を知った方法 (女子)



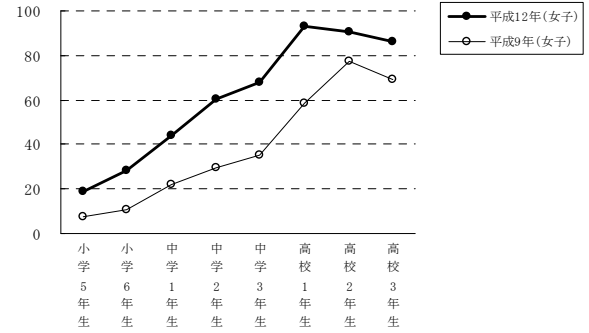
### 男子

#### (%) 学校の授業

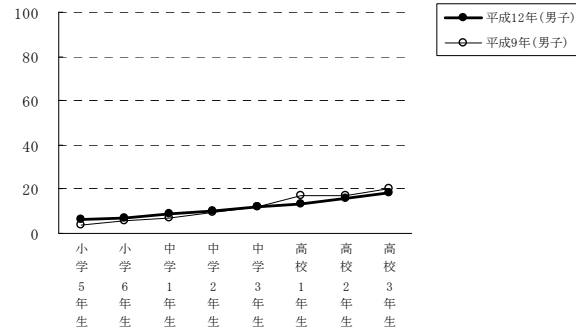


### 女子

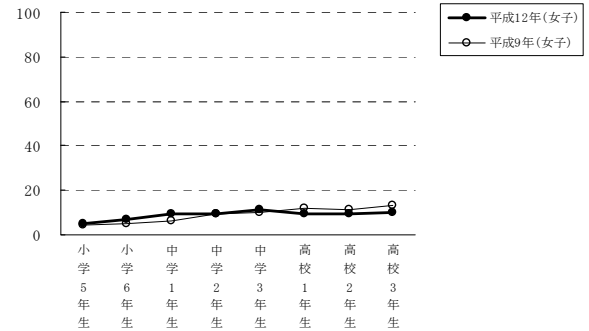
#### (%)



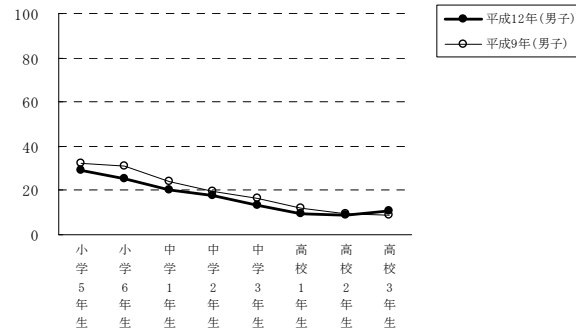
#### (%) 友達、仲間、先輩、後輩



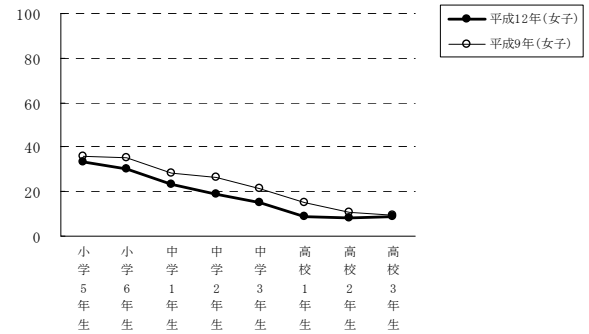
#### (%)



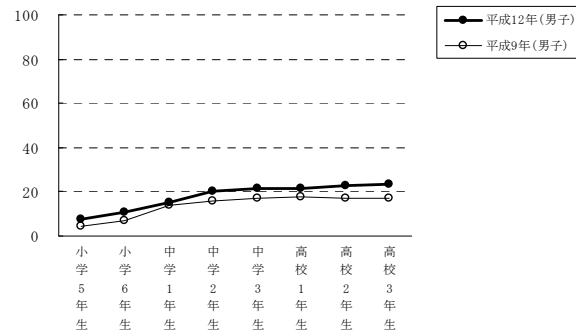
#### (%) 家族



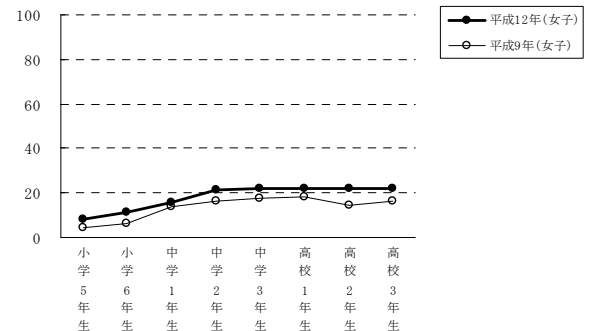
#### (%)



#### (%) ポスター、パンフレット

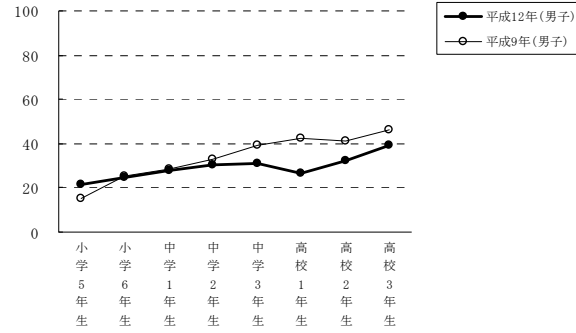


#### (%)



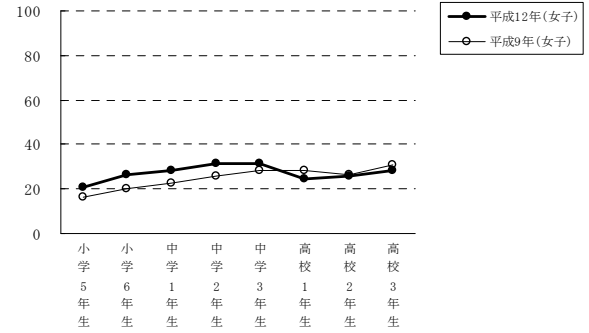
### 男子

#### (%) 本、雑誌

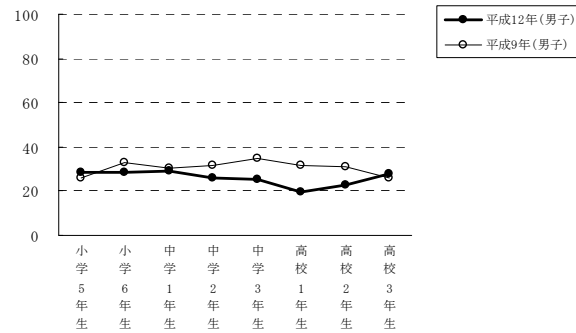


### 女子

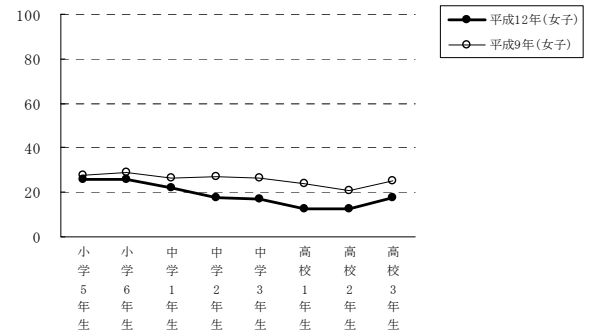
#### (%)



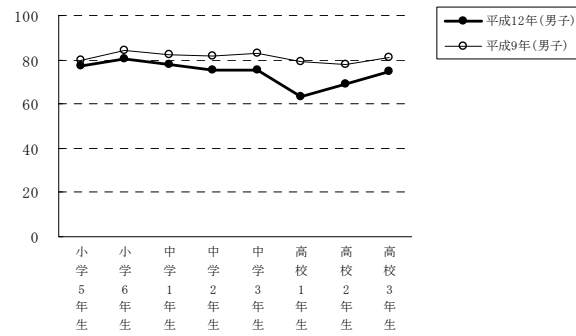
#### (%) 新聞



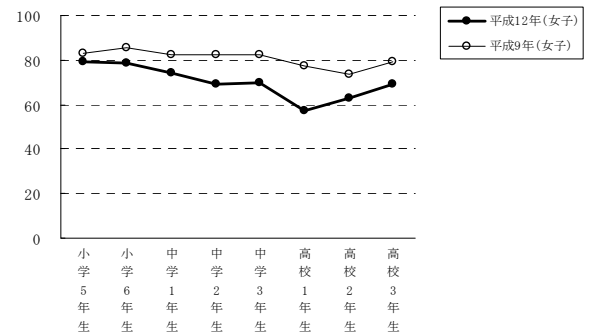
#### (%)



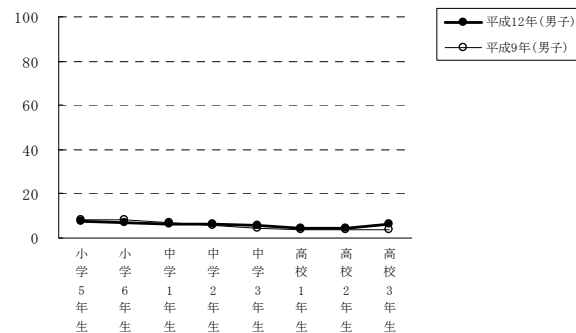
#### (%) テレビ



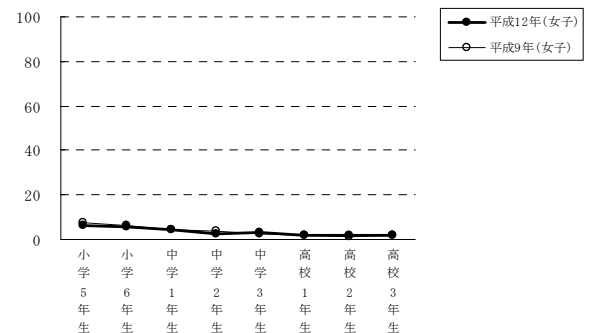
#### (%)



#### (%) ラジオ

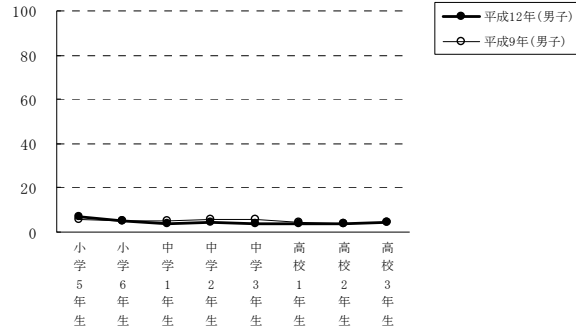


#### (%)



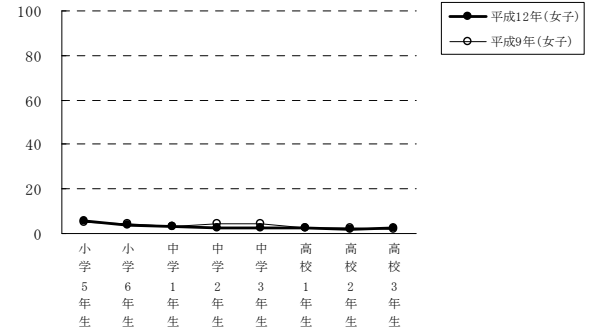
### 男子

(%) その他



### 女子

(%)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問24 あなたは、覚せい剤などの薬物を使うことのこわさ（有害性、危険性）をもっと知りたいですか。（1つに○）

- 1 知りたい                      2 知りたいとは思わない                      3 どちらでもない

表1-2-24 薬物のこわさを知りたいか

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 知りたい (%)	34.3	33.7	35.0	35.1	32.2	31.8	28.3	29.9	26.7	30.4
2. 知りたいとは思わない (%)	43.8	39.5	38.0	32.4	34.5	29.0	33.7	25.9	35.4	24.9
3. どちらでもない (%)	21.3	26.1	25.9	31.8	32.3	38.6	37.2	43.7	37.1	44.3
無回答 (%)	0.6	0.7	1.1	0.7	1.0	0.6	0.7	0.4	0.7	0.4
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 知りたい (%)	23.7	26.3	22.2	24.7	22.7	25.6
2. 知りたいとは思わない (%)	30.4	22.8	30.7	22.3	30.0	23.5
3. どちらでもない (%)	45.3	50.4	46.5	52.6	46.7	50.5
無回答 (%)	0.5	0.5	0.7	0.3	0.6	0.4
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「あなたは、覚せい剤などの薬物を使うことのこわさ（有害性、危険性）をもっと知りたいですか。」との設問では、「知りたい」と回答した比率が、小学5年生から中学3年生までは男女とも30%前後となっているが、高校生では男女とも20%台である（小5男子34.3%・小5女子33.7%、中2男子28.3%・中2女子29.9%、高2男子22.2%・高2女子24.7%）。

一方「知りたいとは思わない」と回答した比率は、男女とも学年が上がるにつれて低くなっている（小5男子43.8%・小5女子39.5%、中2男子33.7%・中2女子25.9%、高2男子30.7%・高2女子22.3%）。

また、「どちらでもない」と回答した比率は、男女とも学年が上がるにつれて高くなる傾向にある（小5男子21.3%・小5女子26.1%、中2男子37.2%・中2女子43.7%、高2男子46.5%・高2女子52.6%）。

平成9年調査と比較すると、中学3年生以上では「知りたいとは思わない」と回答した比率が増加している。

図1-2-24-(1) 薬物のこわさを知りたいか (男子)

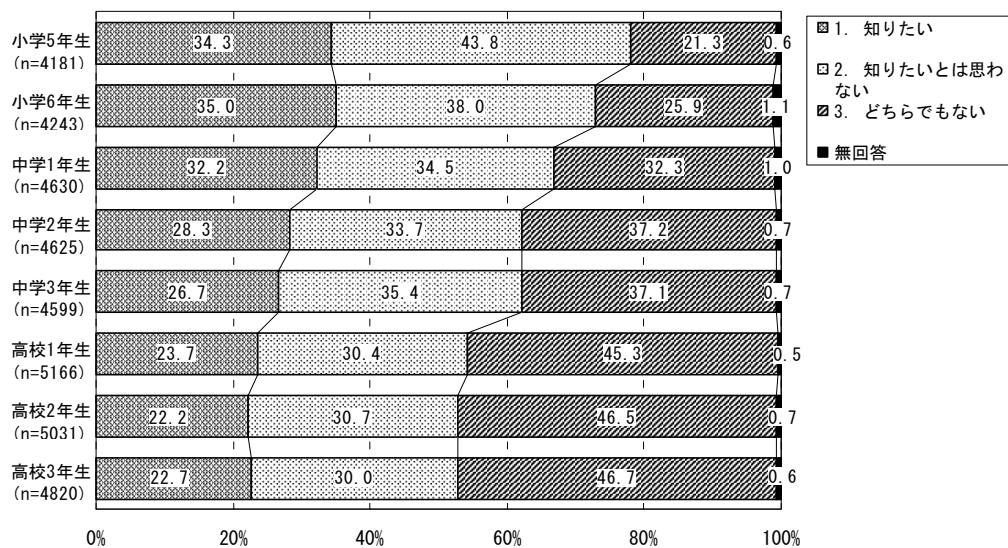
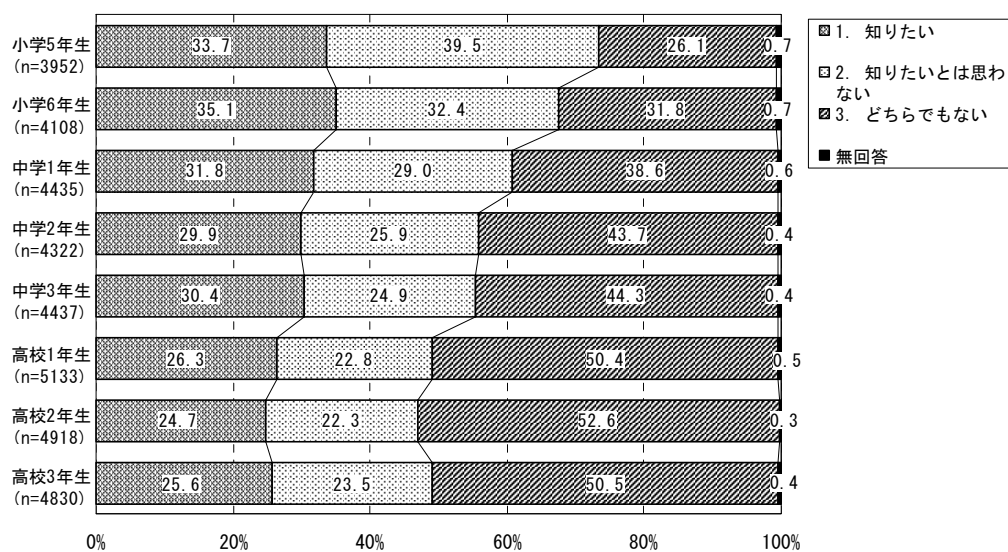


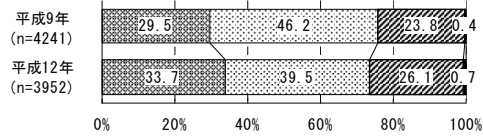
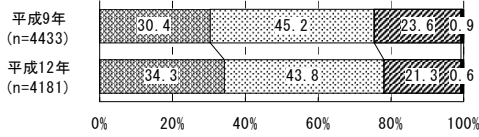
図1-2-24-(2) 薬物のこわさを知りたいか (女子)



男子

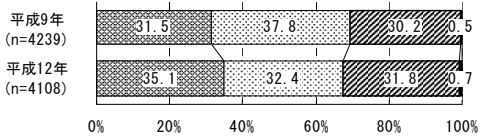
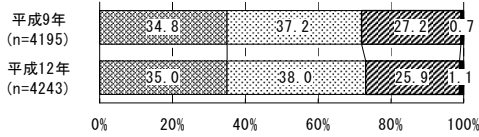
女子

小学 5 年生



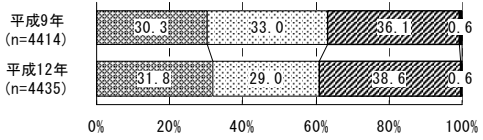
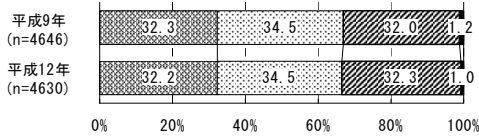
□1. 知りたい  
□2. 知りたいとは思わない  
▨3. どちらでもない  
■無回答

小学 6 年生



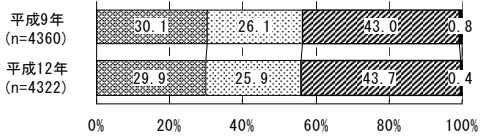
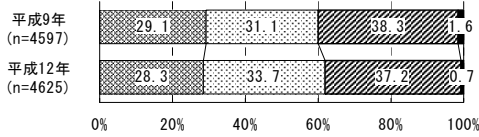
□1. 知りたい  
□2. 知りたいとは思わない  
▨3. どちらでもない  
■無回答

中学 1 年生



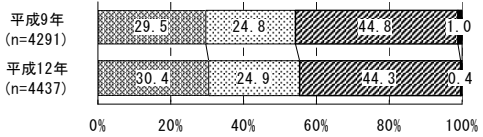
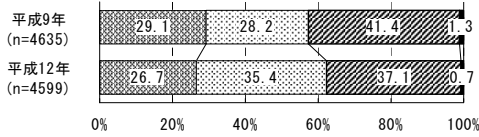
□1. 知りたい  
□2. 知りたいとは思わない  
▨3. どちらでもない  
■無回答

中学 2 年生



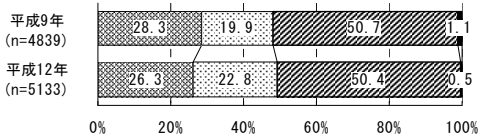
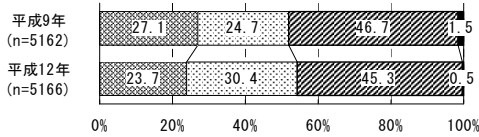
□1. 知りたい  
□2. 知りたいとは思わない  
▨3. どちらでもない  
■無回答

中学 3 年生



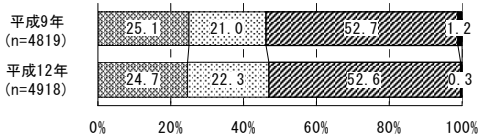
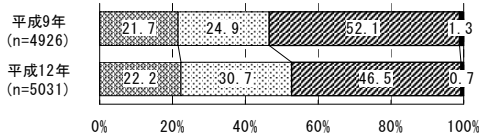
□1. 知りたい  
□2. 知りたいとは思わない  
▨3. どちらでもない  
■無回答

高校 1 年生



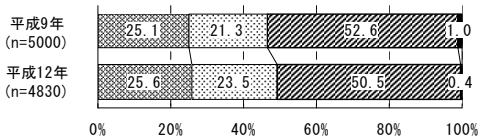
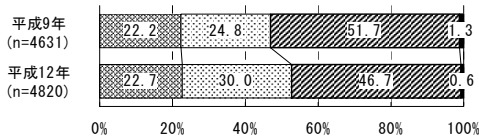
□1. 知りたい  
□2. 知りたいとは思わない  
▨3. どちらでもない  
■無回答

高校 2 年生



□1. 知りたい  
□2. 知りたいとは思わない  
▨3. どちらでもない  
■無回答

高校 3 年生



□1. 知りたい  
□2. 知りたいとは思わない  
▨3. どちらでもない  
■無回答



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問25 あなたは、覚せい剤などの薬物を使った場合の心や体への害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(いくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| 1 学校                    | 2 家庭  |
| 3 地域の活動(子ども会、ボーイスカウトなど) |       |
| 4 図書館、公民館               | 5 保健所 |
| 6 警察                    | 7 病院  |
| 8 インターネット               | 9 その他 |
| 10 特にない                 |       |

表1-2-25 薬物への影響についての学習場所(複数回答)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 学校 (%)	36.7	46.4	46.6	54.8	53.1	60.3	58.2	64.3	61.7	69.4
2. 家庭 (%)	26.5	33.6	26.9	33.4	20.6	22.8	19.0	20.9	17.5	18.9
3. 地域の活動(子ども会、ボーイスカウトなど) (%)	11.7	12.1	11.3	11.3	8.6	6.1	7.1	5.1	7.1	5.6
4. 図書館、公民館 (%)	20.9	22.9	18.9	19.7	16.8	13.6	12.6	11.0	11.1	8.9
5. 保健所 (%)	16.9	14.7	15.4	13.3	12.9	11.8	11.3	9.3	10.7	9.0
6. 警察 (%)	35.3	32.9	36.6	33.3	35.4	29.2	32.9	26.5	33.0	25.8
7. 病院 (%)	34.8	37.7	38.0	41.3	32.4	32.9	29.4	29.3	29.7	27.6
8. インターネット (%)	12.2	10.7	11.8	10.9	12.0	11.4	10.8	9.7	10.4	9.9
9. その他 (%)	4.8	3.5	3.9	3.1	4.2	3.3	3.7	3.5	4.1	3.0
10. 特にない (%)	16.1	10.7	12.1	8.5	12.9	10.2	13.6	10.8	12.8	9.6
無回答者数	66	36	65	45	34	22	37	12	27	14
回答者数	4115	3916	4178	4063	4596	4413	4588	4310	4572	4423

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 学校 (%)	69.0	76.4	68.3	76.1	67.5	77.0
2. 家庭 (%)	15.6	16.4	16.0	17.1	20.4	20.8
3. 地域の活動(子ども会、ボーイスカウトなど) (%)	7.4	4.6	7.4	4.7	9.8	6.8
4. 図書館、公民館 (%)	7.7	6.7	6.9	5.4	8.0	6.4
5. 保健所 (%)	8.9	7.6	8.5	6.5	10.1	7.9
6. 警察 (%)	26.0	20.8	24.7	18.4	24.5	19.1
7. 病院 (%)	22.6	22.3	22.2	20.5	23.9	23.2
8. インターネット (%)	9.0	7.6	8.7	6.5	10.8	8.8
9. その他 (%)	3.4	2.1	4.5	2.4	5.5	3.1
10. 特にない (%)	12.3	9.7	13.3	9.8	12.4	8.3
無回答者数	34	29	38	15	33	27
回答者数	5132	5104	4993	4903	4787	4803

「あなたは、覚せい剤などの薬物を使った場合の心や体への害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても、「学校」と回答した比率が最も高くなっている(小5男子 36.7%・小5女子 46.4%、中2男子 58.2%・中2女子 64.3%、高2男子 68.3%・高2女子 76.1%)。

また、「学校」「家庭」と回答した比率はいずれの学校種・学年においても男子より女子の方が高く、「警察」と回答した比率はいずれの学校種・学年においても女子より男子の方

が高くなっている（家庭：小5男子 26.5%・小5女子 33.6%、中2男子 19.0%・中2女子 20.9%、高2男子 16.0%・高2女子 17.1%）（警察：小5男子 35.3%・小5女子 32.9%、中2男子 32.9%・中2女子 26.5%、高2男子 24.7%・高2女子 18.4%）。

平成9年調査と比較すると、「学校」「家庭」と回答した比率が高くなっている。

図1-2-25-(1) 薬物への影響についての学習場所（男子）

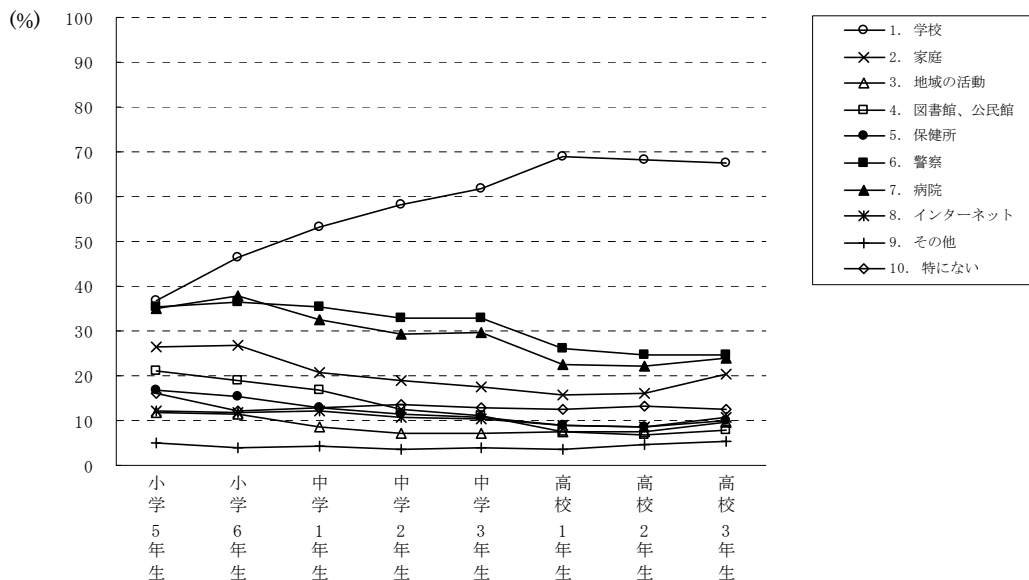
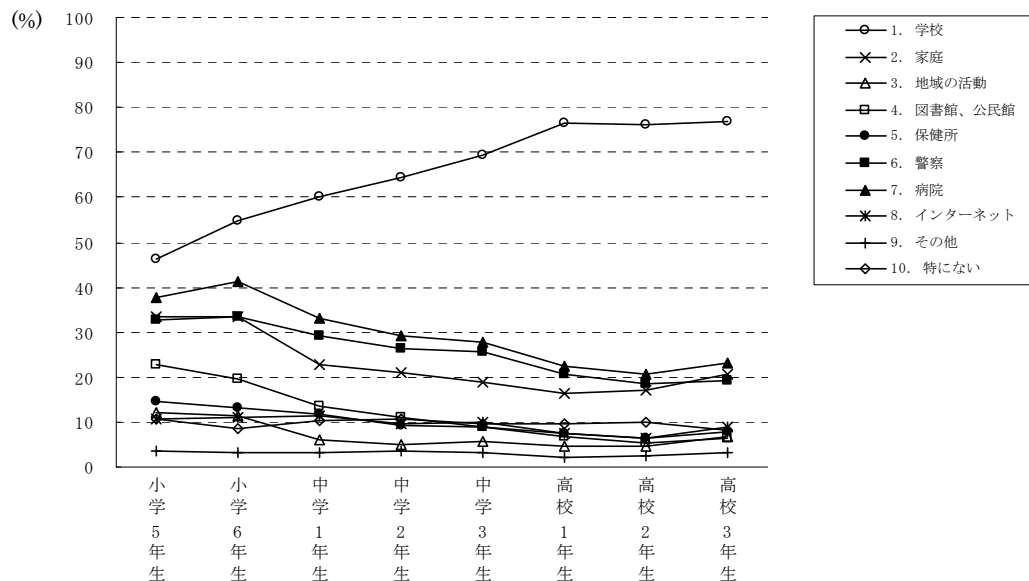
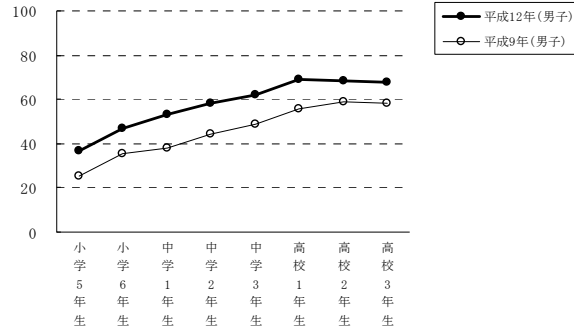


図1-2-25-(2) 薬物への影響についての学習場所（女子）



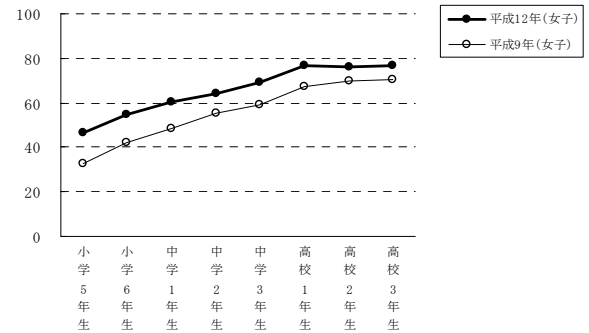
## 男子

### (%) 学校

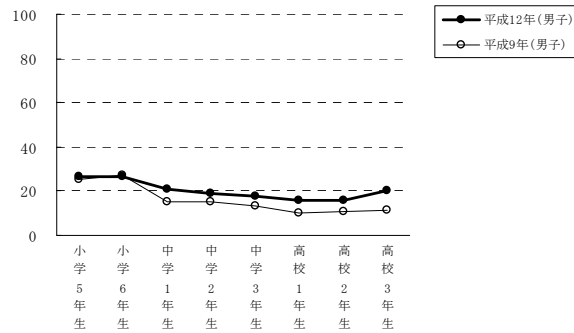


## 女子

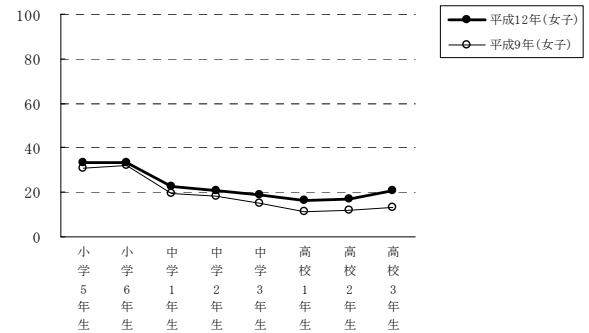
### (%)



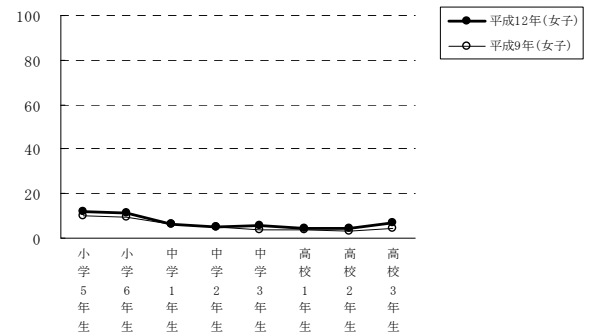
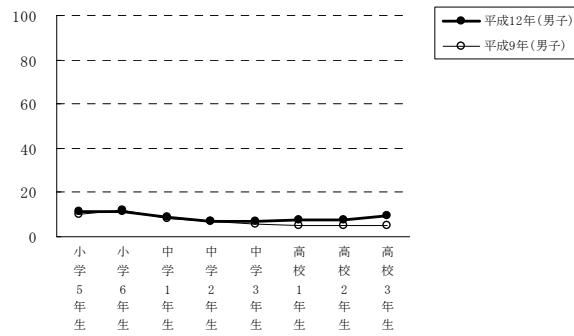
### (%) 家庭



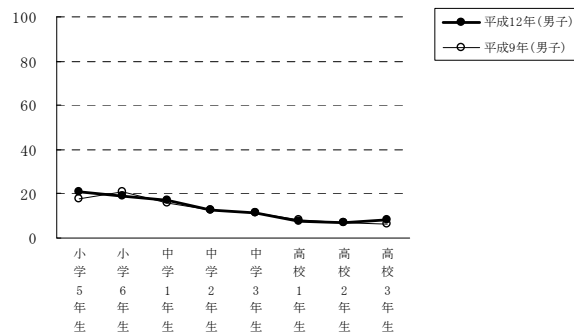
### (%)



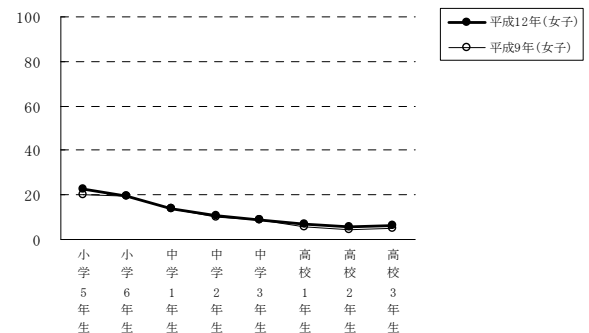
### (%) 地域の活動（子供会、ボーイスカウトなど）(%)



### (%) 図書館、公民館

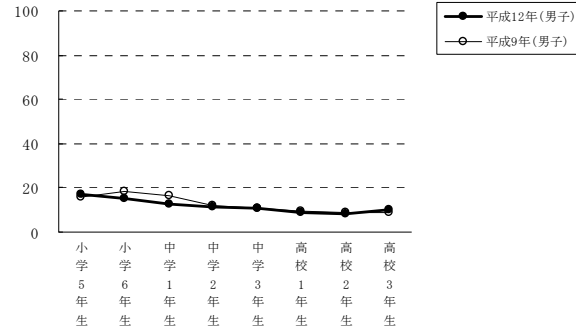


### (%)



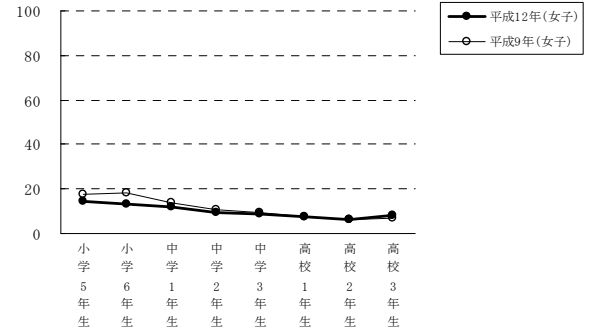
## 男子

### (%) 保健所

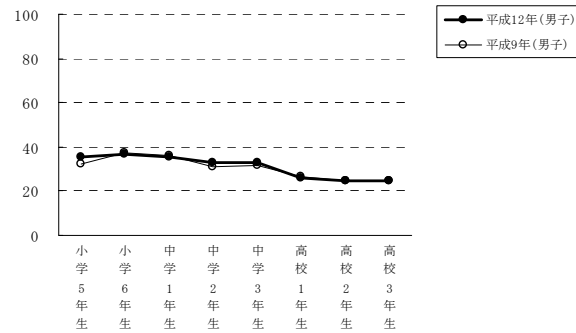


## 女子

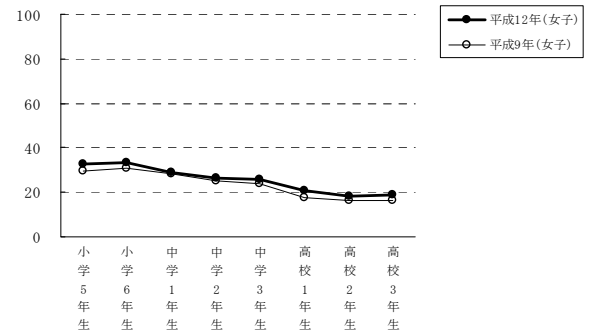
### (%)



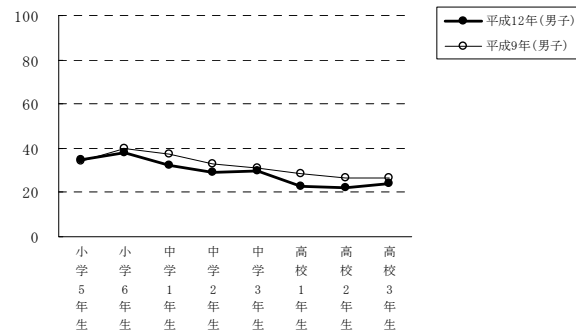
### (%) 警察



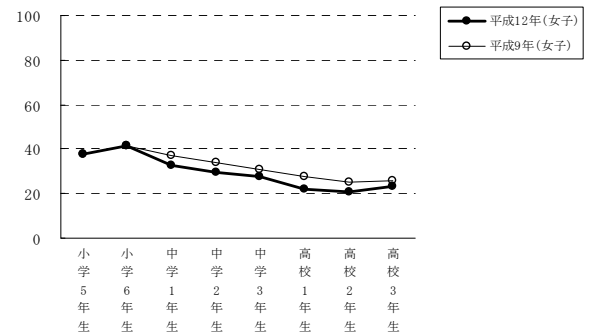
### (%)



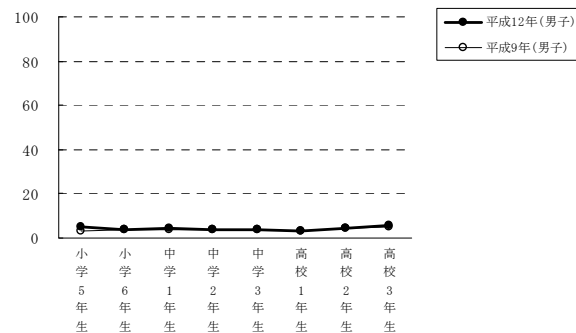
### (%) 病院



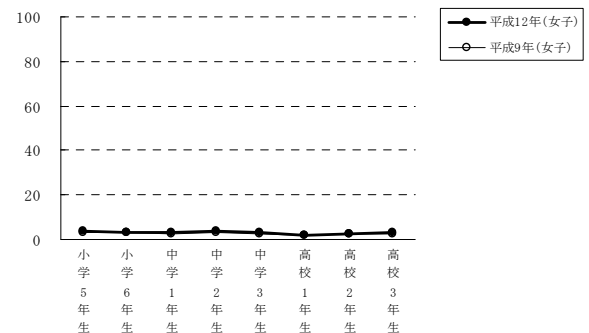
### (%)



### (%) その他

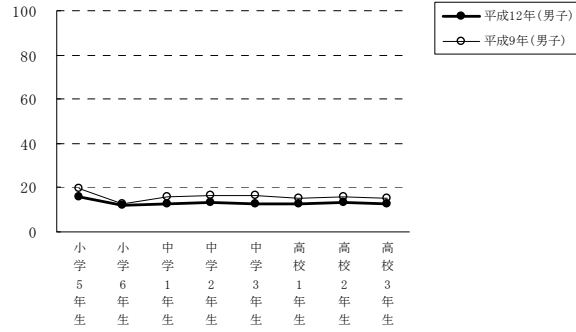


### (%)



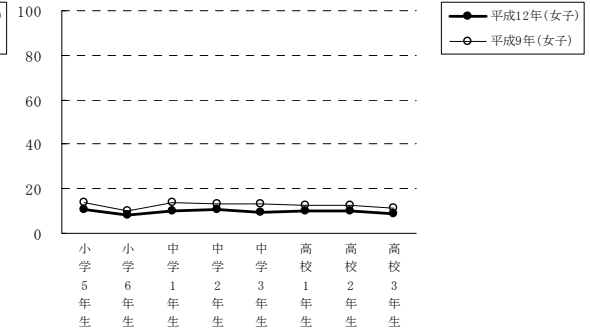
### 男子

(%) 特にない



### 女子

(%)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問26 あなたは、覚せい剤などの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。(理由と思われるものがいくつかある場合には、そのすべての番号に○をつけてください。)

- 1 薬物が簡単に手に入るようになっている
- 2 本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている
- 3 社会のルールを守ろうとする意識が薄れている
- 4 薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない
- 5 簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)についての誤った情報があふれている
- 6 薬物の害について学ぶことが少ない
- 7 友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる
- 8 学校や家庭がおもしろくない
- 9 わからない

表1-2-26 薬物乱用の理由(複数回答)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 薬物が簡単に手に入るようになっている (%)	60.6	66.0	67.3	74.6	68.8	76.6	71.1	77.2	73.6	79.3
2. 本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている (%)	28.2	33.4	29.2	32.2	24.6	28.9	22.5	25.8	21.2	24.1
3. 社会のルールを守ろうとする意識が薄れている (%)	50.6	51.5	50.5	48.9	36.2	30.6	32.8	26.7	30.3	22.9
4. 薬物を使っても全ての人が警察に見つかるわけではない (%)	41.6	41.7	45.1	46.3	37.2	39.5	36.0	37.8	35.5	35.5
5. 簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)についての誤った情報があふれている (%)	43.9	48.0	51.2	56.9	47.6	55.8	50.1	60.6	50.5	61.0
6. 薬物の害について学ぶことが少ない (%)	36.0	39.9	43.5	44.2	33.9	36.8	31.2	31.7	29.2	31.1
7. 友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる (%)	31.5	37.6	37.9	42.2	32.5	38.1	34.4	38.6	36.1	41.3
8. 学校や家庭がおもしろくない (%)	26.6	34.0	29.1	38.3	27.6	38.2	30.3	39.4	33.6	42.7
9. わからない (%)	14.6	10.5	9.6	7.2	11.8	6.9	10.9	6.0	8.8	4.6
無回答者数	63	29	60	38	28	26	25	15	32	9
回答者数	4118	3923	4183	4070	4602	4409	4600	4307	4567	4428

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. 薬物が簡単に手に入るようになっている (%)	76.5	81.3	76.6	81.1	77.6	82.1
2. 本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている (%)	18.9	19.6	18.8	19.9	22.3	22.8
3. 社会のルールを守ろうとする意識が薄れている (%)	25.2	19.9	24.4	17.9	26.6	18.4
4. 薬物を使っても全ての人が警察に見つかるわけではない (%)	34.0	31.3	33.2	30.5	34.5	30.6
5. 簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことのこわさ(有害性、危険性)についての誤った情報があふれている (%)	49.9	60.1	48.0	58.5	47.6	61.0
6. 薬物の害について学ぶことが少ない (%)	22.5	21.7	20.7	21.2	25.5	25.1
7. 友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる (%)	34.8	38.1	33.6	35.1	37.2	37.3
8. 学校や家庭がおもしろくない (%)	35.6	44.8	37.4	43.0	36.7	41.4
9. わからない (%)	8.0	3.8	8.6	4.2	7.8	3.6
無回答者数	30	24	33	15	40	13
回答者数	5136	5109	4998	4903	4780	4817

「あなたは、覚せい剤などの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても、男女とも「薬物が簡単に入るようになっている」と回答した比率が最も高く、学年が上がるにつれてその比率は高まっている（小5男子 60.6%・小5女子 66.0%、中2男子 71.1%・中2女子 77.2%、高2男子 76.6%・高2女子 81.1%）。

ついで、小学5年生を除きいずれの学校種・学年においても「簡単にやせられるとか、1回使っただけでは心や体に害がないなど、薬物を使うことのこわさ（有害性、危険性）についての誤った情報があふれている」と回答した比率が高くなっている（小5男子 43.9%・小5女子 48.0%、中2男子 50.1%・中2女子 60.6%、高2男子 48.0%・高2女子 58.5%）。

一方、「社会のルールを守ろうとする意識が薄れている」と回答した比率は学年が上がるにつれて低くなっている（小5男子 50.6%・小5女子 51.5%、中2男子 32.8%・中2女子 26.7%、高2男子 24.4%・高2女子 17.9%）。

また、「本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている」「友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる」「学校や家庭がおもしろくない」と回答した比率はいずれの学校種・学年においても男子より女子の方が高い。

図1-2-26-(1) 薬物乱用の理由(男子)

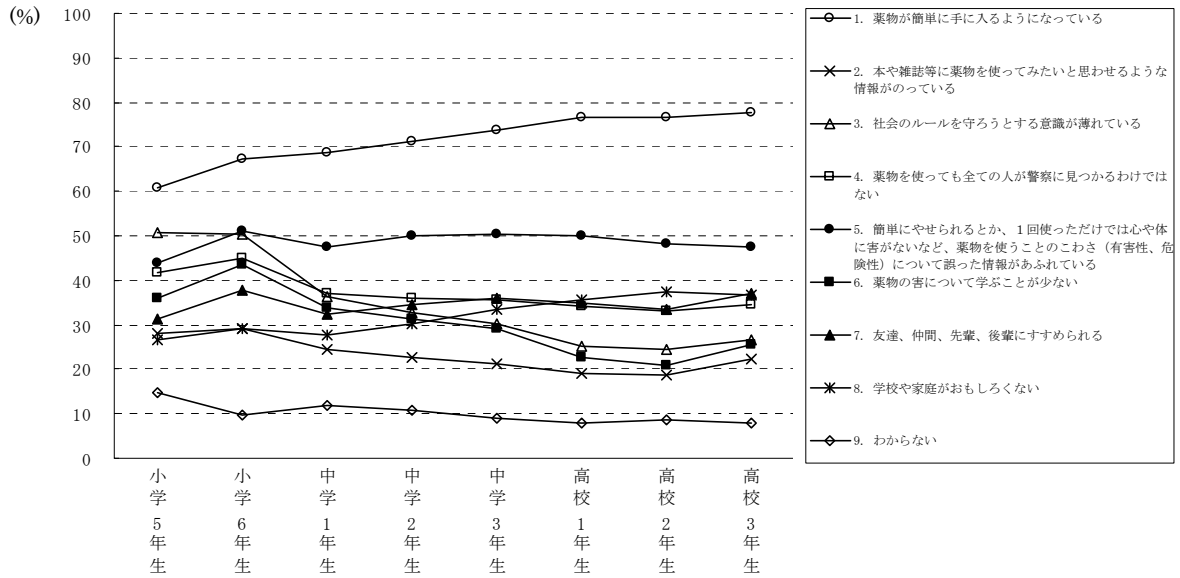
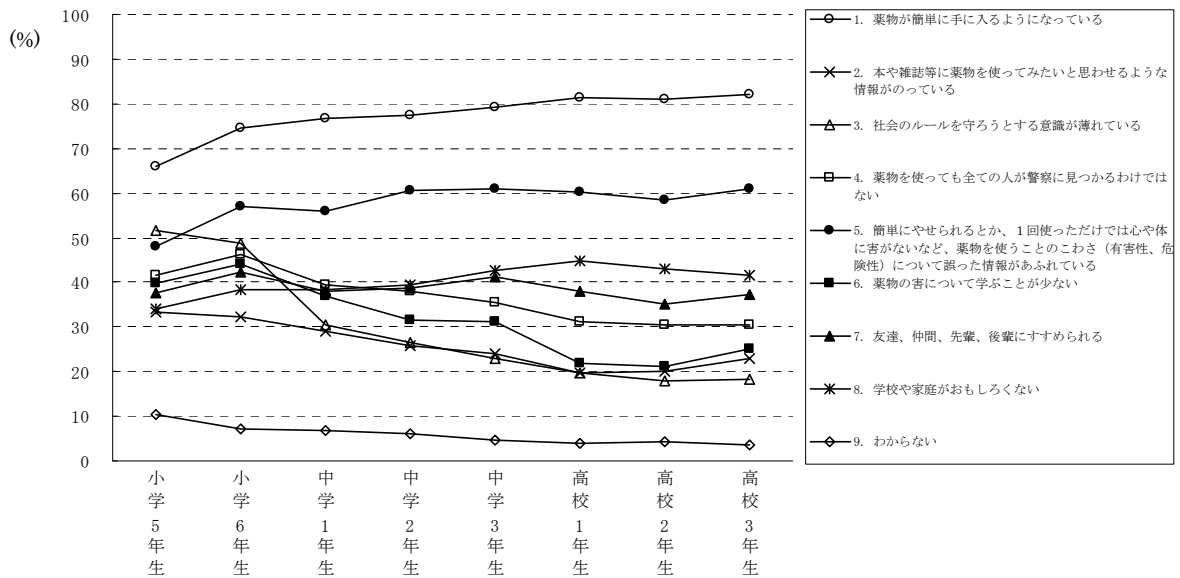


図1-2-26-(2) 薬物乱用の理由(女子)

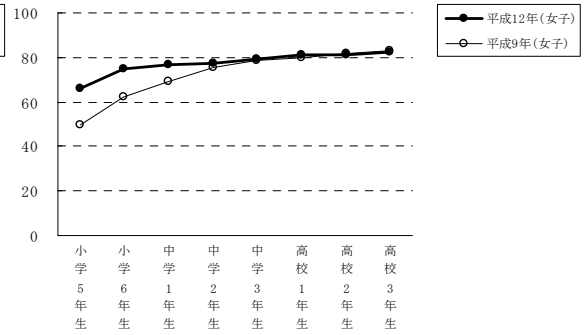
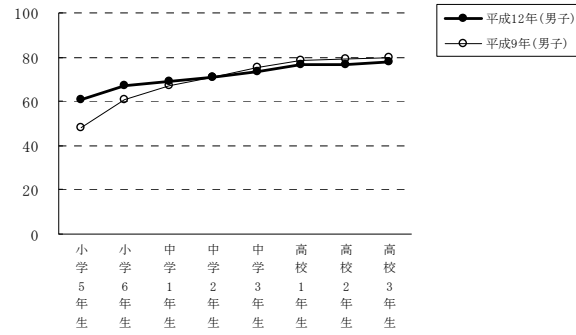




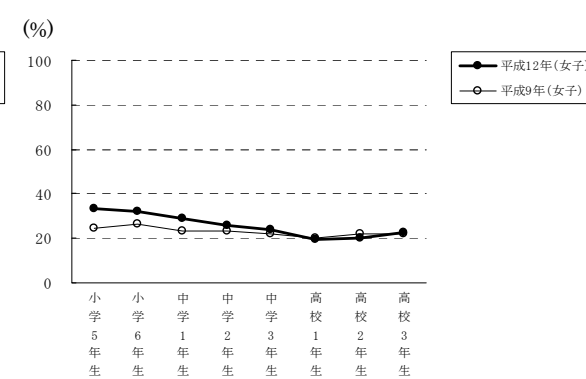
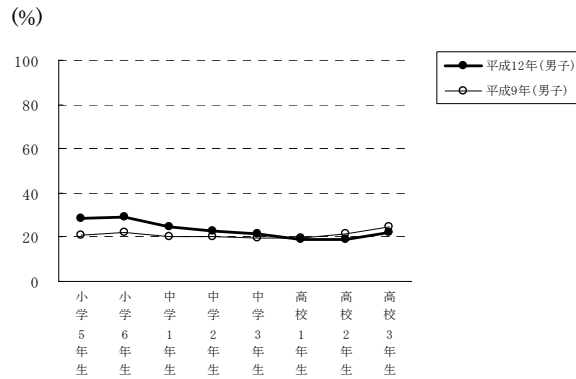
## 男子

## 女子

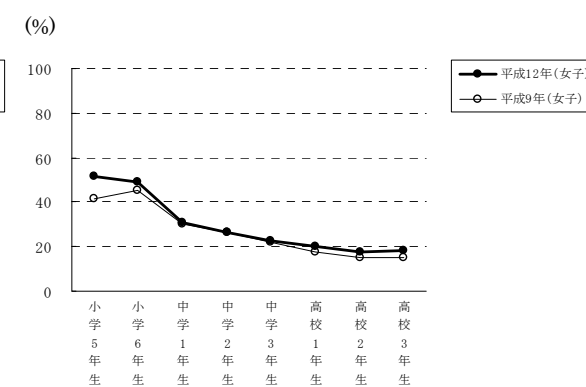
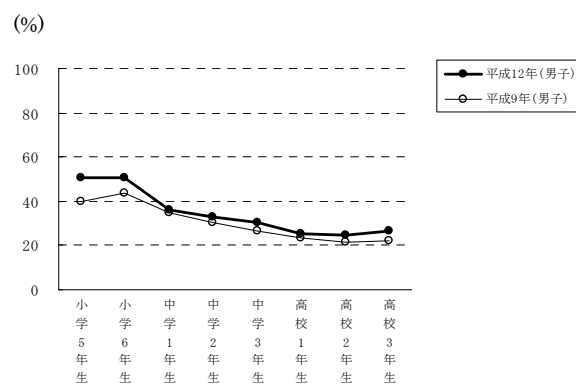
(%) 薬物が簡単に手に入るようになっている (%)



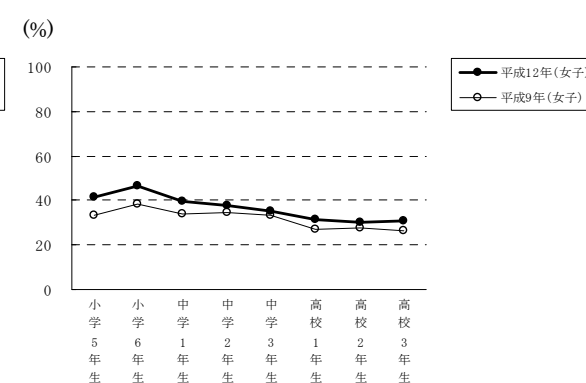
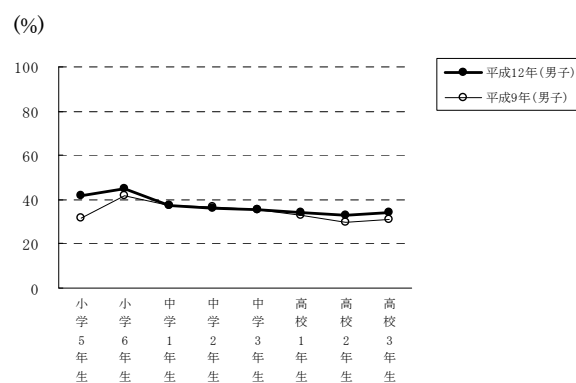
本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている



社会のルールを守ろうとする意識が薄れている



薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない

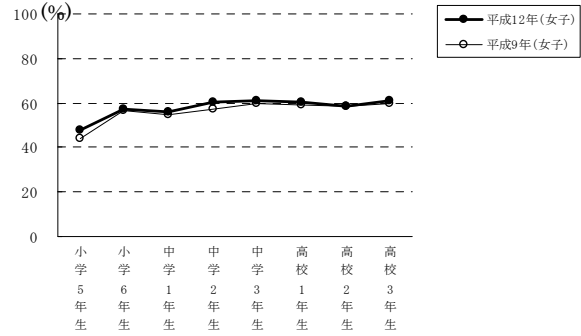
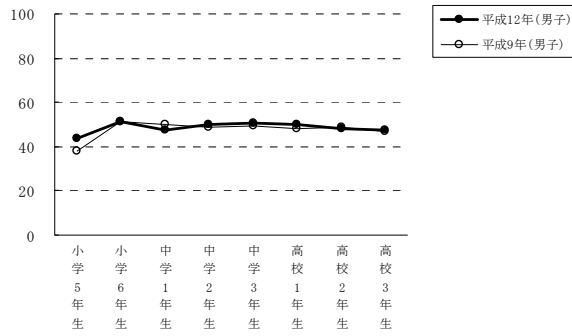


男子

女子

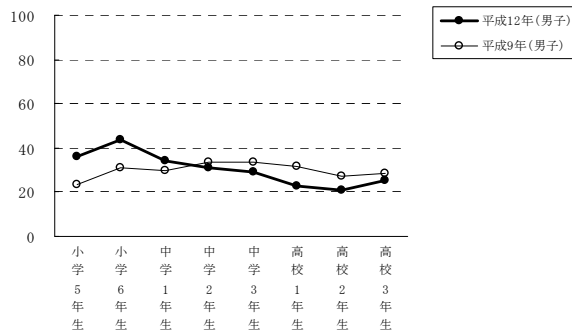
薬物を使うことのこわさ（有害性、危険性）についての誤った情報があふれている

(%)

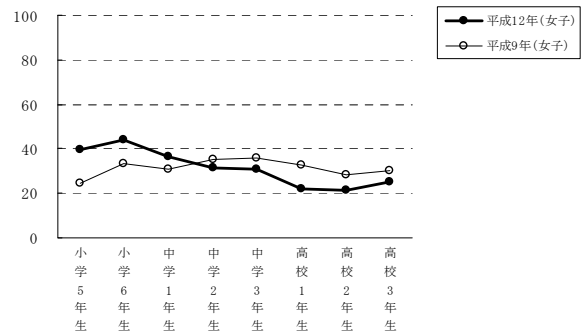


(%)

薬物の害について学ぶことが少ない

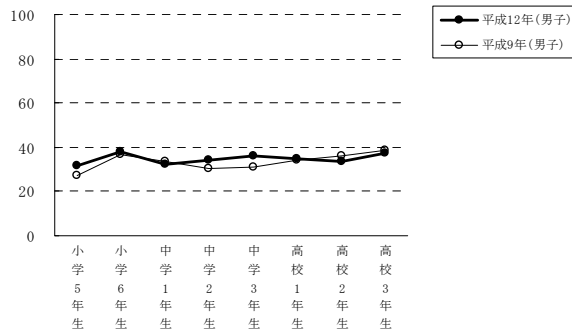


(%)

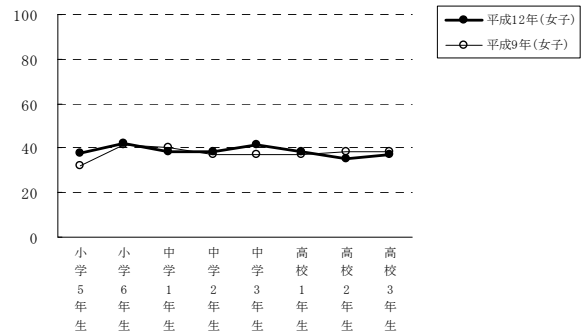


(%)

友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる

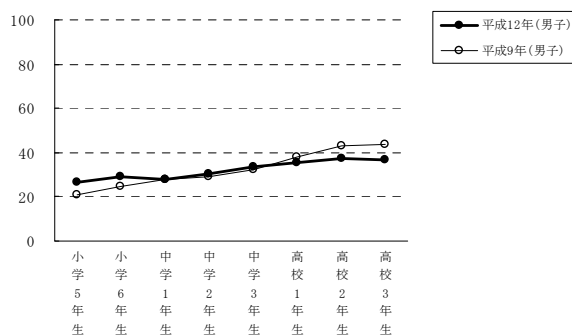


(%)

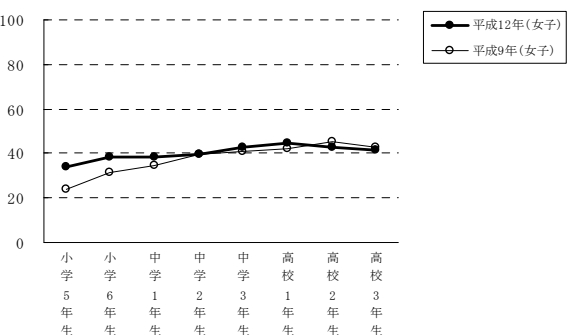


(%)

学校や家庭がおもしろくない

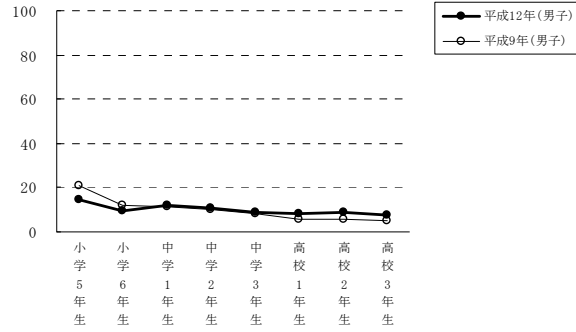


(%)



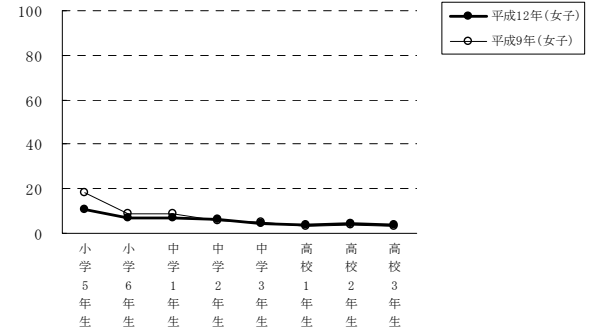
### 男子

(%) わからない



### 女子

(%)



(全員お答えください。)

【覚せい剤等の薬物】

質問27 あなたは、覚せい剤などの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(あなたの考えにあてはまるもの一つだけに○をつけてください。)

- 1 どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない
- 2 1回くらいなら心や体へ害がないので、使ってもかまわない
- 3 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である
- 4 その他

表1-2-27 薬物についての考え方

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない (%)	87.8	90.4	89.2	91.9	86.2	87.0	83.0	85.4	82.5	85.9
2. 1回くらいなら心や体へ害がないので、使ってもかまわない (%)	1.6	0.8	0.8	0.6	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	0.9
3. 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である (%)	3.2	2.8	4.1	3.4	6.5	6.6	9.1	8.2	9.2	7.9
4. その他 (%)	5.7	5.0	4.2	3.0	5.5	4.6	6.0	4.8	6.3	4.9
無回答 (%)	1.8	1.1	1.6	1.1	0.7	0.7	0.7	0.5	0.8	0.4
有効回答数	4181	3952	4243	4108	4630	4435	4625	4322	4599	4437

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
1. どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない (%)	79.4	86.9	76.9	85.6	74.5	87.2
2. 1回くらいなら心や体へ害がないので、使ってもかまわない (%)	1.1	0.6	1.2	0.7	1.2	0.6
3. 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である (%)	10.7	6.4	11.5	7.4	13.0	7.0
4. その他 (%)	8.0	5.5	9.6	5.9	10.6	4.8
無回答 (%)	0.7	0.6	0.9	0.4	0.7	0.5
有効回答数	5166	5133	5031	4918	4820	4830

「あなたは、覚せい剤などの薬物を使うことについてどのように考えていますか。」との設問では、いずれの学校種・学年においても、男女とも「どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない」と回答した比率が最も高いが、その比率は学年が上がるにつれて低くなる傾向がある(小5男子 87.8%・小5女子 90.4%、中2男子 83.0%・中2女子 85.4%、高2男子 76.9%・高2女子 85.6%)。

また、「他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である」と回答した比率は、男女とも学年が上がるにつれて高くなる傾向があり、その傾向は特に男子において顕著である(小5男子 3.2%・小5女子 2.8%、中2男子 9.1%・中2女子 8.2%、高2男子 11.5%・高2女子 7.4%)。

平成9年度調査と比較すると、いずれの学校種・学年においても、男女とも「どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない」と回答した比率が概ね高まっている。

また、「他人に迷惑をかけていないので使うかどうかは個人の自由である」と回答した比率は高校においては低下している。

図1-2-27-(1) 薬物についての考え方 (男子)

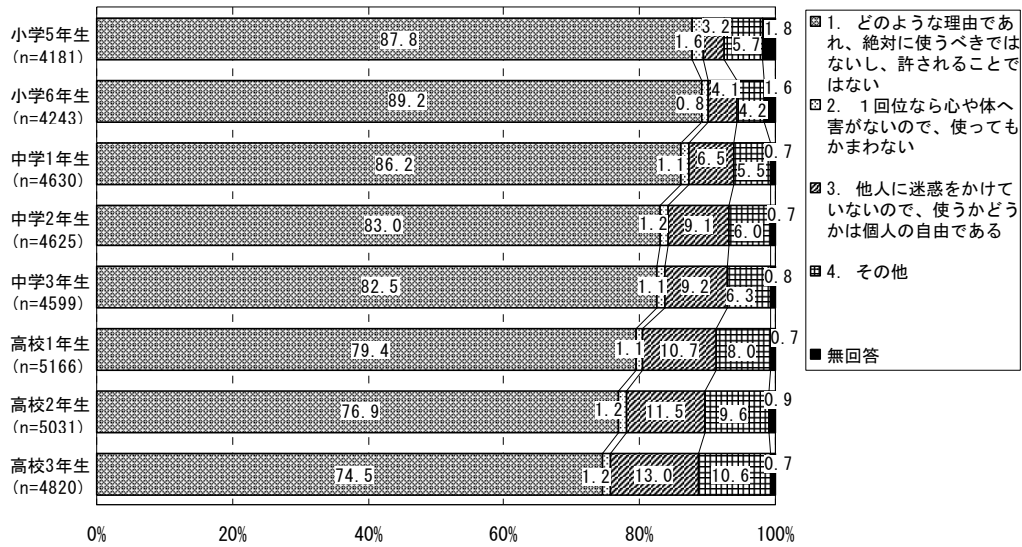
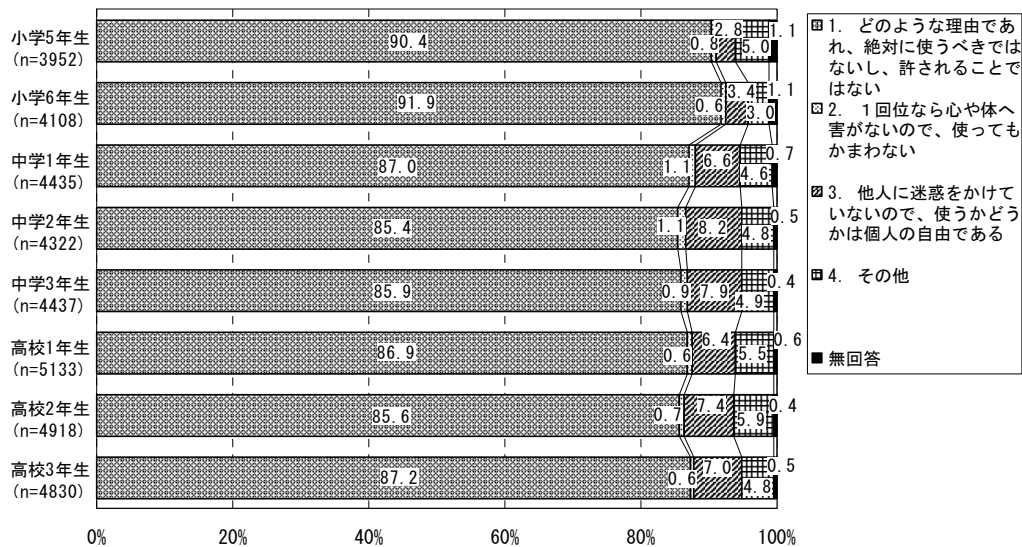


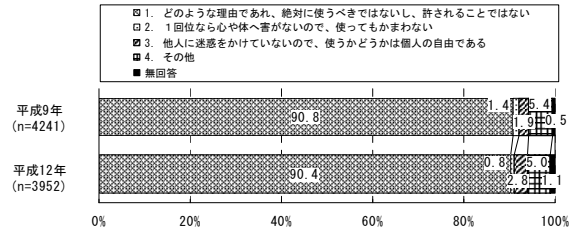
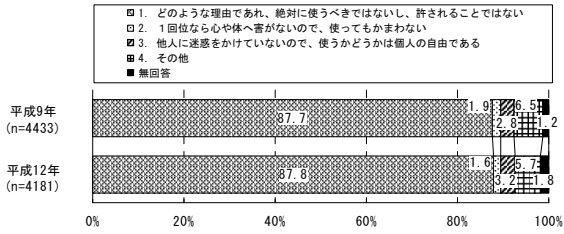
図1-2-27-(2) 薬物についての考え方 (女子)



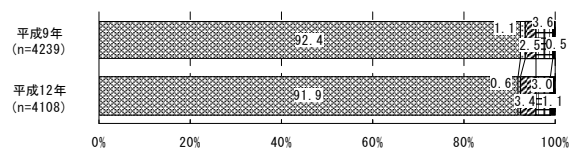
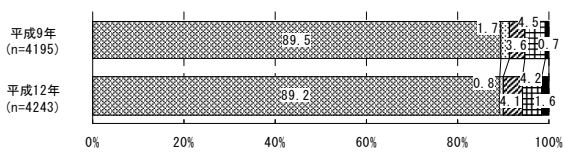
男子

女子

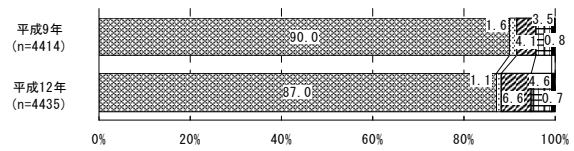
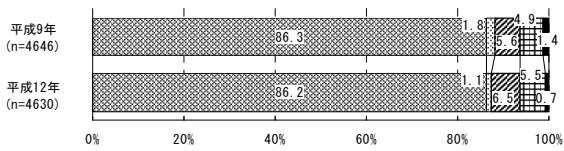
小学5年生



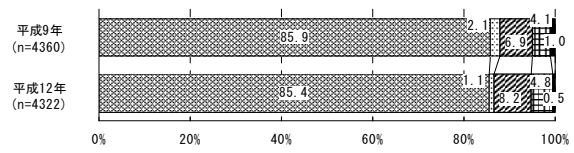
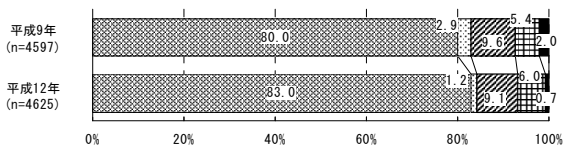
小学6年生



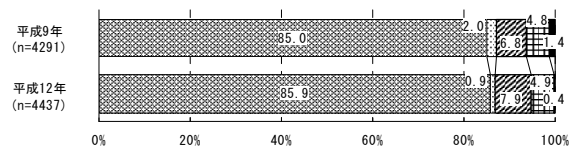
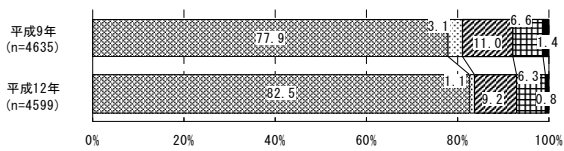
中学1年生



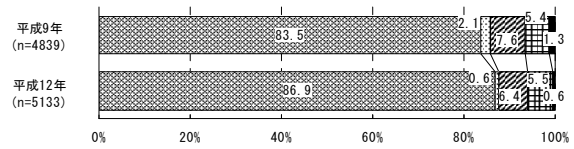
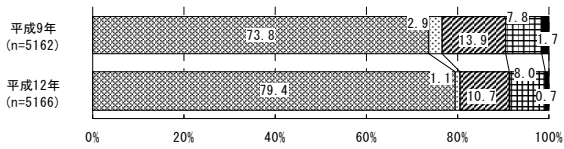
中学2年生



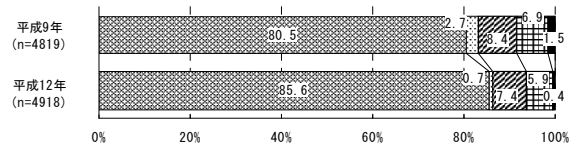
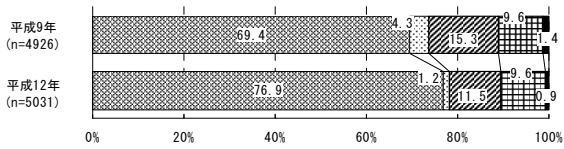
中学3年生



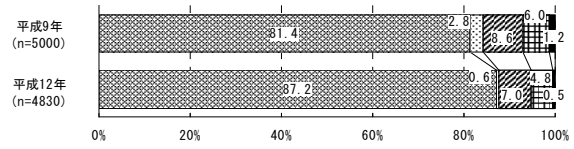
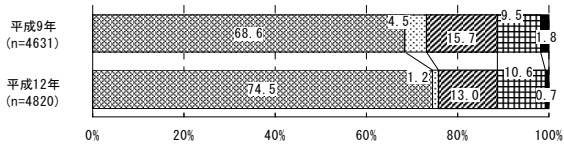
高校1年生



高校2年生



高校3年生



## 第2章 児童生徒調査結果（クロス集計）

### 1. 「質問16 薬物に対する印象」と各設問とのクロス集計

「質問16 薬物に対する印象」の回答結果をさらに詳しく分析するため、他の設問とのクロス集計をおこなった。その際、質問16の回答結果から回答者を2グループに分け（表2-1 参照）、質問18および質問27とのクロス集計を行った。

表2-1 質問16の回答による回答者のグループ分け

質問16の選択肢	グループ
1. カッコいい 2. 気持ち良くなれる気がする 3. ダイエットに効果がある 4. 眠気覚ましに効果がある 5. 1回使うくらいであれば、心や体への害はない	薬物使用に対して肯定的な印象を持っているグループ (表中では「容認的」と表記)
6. 心や体に害がある 7. 犯罪に巻き込まれる 8. 使ったり、持っていたりするのは悪いことだ 9. 1回でも使うと止められなくなる	薬物使用に対して否定的な印象を持っているグループ (表中では「非容認的」と表記)

※ **容認派**：選択肢1～5に1つでも○をつけた回答者

※ **非容認派**：選択肢1～5に1つも○をつけず、かつ、選択肢6～9に1つでも○をつけた回答者

#### (1) 「質問18 薬物を使ったらどうなるか」とのクロス

「容認的」と「非容認的」では、質問18の回答結果に差が出た。

「使ったり、持っていたりしたら全て罰せられる」と回答した比率は、男女ともに全ての学年において、「容認的」よりも「非容認的」の方が高い。また、低学年ほど「容認的」と「非容認的」の比率の差が大きく、学年が上がるにつれてその差が縮まる傾向にある（小5男子：「容認的」67.8%・「非容認的」81.3%、中2男子「容認的」81.8%・「非容認的」86.8%、高2男子「容認的」91.1%・「非容認的」92.9%）（小5女子「容認的」71.7%・「非容認的」78.7%、中2女子「容認的」80.8%・「非容認的」85.3%、高2女子「容認的」91.0%・「非容認的」94.0%）。

また、「わからない」と回答した比率は、男女とも、いずれの学校種・学年においても、「非容認的」よりも「容認的」の方が高い。

表2-2 「質問16 薬物に対する印象」と「質問18 薬物を使ったらどうなるか」(複数回答)とのクロス(男子)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的
1. 使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる (%)	67.8	81.3	81.0	86.2	78.0	83.5	81.8	86.8	83.8	89.6
2. 1回使うくらいなら、罰せられることはない (%)	11.6	1.8	5.6	1.2	6.9	1.1	6.2	1.2	5.8	0.8
3. 持っているだけでは罰せられることはない (%)	14.3	5.0	11.3	4.8	9.8	3.2	9.9	3.1	7.2	3.3
4. 使ったり、持っていたりしても罰せられることはない (%)	7.9	2.3	6.7	1.8	5.1	1.5	5.0	1.6	6.3	1.1
5. わからない (%)	14.6	15.5	8.3	11.3	11.4	14.0	8.5	10.4	7.4	7.6
無回答者数	2	13	2	10	7	7	2	8	1	9
回答者数	329	3378	373	3535	491	3679	565	3594	635	3556

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的
1. 使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる (%)	91.9	92.4	91.1	92.9	90.7	94.1
2. 1回使うくらいなら、罰せられることはない (%)	3.2	0.6	3.2	0.6	4.2	0.6
3. 持っているだけでは罰せられることはない (%)	4.7	1.8	3.2	1.8	4.7	1.7
4. 使ったり、持っていたりしても罰せられることはない (%)	3.5	1.1	3.5	1.1	3.0	1.2
5. わからない (%)	3.9	5.7	4.7	5.2	4.1	4.1
無回答者数	1	6	3	4	0	4
回答者数	805	3915	854	3756	924	3418

表2-3 「質問16 薬物に対する印象」と「質問18 薬物を使ったらどうなるか」(複数回答)とのクロス(女子)

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的
1. 使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる (%)	71.7	78.7	77.6	82.3	76.0	80.5	80.8	85.3	83.8	88.3
2. 1回使うくらいなら、罰せられることはない (%)	9.2	0.6	9.7	0.9	8.6	1.1	4.4	0.8	4.9	0.8
3. 持っているだけでは罰せられることはない (%)	12.4	4.6	15.3	3.7	11.9	2.6	7.1	2.4	8.0	2.5
4. 使ったり、持っていたりしても罰せられることはない (%)	3.6	1.2	4.4	1.2	5.1	1.5	3.4	0.5	2.4	0.9
5. わからない (%)	16.7	18.4	9.0	15.2	10.8	16.6	10.9	12.6	7.9	9.7
無回答者数	1	15	0	9	2	12	2	3	0	3
回答者数	251	3365	321	3598	613	3589	704	3426	758	3492

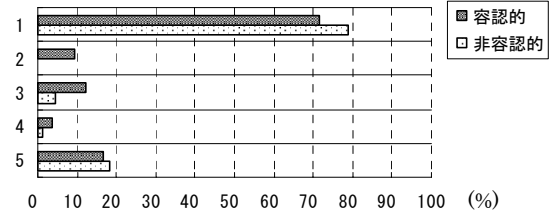
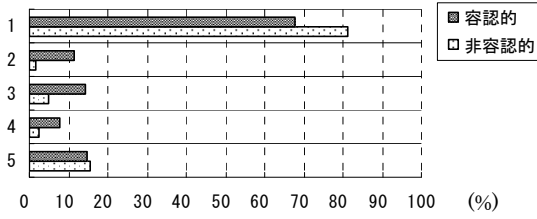
	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的
1. 使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる (%)	89.1	92.2	91.0	94.0	90.8	94.4
2. 1回使うくらいなら、罰せられることはない (%)	2.8	0.7	2.0	0.5	2.0	0.7
3. 持っているだけでは罰せられることはない (%)	4.4	2.0	2.8	1.5	3.3	1.5
4. 使ったり、持っていたりしても罰せられることはない (%)	1.2	0.8	0.9	0.6	1.5	0.9
5. わからない (%)	6.3	5.7	6.0	4.6	5.4	3.9
無回答者数	1	3	2	3	2	1
回答者数	845	4081	812	3890	819	3852



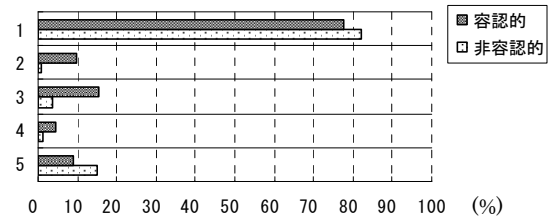
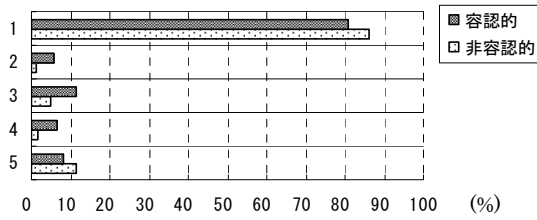
男子

女子

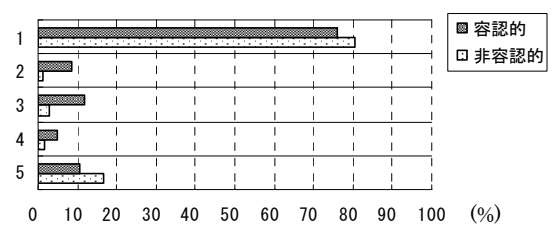
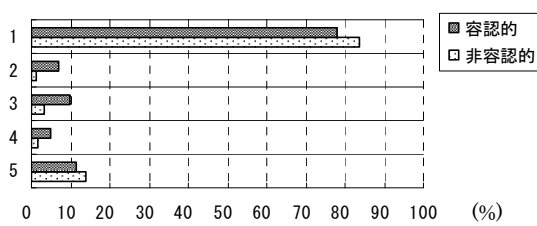
小学5年生



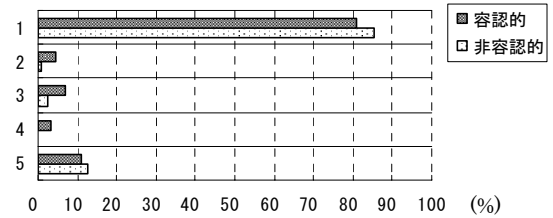
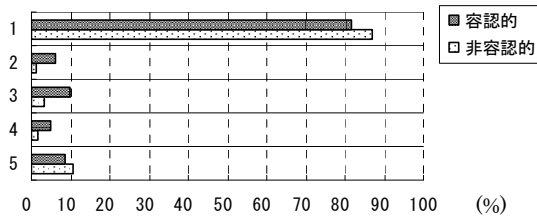
小学6年生



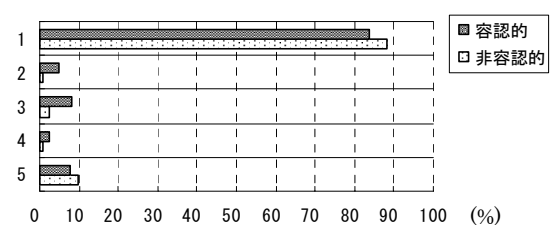
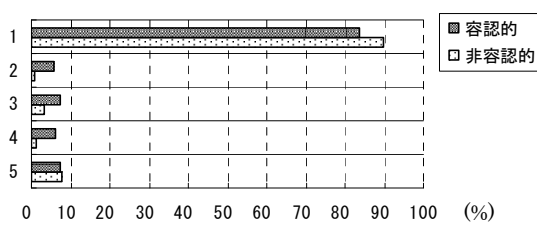
中学1年生



中学2年生



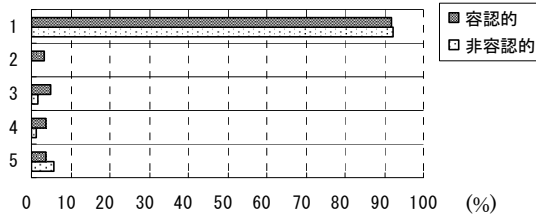
中学3年生



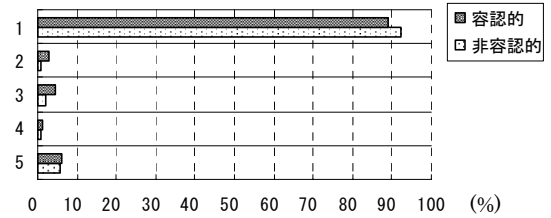
1	使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる
2	1回使うくらいなら、罰せられることはない
3	持っているだけでは罰せられることはない
4	使ったり、持っていたりしても罰せられることはない
5	わからない

高校1年生

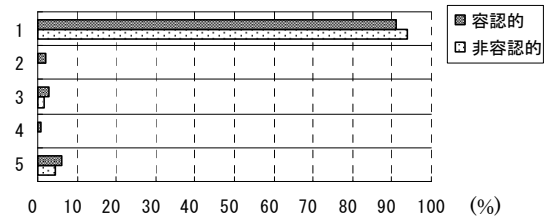
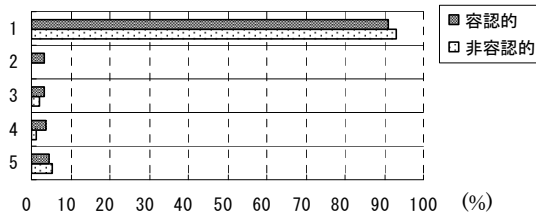
男子



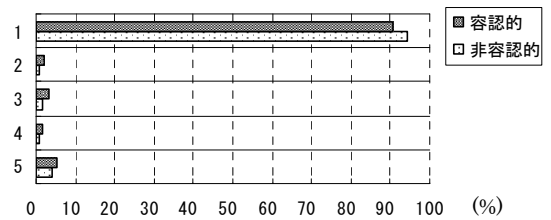
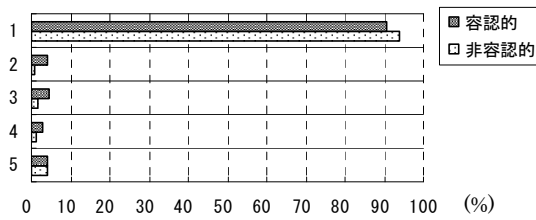
女子



高校2年生



高校3年生



1	使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる
2	1回使うくらいなら、罰せられることはない
3	持っているだけでは罰せられることはない
4	使ったり、持っていたりしても罰せられることはない
5	わからない

## (2) 「質問27 薬物使用に対する考え」とのクロス

「どのような理由であれ絶対に使うべきではないし、許されることではない」と回答した比率は、男女ともに全ての学年において、「容認的」よりも「非容認的」の方が高く、その差は25%程度である（小5男子：「容認的」68.3%・「非容認的」92.6%、中2男子「容認的」63.8%・「非容認的」89.6%、高2男子「容認的」60.7%・「非容認的」84.7%）（小5女子「容認的」73.8%・「非容認的」93.9%、中2女子「容認的」63.5%・「非容認的」91.7%、高2女子「容認的」68.7%・「非容認的」91.2%）。

一方、「他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である」と回答した比率は、男女ともに、いずれの学校種・学年においても、「非容認的」よりも「容認的」の方が高く、学年が上がるにつれてその差は大きくなる傾向にある（小5男子：「容認的」11.2%・「非容認的」1.8%、中2男子「容認的」22.6%・「非容認的」5.6%、高2男子「容認的」22.4%・「非容認的」7.6%）（小5女子「容認的」13.1%・「非容認的」1.4%、中2女子「容認的」24.2%・「非容認的」4.1%、高2女子「容認的」18.3%・「非容認的」4.3%）。

平成9年調査と比較すると、「容認的」では小学校・中学校では「どのような理由であれ絶対に使うべきではないし、許されることではない」と回答した比率が減少し、高等学校では増加し、「非容認的」ではいずれの学年でも増加している。

表2-4 「質問16 薬物に対する印象」と「質問27 薬物使用に対する考え」とのクロス（男子）

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的
1. どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない (%)	68.3	92.6	74.4	92.8	69.3	91.5	63.8	89.6	64.3	89.6
2. 1回くらいなら心や体へ害がないので、使ってもかまわない (%)	9.7	0.7	3.5	0.4	6.2	0.5	5.1	0.4	5.7	0.3
3. 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である (%)	11.2	1.8	14.4	2.5	16.9	4.3	22.6	5.6	21.7	5.5
4. その他 (%)	9.1	3.5	6.4	2.8	7.2	3.4	7.9	3.7	7.1	4.2
無回答 (%)	1.8	1.4	1.3	1.5	0.4	0.4	0.5	0.6	1.3	0.4
回答者数	331	3391	375	3545	498	3686	567	3602	636	3565

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的
1. どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない (%)	67.2	85.7	60.7	84.7	58.0	83.6
2. 1回くらいなら心や体へ害がないので、使ってもかまわない (%)	3.8	0.4	4.9	0.3	4.0	0.4
3. 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である (%)	19.0	7.4	22.4	7.6	24.1	8.9
4. その他 (%)	8.9	5.9	10.9	6.9	12.8	6.8
無回答 (%)	1.0	0.6	1.2	0.5	1.1	0.4
回答者数	806	3921	857	3760	924	3422

表2-5 「質問16 薬物に対する印象」と「質問27 薬物使用に対する考え」とのクロス(女子)

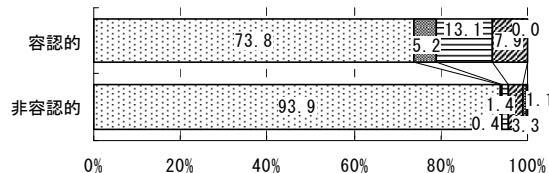
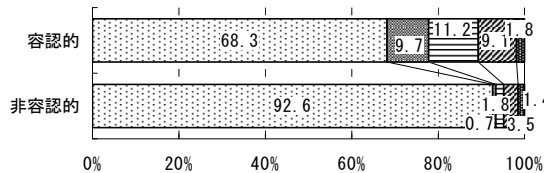
	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的
1. どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることでは (%)	73.8	93.9	72.6	95.1	65.7	92.7	63.5	91.7	67.4	91.8
2. 1回くらいなら心や体へ害がないので、使ってもかまわない (%)	5.2	0.4	4.0	0.2	5.5	0.2	5.1	0.2	4.1	0.2
3. 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である (%)	13.1	1.4	17.4	1.7	20.0	3.8	24.2	4.1	22.0	4.3
4. その他 (%)	7.9	3.3	4.4	2.2	7.8	2.7	6.9	3.5	5.9	3.4
無回答 (%)	0.0	1.1	1.6	0.8	1.0	0.6	0.3	0.4	0.5	0.3
回答者数	252	3380	321	3607	615	3601	706	3429	758	3495

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	容認的	非容認的	容認的	非容認的	容認的	非容認的
1. どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることでは (%)	71.5	91.9	68.7	91.2	73.4	91.5
2. 1回くらいなら心や体へ害がないので、使ってもかまわない (%)	3.3	0.0	3.2	0.2	2.4	0.2
3. 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である (%)	16.3	3.8	18.3	4.3	16.0	4.3
4. その他 (%)	8.3	3.7	9.0	4.1	7.2	3.7
無回答 (%)	0.6	0.4	0.9	0.3	1.0	0.3
回答者数	846	4084	814	3893	821	3853

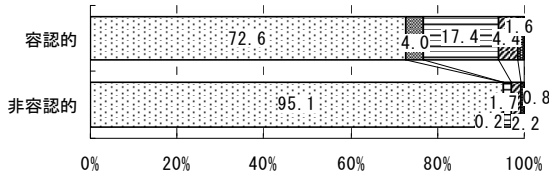
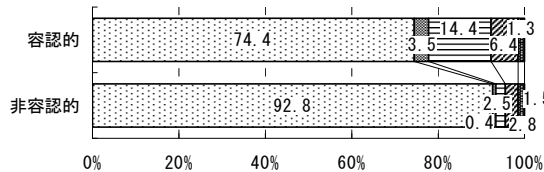
男子

女子

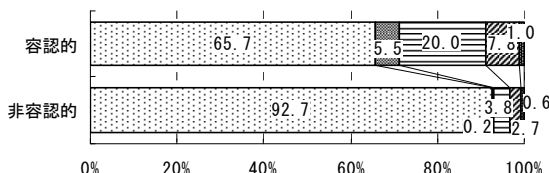
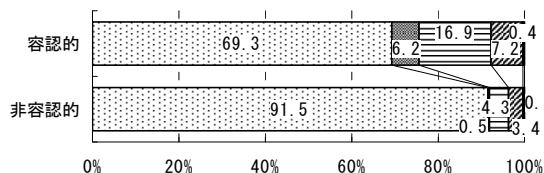
小学5年生



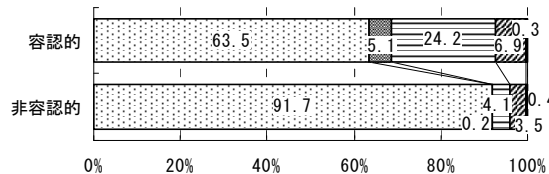
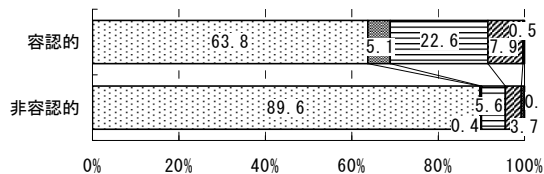
小学6年生



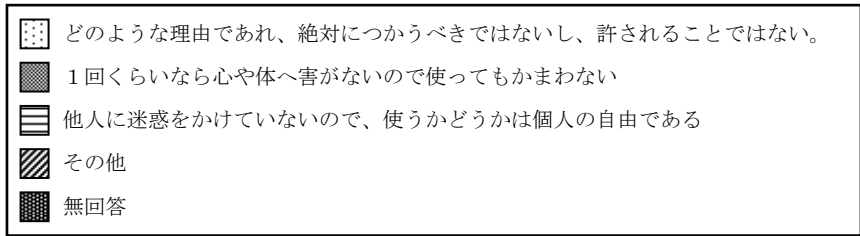
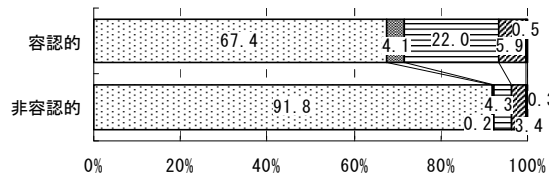
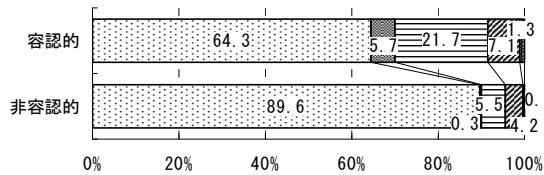
中学1年生



中学2年生



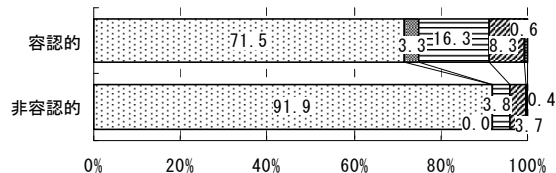
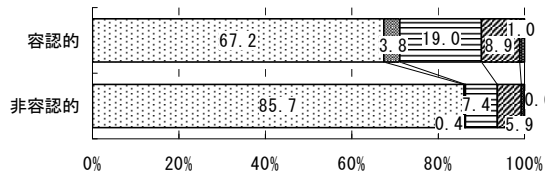
中学3年生



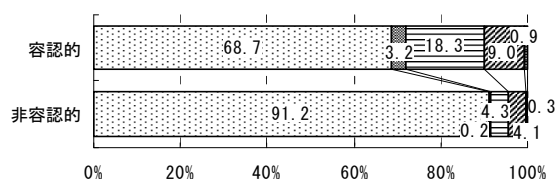
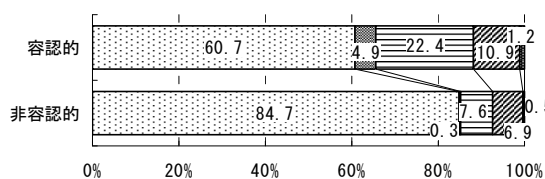
男子

女子

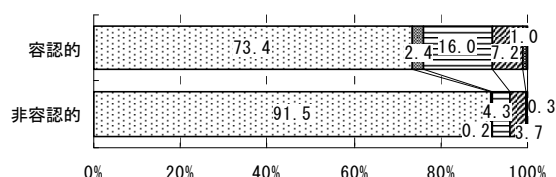
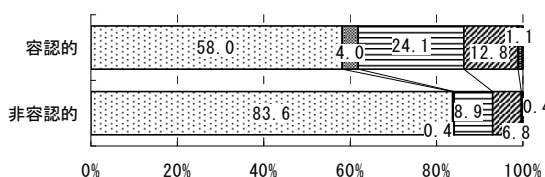
高校1年生



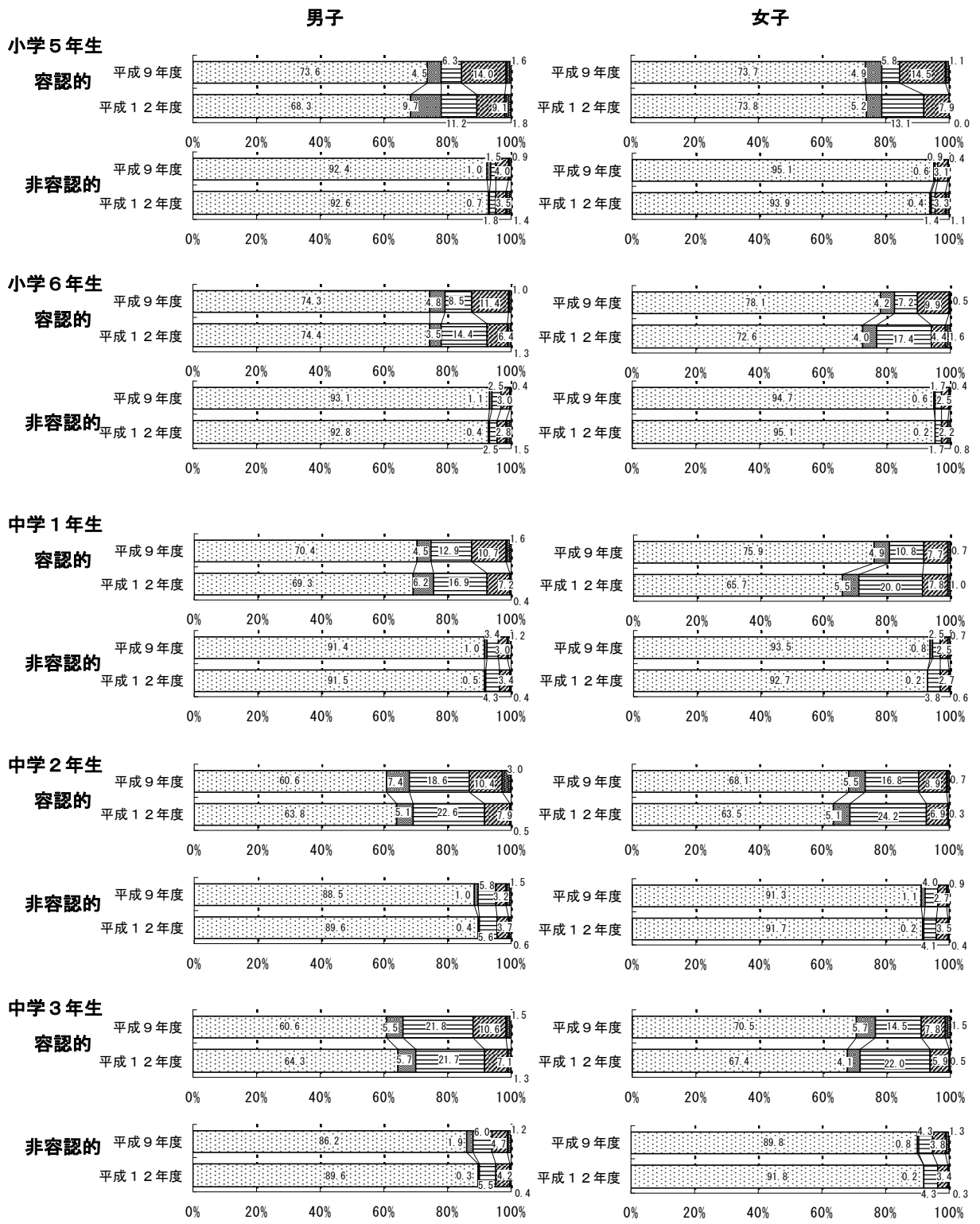
高校2年生



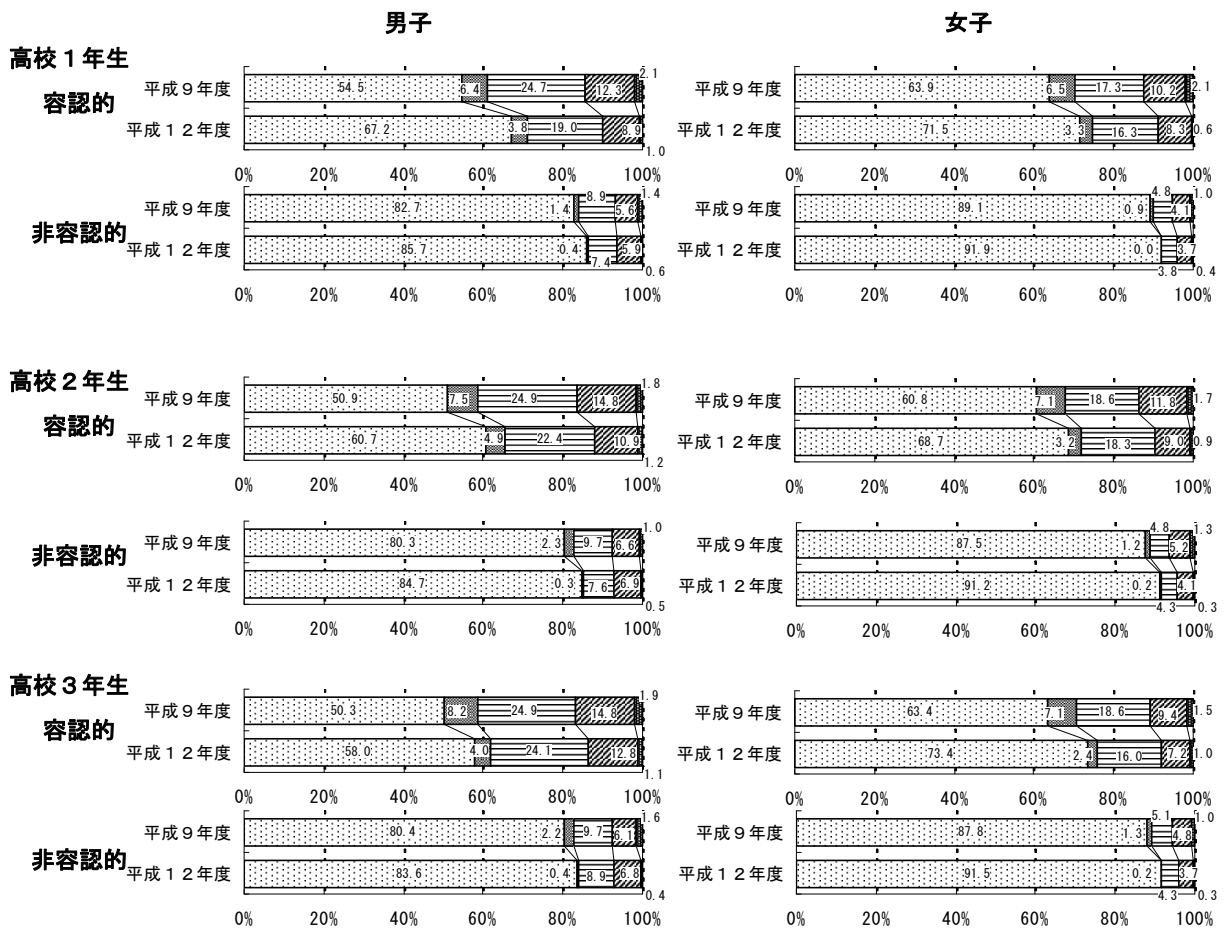
高校3年生



- どのような理由であれ、絶対につかうべきではないし、許されることはない。
- 1回くらいなら心や体へ害がないので使ってもかまわない
- 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である
- その他
- 無回答



- どのような理由であれ、絶対につかうべきではないし、許されることではない。
- 1回くらいなら心や体へ害がないので使ってもかまわない
- 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である
- その他
- 無回答



- どのような理由であれ、絶対につかうべきではないし、許されることではない。
- 1回くらいなら心や体へ害がないので使ってもかまわない
- 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である
- その他
- 無回答



## 2. 「質問18 薬物を使ったらどうなるか」と各設問とのクロス集計

「質問18 薬物を使ったらどうなるか」の回答結果をさらに詳しく分析するため、他の設問とのクロス集計を行った。その際、質問18の回答結果から回答者を2グループに分け（表2-6参照）、質問27とのクロス集計を行った。

表2-6 質問18の回答による回答者のグループ分け

質問18の選択肢	グループ
1. 使ったり、持っていたりしたらすべて罰せられる	薬物使用に対して犯罪認識を持っているグループ (表中では「 <b>犯罪認識あり</b> 」と表記)
2. 1回使うくらいなら、罰せられることはない 3. 持っているだけでは罰せられることはない 4. 使ったり、持っていたりしても罰せられることはない	薬物使用に対して犯罪認識を持っていないグループ (表中では「 <b>犯罪認識なし</b> 」と表記)

※ **犯罪認識あり**：選択肢1に○をつけた回答者

※ **犯罪認識なし**：選択肢1に○をつけず、かつ、選択肢2～4に1つでも○をつけた回答者。

### (1) 「質問27 薬物使用に対する考え」とのクロス

「犯罪意識あり」と「犯罪意識なし」では、質問27の回答結果に差が出た。

「どのような理由であれ絶対に使うべきではないし、許されることではない」と回答した比率は、男女ともに全ての学年において、「犯罪意識なし」よりも「犯罪意識あり」の方が高かった（小5男子：「犯罪意識あり」92.9%・「犯罪意識なし」60.5%、中2男子「犯罪意識あり」86.8%・「犯罪意識なし」50.0%、高2男子「犯罪意識あり」79.9%・「犯罪意識なし」54.7%）（小5女子「犯罪意識あり」94.7%・「犯罪意識なし」65.7%、中2女子「犯罪意識あり」89.1%・「犯罪意識なし」46.3%、高2女子「犯罪意識あり」87.3%・「犯罪意識なし」56.1%）。

一方、「他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である」と回答した比率は、男女ともに、いずれの学校種・学年においても、「犯罪意識あり」よりも「犯罪意識なし」の方が高く、学年が上がるにつれてその差は大きくなる傾向にある（小5男子：「犯罪意識あり」1.9%・「犯罪意識なし」6.7%、中2男子「犯罪意識あり」7.8%・「犯罪意識なし」15.1%、高2男子「犯罪意識あり」10.6%・「犯罪意識なし」19.8%）（小5女子「犯罪意識あり」1.8%・「犯罪意識なし」5.2%、中2女子「犯罪意識あり」6.7%・「犯罪意識なし」15.4%、高2女子「犯罪意識あり」6.8%・「犯罪意識なし」14.2%）。

表2-7 「質問18薬物を使ったらどうなるか」と「質問27薬物使用に対する考え」とのクロス（男子）

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	犯罪認識あり	犯罪認識なし	犯罪認識あり	犯罪認識なし	犯罪認識あり	犯罪認識なし	犯罪認識あり	犯罪認識なし	犯罪認識あり	犯罪認識なし
1. どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることでは (%)	92.9	60.5	92.7	62.8	90.5	54.7	86.8	50.0	86.2	54.9
2. 1回くらいなら心や体へ害がないので、使ってもかまわない (%)	0.9	11.9	0.4	7.4	0.7	8.8	0.7	8.2	0.9	7.5
3. 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である (%)	1.9	13.5	3.1	18.2	5.1	23.5	7.8	33.5	7.7	30.1
4. その他 (%)	2.8	11.4	2.5	9.5	3.4	12.4	4.2	5.9	4.7	5.8
無回答 (%)	1.5	2.7	1.3	2.0	0.4	0.6	0.4	2.4	0.5	1.7
回答者数	3079	185	3464	148	3607	170	3797	170	3918	173

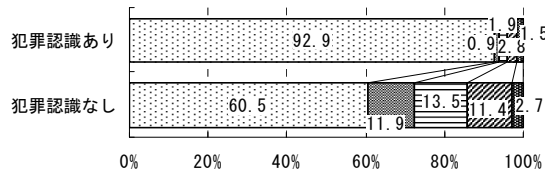
	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	犯罪認識あり	犯罪認識なし	犯罪認識あり	犯罪認識なし	犯罪認識あり	犯罪認識なし
1. どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることでは (%)	82.1	57.9	79.9	54.7	77.8	37.0
2. 1回くらいなら心や体へ害がないので、使ってもかまわない (%)	0.8	5.6	1.0	7.7	1.0	8.7
3. 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である (%)	9.9	25.4	10.6	27.4	12.1	36.2
4. その他 (%)	6.7	10.3	8.0	10.3	8.5	16.5
無回答 (%)	0.5	0.8	0.6	0.0	0.5	1.6
回答者数	4630	126	4511	117	4353	127

表2-8 「質問18薬物を使ったらどうなるか」と「質問27薬物使用に対する考え」とのクロス（女子）

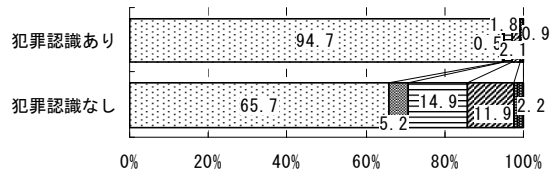
	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		中学3年生	
	犯罪認識あり	犯罪認識なし	犯罪認識あり	犯罪認識なし	犯罪認識あり	犯罪認識なし	犯罪認識あり	犯罪認識なし	犯罪認識あり	犯罪認識なし
1. どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることでは (%)	94.7	65.7	94.7	66.7	90.6	52.0	89.1	46.3	88.7	58.0
2. 1回くらいなら心や体へ害がないので、使ってもかまわない (%)	0.5	5.2	0.2	6.4	0.7	8.1	0.8	6.6	0.7	6.3
3. 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である (%)	1.8	14.9	2.6	18.4	5.1	29.8	6.7	37.5	6.7	27.3
4. その他 (%)	2.1	11.9	1.7	6.4	3.0	8.1	3.0	8.8	3.7	8.4
無回答 (%)	0.9	2.2	0.7	2.1	0.6	2.0	0.4	0.7	0.3	0.0
回答者数	2880	134	3263	141	3415	198	3555	136	3797	143

	高校1年生		高校2年生		高校3年生	
	犯罪認識あり	犯罪認識なし	犯罪認識あり	犯罪認識なし	犯罪認識あり	犯罪認識なし
1. どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることでは (%)	88.8	67.7	87.3	56.1	89.1	56.6
2. 1回くらいなら心や体へ害がないので、使ってもかまわない (%)	0.5	4.6	0.5	8.5	0.4	4.0
3. 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である (%)	5.5	23.8	6.8	25.6	6.2	22.2
4. その他 (%)	4.8	2.3	5.2	8.5	3.9	15.2
無回答 (%)	0.4	1.5	0.3	1.2	0.4	2.0
回答者数	4638	130	4538	82	4476	99

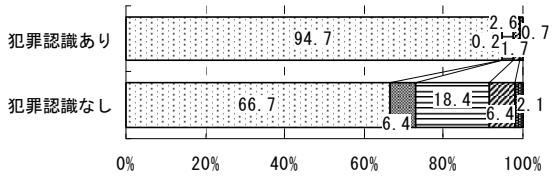
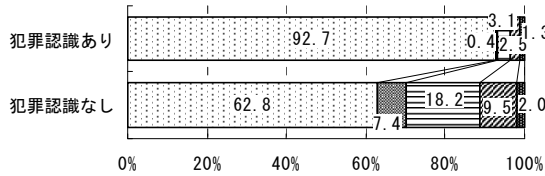
男子  
小学5年生



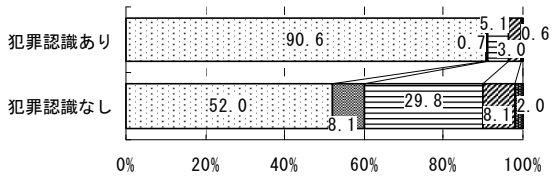
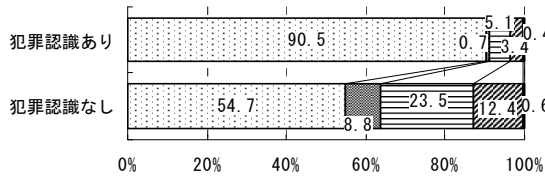
女子



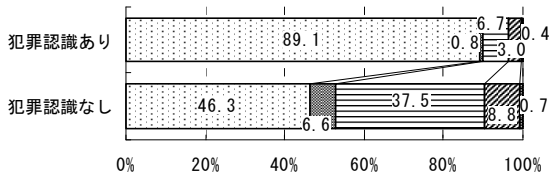
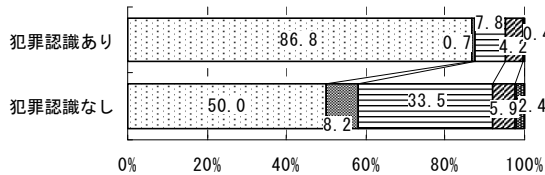
小学6年生



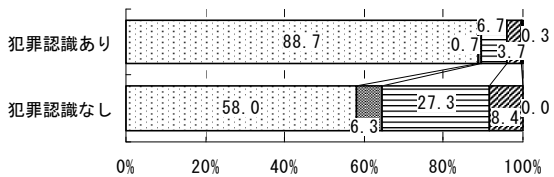
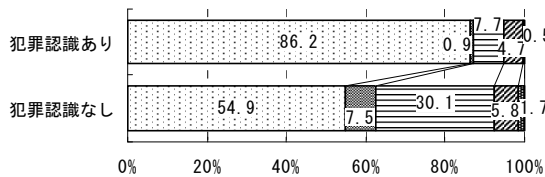
中学1年生



中学2年生



中学3年生

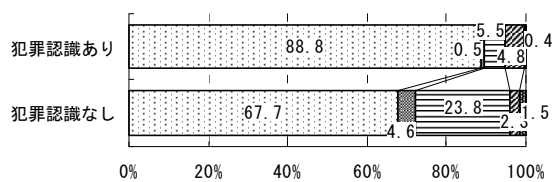
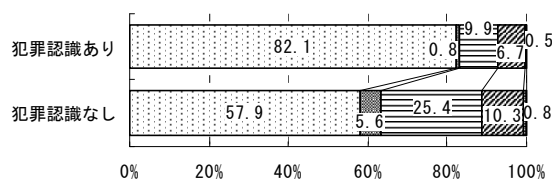


- どのような理由であれ、絶対につかうべきではないし、許されることではない。
- 1回くらいなら心や体へ害がないので使ってもかまわない
- 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である
- その他
- 無回答

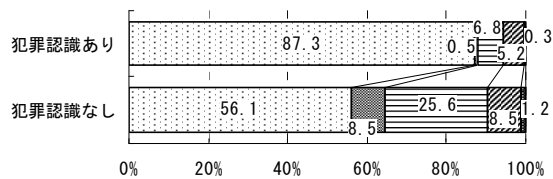
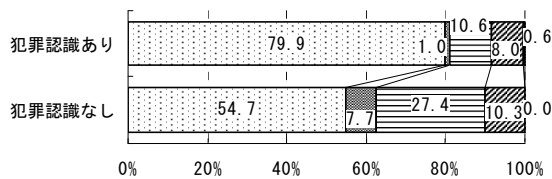
男子

女子

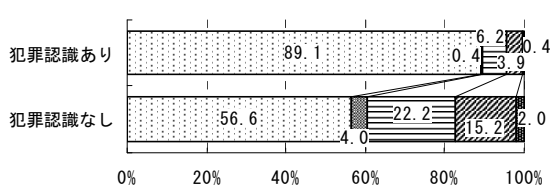
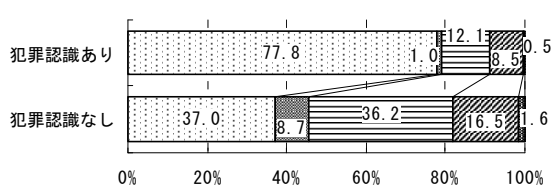
高校1年生



高校2年生



高校3年生

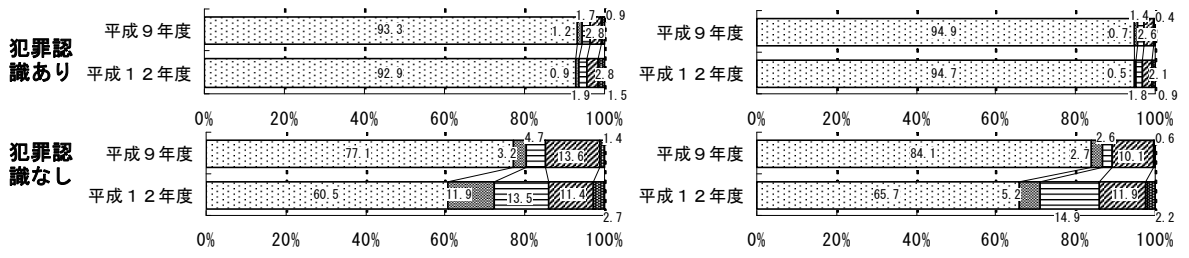


- どのような理由であれ、絶対につかうべきではないし、許されることではない。
- 1回くらいなら心や体へ害がないので使ってもかまわない
- 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である
- その他
- 無回答

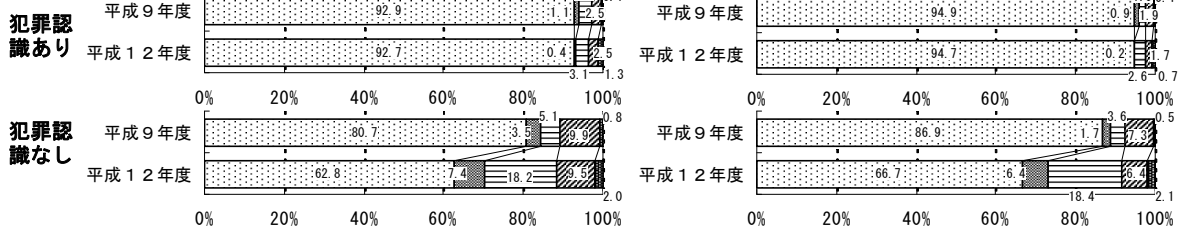
小学5年生

男子

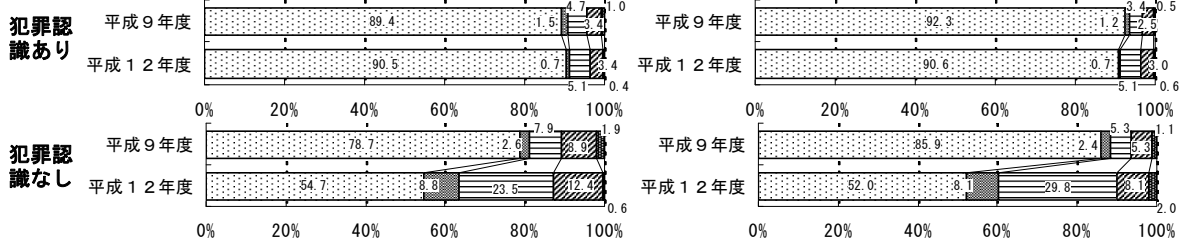
女子



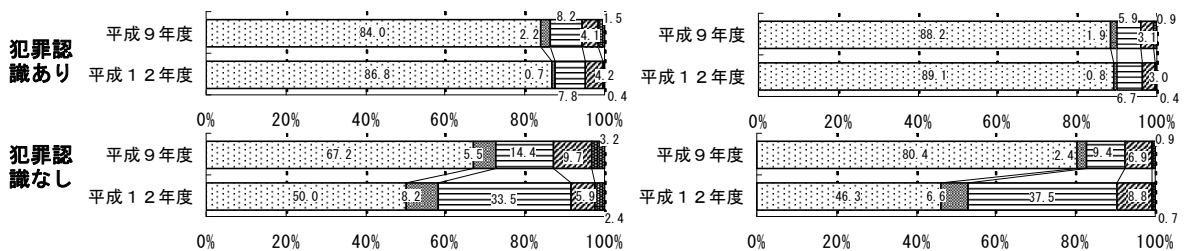
小学6年生



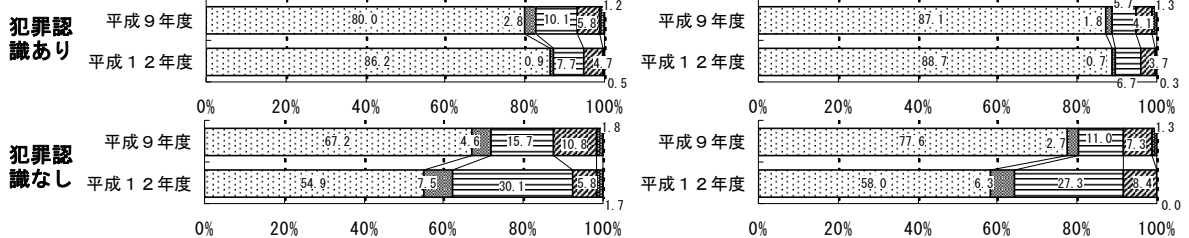
中学1年生



中学2年生



中学3年生

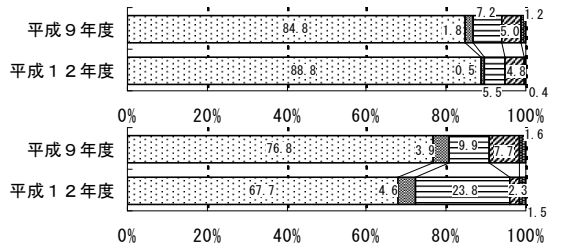
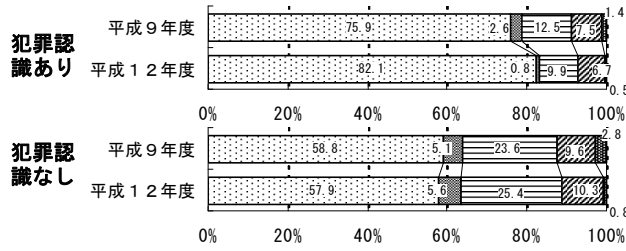


- : どのような理由であれ、絶対につかうべきではないし、許されることで
- : 1回くらいなら心や体へ害がないので使ってもかまわない
- ▨: 他人に迷惑をかけていないので、使うかどうかは個人の自由である
- ▩: その他
- : 無回答

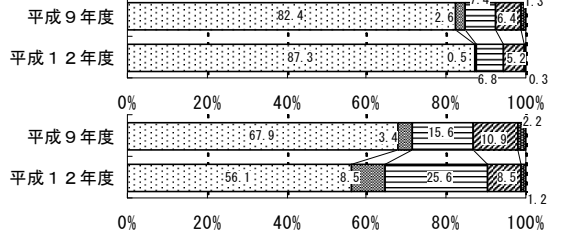
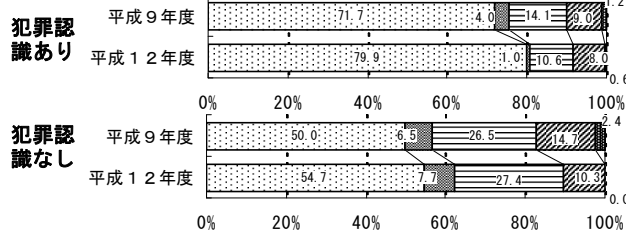
男子

女子

高校1年生



高校2年生



高校3年生

